

2022 年度（第 59 期）

（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）

事業報告および決算報告

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

目 次

I. 2022 年度(第 59 期)事業報告

I. 要旨	P. 1
II. 代理店・募集人の資質向上	P. 4
III. 公正な市場環境の構築・提言活動	P. 6
IV. 実効性ある CSR 活動の展開	P. 7
V. 組織力の強化	P. 9
VI. 活力ある代理店制度の構築	P. 13
VII. 広報活動の展開	P. 15
VIII. 代協会員への経営支援・情報の提供	P. 17
IX. コンベンション	P. 18
X. 法人運営	P. 19
(付1). 諸会議と諸問題の処理経過	P. 20
(付2). 表彰	P. 24
(付3). 機構および規則等の変更	P. 24
(付4). 特別会員の異動	P. 24
(付5). 役員の異動	P. 24
(付6). 2022 年度中における代協正会員の異動状況	P. 25
II. 2022 年度(第 59 期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録	P. 26
III. 2023 年度(第 60 期)事業計画	P. 35
IV. 2023 年度(第 60 期)収支予算書	P. 52
【参考】2023 年度通常総会議事録	P. 54
資料集	P. 56

I. 2022 年度(第 59 期)事業報告

I. 要旨

本年度も、コロナウイルス感染拡大等の影響から、Web環境を整備のうえ、オンライン会議システムを駆使して活動したが、代表理事(会長)と業務執行理事(専務理事)が同時に交代したこともあり、全 16 ブロック協議会や周年行事のある各代協には、精力的にリアル対面形式で出向き、活動の推進の加速につなげた。

対外的には行政、損保協会、保険会社各社、業界内団体等との情報交換を重ねた結果、また金融庁保険課長と各代協会長との意見交換会の継続開催(2022 年 4 月 28 日Web開催、2023 年 3 月 10 日リアル対面形式での開催)などを通して業界における存在感を増すことができた。また対内的には、昨年度実施した正会員実態調査で判明した「肝心な施策・情報が伝えられていないこと」を反省し、動画での情報提供など工夫するとともに、各代協のWeb活用支援を継続し、各代協の活動を後押しした結果、仲間づくり推進(会員増強)の取り組み、日本代協アカデミーの利用推進、代理店価値向上策の取組みを除き、概ね計画通りに推進することができた。

しかしながら、都道府県代協の取り組みに温度差があり、意識・行動のバラツキを是正できていないことは大きな課題であると認識している。諸課題(役割分担と意欲・行動量、事務局体制、役員人事の硬直化、会員資格・会費体系のバラツキ、支部活動の強化等々)が解消されていない代協があり、組織活性化の進捗には濃淡が見られる。

当年度の特記事項は以下の通りである。

① コロナ禍かつ本部事務局員欠員状況における活動

本部事務局においては、オンライン会議用の設備を充実させ、Zoom会議・ウェビナー・Vimeo を活用するとともに、テレワークを推進(トンネリングシステム導入、シフト勤務)することで、コロナ禍における情報連携の促進ならびに業務効率向上に取り組んだ。また男性事務局員 1 名の欠員は、業務分担変更(経験がないと難しい経理業務を工藤琢哉部長に引き受けてもらい、他の業務を分担し直した。)と下期 10 月からのスタッフ採用や税理士提携で補い、業務を遂行した。

なお、6 月通常総会ならびに 3 月臨時総会はリアル集合形式で開催した。理事会も会議室の人数制限を適用するなど工夫して、リアル集合形式で開催することができた。各委員会は、各委員会判断によりリアル集合・Web・ハイブリッド形式を選択して開催した。

② 防災・減災に向けた取組みと災害に便乗した悪質な業者対策

今年度も大雨、台風による被害が発生し、災害救助法が適用された地域があった。また 1 月下旬以降には寒波襲来・大雪により、凍結による水道管の破裂・漏水といったライフライン、住宅への被害が発生した。また世界的には 2 月にトルコ・シリアで大地震が発生するなど自然災害の甚大な脅威が顕在化しており、防災・減災の取組みや保険の機能や重要性が再認識されている。さらに、パンデミック対策やサイバーセキュリティ対策など自然災害以外のリスクにも留意しなければならないことを痛感させられており、公共性の高い損保代理業を営む我々の力の見せ所であることを再認識し、防災・減災に実効性を上げて取り組む必要がある。

このような災害に便乗して暗躍する悪質な住宅修理事業・保険金請求サポート業者からお客さまをお守りするために、注意喚起メールの配信や損保協会サイトのリンクやバナー掲載など損保協会との連携をさらに強化して取り組んだ。

③ 仲間づくり推進(会員増強)

本年度末会員数は 10,997 店となった。411 店の入会目標に対して、362 店、88.1%の達成率に終わった。代理店の合併・統合のペースは緩やかになっており、3 年前▲377 店、2 年前▲424 店、昨年▲250 店と比較すると▲97 店と減少幅は圧縮されたものの3年連続の減店となった。

代理店監査対応関連情報、代理店の賠償責任、日本代協アカデミーに関する情報の提供、代理店経営サポートデスクの運営、代理店価値向上策の提供・推進などを通して、代協加入のメリットをオールチャンネルの「保険のプロ」に認識いただき、362 店の入会につながったが、一方で退会が 459 店(内合併等による退会 340 店)となり、上記の結果となった。

「目指せ、三冠王！」の結果については、本要旨の最後に記載した。

盛り上がりを見せた「目指せ、三冠王！」の結果については、本要旨の最後に記載した。取り組みや施策の本質的な意義を周知して、強い組織づくりにつなげていきたい。

④ 損害保険大学課程の運営

創設 11 年目となる損害保険大学課程のコンサルティングコースの運営においては、コロナウイルス感染が収束しない中、教育委員を中心に各代協の役員・委員・事務局員の支援を得て、合計 44 回のセミナー(Web 開催)を無事に終了することができ、修了者合計で 1,079 名となった。

2023 年度生より、受講料を 59,980 円(改定前は 69,980 円)と改定し、募集した結果、前年より 176 名多い 1,407 名(内代協会員 1,019 名)を集めた。会員比率は 75.5%(1,019/1,349 名)となり、業界内に一定の存在感を示すことができた。

また、「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の一つとして要望を続けていた顔写真入りカード型認定証の作成が実現し、2/1 から販売が開始された。

なお、今年度は、設営後 11 年経った損保大学課程管理システムについて、Chromium 版 Edge 対応、収納代行会社の組織変更への対応、脆弱性診断の実施、管理サーバのバージョンアップ検討等今までになく、システムの動作確認や費用負担を含むあり方についての協議・検討に時間を費やした年度であった。

⑤ 「日本代協アカデミー」の展開

今後の本会の教育研修事業の柱と位置づけた取り組みであり、代理店賠償に並ぶ「代協の魅力」の一つとして強力な利用勧奨の推進を計画していたが、年度初めからシステムダウンが発生し、対応に腐心したが、使い勝手向上に関する要望事項を合わせて実現するためにも、プラットフォームの移行が最善という結論となった。10 月には半期分の更新手続きというイレギュラー対応を行い、2023 年 4 月 1 日の新システムのリリースに注力した。

コンテンツでは、計画通りに「やさしく分かる公的保険のポイント」(動画・ガイド・eラーニング)、「代理店経営のセオリーを学ぶ」(10 カ月連続講座)ならびに「GoGo情報探検隊」(DX活用～サイバー保険の取り組み等)を提供し、好評をいただいている。

業務品質の向上のためには、日本代協アカデミーの取組の目的や本質的な意義について周知し、ルーティンに取り入れる会員を増やしていく活動に注力する必要がある。

⑥ 代理店価値向上策の取り組み

次の 4 つの取り組み 1) 日本代協版「リスクマネジメント講座」、2) 事業継続力強化計画認定(以下、「ジギョケイ」という)取得推進、3) BCP 策定、4) 社労士診断認証制度に焦点をあて推進した。今後の環境変化の中で、活躍できるプロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項であり、「目指せ、三冠王！」の重点取組事項にも組み込んで推進に注力したが、2.「ジギョケイ」の取得は 12.2%、3.BCP 策定は 18.8%、社労士診断認証の取得は 5.2%に留まっており、取組みの背景、意義、目的などの本質を更に周知徹底する必要がある。

リスクマネジメント講座の受講勧奨については、周知の仕切り直しが必要である。料金体系の細分化(アカデミー利用会員、代協会員、一般代理店)を行い、運用改定、システム改定を行うこととした。

⑦ 代理店経営サポートデスクの運営

2019 年 7 月開設の「代理店経営サポートデスク」(粕谷 智 室長)に寄せられた相談も累計で 264 件となった。(注 参照)

新支援メニューとしては、代協事務局用 BCP 策定基本ガイド、代理店経営 SWOT 分析基本ガイド、「小規模企業共済・経営セーフティ共済」活用ガイド等のガイドブックを作成、提供した。継続施策としては、ジギョケイ申請支援として出張ワークショップを開催し、認定取得を後押しし、また、保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学ぶ「代理店経営未来塾」も第 2 期を開講し、現在、15 名が受講中である。

(注:事業承継 58 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 72 件、労務管理 44 件、代理店経営全般 50 件、体制整備等 26 件、その他 14 件)

⑧ 第 11 回コンベンションの開催

「今、届けたい熱と共有したい情報があることに気が付いたため、懇親会は中止とするが、万全の対策を講じた上でのリアル開催とする」ということを 9 月理事会で決議し、式典・分科会を 3 年ぶりにリアル集合形式で開催した(懇親会は開催せず)。総勢 408 名がリアル参加し、成功裏に終えることができた。テーマは「シン・代理店価値」～顧客価値と代理店価値、変革の焦点を定める～として企画し、来賓ご挨拶(金融庁三浦知宏保険課長、損保協会白川儀一協会長)、功労者表彰、基調講演(「心理的安全性のつくり方」(株)ZENTech 代表取締役 石井 遼介 氏)と進めたが、参加者のうち 316 名 90.0%から高い評価をいただいた。分科会(①中崎 章夫様、②栗山 泰史様、③永井 伸一郎様、④古田土 満様)も好評を集め、所定の目的を達成したと考える。

本格的な変革の時を迎え、厳しい環境の中で積み残した課題はあるが、理事会、各委員会では Web システムを駆使しながら、使命感をもって取り組みを進めており、次年度においても「立てた目標を達成する」ために何ができるか、情報と熱が伝わる組織づくりに取り組みながら、全代協一体となった活動を展開していく。

なお、「目指せ、三冠王！」の取り組みにおいて、都道府県代協別では、以下の 34 代協が目標を達成し、三冠王を獲得した。

<三冠王> (三冠王獲得決定日順)

・ダイヤモンド三冠王(6 冠以上)

9 冠…該当なし

8 冠…山梨(V9)

7 冠…福井(V5)、愛知(V1)、富山(V1)

6 冠…広島(V1)、福岡(V5)、三重(V4)、徳島(V4)、神奈川(V2)

・プラチナ三冠王(5 冠)……山口(V1)、岩手(V1)、香川(V1)、石川(V4)、鳥取(V1)

・ゴールド三冠王(4 冠)……和歌山(V1)、京都(V9)、大阪(V4)、宮崎(V4)、新潟(V1)、滋賀(V7)、岡山(V1)、群馬(V1)、岐阜(V1)、鹿児島(V4)

・三冠王(3 冠)……青森(V1)、奈良(V9)、沖縄(V4)、長崎(V3)、大分(V1)、千葉(V1)、福島(V1)、北海道(V4)、熊本(V9)、長野(V1)

各事業の概要は、以下の通りである。

Ⅱ. 代理店・募集人の資質向上

(1) 「損害保険大学課程」の運営

1) 指定教育機関としての役割発揮・内容充実・制度改善

- ・セミナーに関しては、すべてを Web 形式で開催し、教育委員だけでなく、組織全体で対応し、第一回セミナー22回・第二回セミナー22回を無事に終了することができた。修了者合計 1,079 名、未修了者 128 名となった。
- ・本教育プログラムをよりよいものとするため、日本代協と損保協会との合同の打合せの場(「損保大学課程・合同運営会議:四半期ごと開催」)を設営している。この合同運営会議において、更なる認知度向上の取り組みならびに今後のセミナー形式等のあり方についても具体的な検討を進めている。

2) 「損害保険大学課程」コンサルティングコース受講生の募集推進

- ・制度開始から 11 年となったが、Web 活用による運営費用の抑制等を勘案し、受講料を 59,980 円(改定前は 69,980 円)と改定し、募集に当たった。自主目標の 840 名を早期に、かつ、会員所属の募集人で達成すべく、受講勧奨を展開した結果、前年より 176 名多い 1,407 名(内代協会員 1,019 名)を集めた。

会員比率は 75.5%(1,019/1,349 名)であった。

なお、直資代理店に対して取り組んだ「代理店内の認定者率や認定者実数の要件化・水準引き上げ」や「代理店内の教育研修計画への織り込み」に関しては、東京海上日動パートナーズ社が呼応いただき、人事制度改定に織り込んでいただいたことで 79 名の申込者を集めたことが特筆できる。

期別	受講者数(申込締切時)			合計	修了者数	修了率
	会員	非会員	保 社員			
第 1 期 (2013 年度)				802	735	91.6%
第 2 期 (2014 年度)				804	732	91.5%
第 3 期 (2015 年度)	758	404	48	1,210	1,135	93.8%
第 4 期 (2016 年度)	1,044	358	56	1,458	1,361	94.6%
第 5 期 (2017 年度)	1,284	398	77	1,759	1,645	93.5%
第 6 期 (2018 年度)	1,642	492	101	2,235	2,112	94.5%
第 7 期 (2019 年度)	1,326	637	92	2,055 *2,051	1,885	91.7% *91.9%
第 8 期 (2020 年度)	1,025	368	75	1,468 *1,362	1,268	86.4% *93.1%
第 9 期 (2021 年度)	1,025	368	75	1,284	1,174	91.4%
第 10 期 (2022 年度)	908	271	52	1,231	1,057	85.8%
第 11 期 (2023 年度)	1,019	330	58	1,407	-	0.0%
	10,031	3,626	634	15,713 *15,603	13,104	83.4% *83.9%

なお、コロナ禍の影響により、代替策を講じたが中で、「一旦退講後に再申込」を選択肢した受講者が、2019 年度 4 名・2020 年度 106 名 合計 110 名がいた。

3) 「損害保険大学課程」の認知度向上の取組み

- ・損保協会と連携し、以下①～③の施策、損保トータルプランナーPR 動画の活用、損保トータルプランナー認定バッジの団体購入・着用勧奨、顔写真付きカード型認定証の購入・携帯勧奨などを展開した。
- ①消費者向け周知策として、新聞・刊行物・ポスター等への掲載、代理店検索サイト登録、消費者団体への案内
- ②認定者メリット・魅力アップ策として、認定取得者専用サイトの運営協力、Web 開催の認定授与式におけるパネルディスカッションの動画制作協力
- ③募集人・損保社員向け周知策:受講勧奨ちらし作成、協会長ステートメント・業界紙への記事掲載等
- ・損保各社内において、本課程の位置づけと活用方針を明確にして推進いただけるよう、7 社懇談会や個別打合せ時に要請を継続実施した。

4) 「損害保険トータルプランナー」の魅力度向上

① 社会的信認度向上

・損害保険トータルプランナー自らが、日々の活動の中で、消費者保護及び自らの資質向上に向けて取り組むとともに、消費者に向けた発信も必要であり、損保協会と連携し、以下の取り組みを展開した。

I. 認定者自身が日々の活動の中でお客様本位の業務運営を展開する。

II. 「3 つの基本行動 (i 「ポスターの掲示、A 4 認定証の事務所内提示」、ii 「認定バッジ、カード型認定証の着用と『損保トータルプランナーがいる代理店』への登録」、iii 「チラシの手交」、
「PR 動画(22 年 1 月配信)の上映・QR コードの提供)」を実践する。

但し、実施状況はバラつきがあり、仕切り直しが必要である。

② 「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の検討

・教育委員を中心に意見集約し、周知策・魅力アップ策を損保協会へ提起した。合同運営会議や損保会社メンバーで構成されている販売調査部会等の論議を通し、出来るものから実施することとした。

要望を続けていた顔写真入りカード型認定証の作成が実現し、2/1 から販売が開始された。今後は、募集人資格試験「基礎単位」の免除等の資格保有のメリット策の実現に取り組む。

(2) 日本代協アカデミーの展開

・事業環境が激変する下では、会員個々の経営努力を前提としたうえで、組織を挙げて、会員の業務品質強化に向けた支援に取り組む必要があるため、本会では、3 年越しの検討を経て日本代協アカデミーを構築し、2019 年 10 月 1 日から本格展開を始め、2022 年 10 月 1 日に 3 度目の更新を行った。

今後の教育研修事業の柱と位置づけた取組みであり、代理店賠償に並ぶ「代協の魅力」の一つとして強力な推進を計画していたが、年度初めからシステムダウンが複数回発生したため、原因究明と対応策立案に腐心することになった。原因は、システムの要件定義に起因するシステム疲労と判明したが、対応策としては、使い勝手向上に関する要望事項を合わせて実現するためにも、プラットフォームの移行が最善との結論となった。学習履歴の継承など諸課題の解決策を検討しながら、システムの構え方を再検討することに注力する日々が続いたが、10 月の更新時に新システムをリリースすることは間に合わず、半期分のみ更新手続きするというイレギュラー対応でコンテンツの提供を継続することを優先した。また、新システムのリリースを 2023 年 4 月 1 日に遅滞なく行うために、新システムの各サイトや顔が見えるようになった第 4 四半期から、新システムの改定に関する説明と利用勧奨について人海戦術を展開することとなった。

・2022 年度「目指せ、三冠王！」における日本代協アカデミーの評価カウントの変更が必要となった。

新システムの申込・入金を完了した「会員数または利用者 ID 登録数」をカウントするとしていたが、以下のとおり、改定し、取り組んだ。

＜旧システムに関する改定＞

*旧システムにおける目標達成代協(ID 数:岩手・大阪・福岡、会員数:愛知・広島)は1冠獲得とした。

*旧システムにおける利用者 ID 数の追加については、入賞可能性があるのは、山梨と沖縄と限定されていたため、個別フォローした。

＜新システムに関する改定＞

*新システムにおける利用会員数のカウントについては、

「3/31(金)までに申込みを行った会員数」を 4/6(木)に集計し、カウントする。

*新システムにおける利用者 ID 数のカウントについても、4/6(木)に集計し、カウントする。

但し、利用者 ID のカウントに関しては、管理者 ID が入金完了の会員に送信される仕組みであるため、申込みだけでなく、入金完了の督促を行う必要がある。早めに入金をしていただき、現時点での新システムのリリース日である 4/1(土)～4/5(水)の間に、各会員の管理者が利用者 ID 登録を完了させる必要がある。

・何よりも、日本代協アカデミーの取組の目的や本質的な意義について周知し、ルーティンに取り入れる会員を増やしていく活動に注力する必要がある。

（３）日本代協セミナーの開催

- ・一般社団法人 日本損害保険協会 岩崎 賢二専務理事による「日本代協と関係が深い損保協会の事業ならびに代理店の今後」セミナーを2022年6月14日(火)16時45分～18時15分にリアル開催した。
- ・栗山 泰史日本代協アドバイザーによる「保険代理店におけるマーケットデザインの問題～保険の原点とDXの時代」セミナーを2022年12月9日(金)14時20分～15時30分にZoomハイブリッド会議で実施し、その後、各代協会長・日本代協役員の分散会討議と発表を行った。

（４）海外研修（PIAS）

- ・第39次のPIASは、新型コロナウイルスの感染が収束しないことならびに円安、物価高の影響による渡航費用の高騰から企画が難しく、また本事業創設時より、旅行手配・添乗等を委託していた旅行社が団体旅行マーケットから撤退することとなったため、企画を中止し、合せて本事業については、一旦終了することとした。
- 将来、同種の企画の要望が多く寄せられる場合は、その時点で改めて実施を検討する。

（５）代協セミナー・代協支部セミナー

- ・代協(含むブロック)・支部セミナー 43代協6ブロック(延 243回, 参加者数 13,844名)

Web活用の環境構築も進み、セミナーの企画・開催ならびに参加者が多くなっている。

「代理店の未来を考える」、「金融庁検査の着眼点」、「サイバーリスク対策」、「防災・減災の取組み」、「災害に便乗した悪質な業者対策」、「事業継続力強化計画認定取得」、「代理店賠償」、「税制改正(相続税・インボイス制度)」などのセミナーが各地で開催された。アドバイザーや有識者、正副会長・理事・事務局によるセミナーも数多く開催された。

また、東海地区を発端に、あいおい社と代協との合同セミナー(「代理店のビジネススタイル変革」として前半を損保社から新たなビジネススタイルを提案し、後半を日本代協の代理店支援策を紹介する)の開催が好評を集め、関東や中国でも開催され、合計6回の開催を数えた。

さらに、保険会社社員向けに「代協とは」、「代理店賠償の必要性」、「顧客本位の業務運営」などのセミナーを開催することにより、社員と代理店間のコミュニケーションギャップの解消につながることも確認できたので、今後、企画・設営を増やす働きかけを行う。

Ⅲ. 公正な市場環境の構築・提言活動

（１）コンプライアンスの徹底

- ・総会時の募集規範朗読および各委員会時の倫理綱領の確認などを励行し、代協会員自身が個社としてコンプライアンスを徹底し、範を示すことが重要であることを周知した。
- ・不正を許さない企業文化を作り上げ、顧客本位の業務運営を実践することが重要であることを周知した。

（２）公平・公正な募集環境の整備

今年度も不適正疑義案件のデータベース化を進めるとともに、案件フローチャートの作成ならびに未防止策の実践等を行った。今年度の収集は8件(累計344件)。販売チャネル内訳は、ディーラー6件、専業1件、その他1件という結果で例年との比較において報告が減少した。実態としては各地で様々な疑義案件が発生していると考えられるので、報告ルールの周知が必要である。

ディーラー代理店の疑義事案の割合が多いことは例年通りの傾向であるが、保険募集時以外の災害に便乗した悪質な業者に関する情報が各地で目立ってきている。本会からは累計で46社の疑義事業者を報告したが、損保協会の手元にはその何十倍もの業者情報が集約されている状況であり、AIを活用した不正請求疑義事案検知機能の導入に向けた調査・研究や不正業者が関与した事案の事例集作成などの取り組みを行っている。

1) ディーラーを中心としたモニタリング

- ・「レッドカードちらし」や「公平な自動車保険募集に関する書面ひな型」を活用し、不公正募集の是正に取り

組んだ。

2) 災害に便乗した悪質な業者対策

- ・損保協会や鑑定協会とも定期的に連携を図っており、また、昨年12月より開始した「注意喚起メール配信」、「損保協会サイトのリンク」等の具体的な取組みを継続して実施した。

3) 銀行等による保険販売

- ・「イエローカードちらし」を活用し、2012年4月1日から施行されている「弊害防止措置」が遵守されているか、不公正募集の事案は発生していないかのモニタリングを継続した。
- ・把握した実態を今後の見直し論議に反映させるため、金融庁や損害保険各社への情報提供を継続した。

4) 日本郵政グループにおける保険販売への対応

- ・自動車保険ならびに長期火災保険に関しては、問題となる事案の報告はなかった。
- 今後も、日本郵便の保険事業拡大およびゆうちょ銀行の損害保険代理業参入後の動向を注視する。政連と連携し、なしくずし的な拡大に歯止めをかけられるよう今後も動向を注視していく必要がある。

5) 団体契約・集団扱・団体扱割引の適正な適用

- ・企画環境委員会では、本年度も引き続き、消費者の利益保護の観点からモニタリングを実施した。勤務先での強制加入勧誘に関する疑義案件の報告があった。

6) その他不適正募集等のモニタリング

- ・不適正な割引・割戻の削減に向け、特別利益の提供、抱き合わせ販売の際の説明話法事例の収集を行った。
- ・代理店の統合等を巡る保険会社の対応が一方的で高圧的と受け取れる案件は、当該保険会社に情報連携し、真摯な対話の実施を要請した。

(3) 業界の共通化・標準化に向けた提言活動

- ・消費者にとってメリットがある、業界全体の効率化につながる、代理店の無用なロードも軽減できると考えられる事案についての意見を継続して収集にあたったが、具体的な提案はなかった。

なお、個人分野の保険の商品約款・解釈の標準化については、損保協会としては、独禁法の壁は至って高く、競争制限的なものは一切認められないとの見解であるが、2023年3月10日開催の金融庁保険課長との意見交換会にて、改めて顧客本位の業務運営につながる観点での提案として意見を上げた。

(4) 代理店価値向上策の推進

- ・代理店価値向上策の推進として次の4つの取組み1)日本代協版「リスクマネジメント講座」、2)「ジギョケイ」取得推進、3)BCP策定、4)社労士診断認証制度に焦点をあて推進した。今後の環境変化の中で、プロフェッショナルな代理店として顧客本位の業務運営を推進していくために有用な取組事項であり、働きかけに注力したが、2)「ジギョケイ」の取得は12.2%、3)BCP策定は18.8%、社労士診断認証の取得は5.2%に留まっており、取組みの背景、意義、目的などの本質を更に周知徹底する必要がある。
- ・リスクマネジメント講座の受講者は増えておらず、周知の仕切り直しが必要であるが、大前提として、問題点を是正し、今後の運用を改定する必要がある。日本代協アカデミーの利用者のみが受講できる仕組みという立て付けにしたことにより、広く周知が進まない状況であることから、料金体系の細分化(i.日本代協アカデミー登録利用者75%引き、ii.日本代協会員50%引き、iii.一般割引なし)の検討を進め、また、各講座も期限を区切って学習できるよう学習期間を設定するなどのシステム改定を行う。

IV. 実効性あるCSR活動の展開

本業（リスクの専門家）に関連した取組みや地域の課題解決につながる取組みを主体として、Webの活用等の工夫も行い、取組んだ。

(1) 統一活動

A：全国（代協・ブロック）ベースの取り組み

1) 防災・減災の具体的取り組みの検討・推進

- ・ハザードマップ、マイ・タイムラインについては、全国委員会で勉強会を実施し、各地の行政や他団体とのコラボ企画の実現にも目を向け、アンテナを張り、取り組んだ。なお、兵庫県代協が対応した「ぼうさいこくたい」への出展については、今後、他の地域においても有意義な取り組みとなるため、連携する。

2) 地震保険の普及促進・付帯率アップ（代協）

- ・2022 年度も全代協で「地震保険啓発・普及キャンペーン」を実施した。原則 10 月実施、時期・場所等は各代協で判断、コロナ感染拡大の場合は街頭情宣中止と計画したが、コロナ禍の影響から、街頭活動は行わず、会員の日常活動を通じてのノベルティ配布等による実施となった。（ポスター8,125 部、ポケットティッシュ・ちらし 42,500 セットを配布）

3) 「子ども 110 番の保険代理店」の推進

- ・助けを求めて駆け込んできた地域の子供を保護する活動である「子ども 110 番の保険代理店」（「子ども 110 番の家」を日本代協として追認する仕組み）の取り組みについては、入会時の案内、既存会員への定期的な情宣を行った。

4) サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進

- ・世界の安全保障にかかる問題の発生や Emotet の復活（OneNote ファイル、ZIP ファイルなど）があり、日常の業務における留意点について改めて呼びかけを行った。また、各代協事務局に対してもサイバー保険に加入することの必要性を説き、検討・加入を促した。

5) 無保険車追放運動

- ・2022 年 7 月 15 日に 2022 年度自賠責広報協議会（国交省を事務局とする 7 府省 庁、17 団体（本会を含む）で構成）が開催され、昨年同様、全国ベースで自賠責保険制度の PR キャンペーンの実施が決議された。

全ての被害者に対して基本的な損害賠償を補償する自賠責保険の必要性、（自賠責保険の）無保険車運行の違法性の周知を図るもので、昨年同様、若年層・青年層を対象に広報・啓発活動を実施した。

『秋の全国交通安全運動（9 月 21～30 日）』の期間の平日に PR 活動を予定していたが、2022 年度もコロナ禍の状況を踏まえ街頭啓発活動は基本的には行わず、地域団体（大学の学生課等）・会員顧客へのノベルティ配布による啓発活動を実施した。

【損保協会連携活動】

「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画

- ・「ぼうさい探検隊」の取り組みでは、コロナ禍においても工夫を重ねて実践し、代協ルートで 232 団体・208 マップ（昨年は 184 団体・282 マップ）の提出となった。全体では 410 団体・1,179 マップ（昨年は 371 団体・971 マップ）の提出という状況となり、代協働きかけのルートの占有率が高かった。三冠王の課題項目の一つとしているが、全 47 代協が目標を達成し、1 冠を獲得した。

本取組を通して、生活者から求められているコンテンツであると確認した。ネームプレートの工夫や独自表彰状の交付など地域で定着を図る好取組も確認できたが、一方で課題は、提出締め切りに近い終盤に入ると目標数値達成のためのお願ひ活動となる傾向があり、ぼうさい探検隊の本来の意義が伝わらず、形骸化してしまう恐れがあることである。今後は着手を早めることの推奨を行う。

また、一昨年度実施の会員実態調査では、ぼうさい探検隊の認知度は 28.8 %であり、役員や委員など一部の方の取組みで目標達成してきた経緯も確認されたため、会員に広く周知を図り、100 人の一歩を実現できるよう取り組みを推進したい。

今年度もマップコンクールの後援団体として、「キッズリスクアドバイザー賞（日本代協賞）」を「みやだ探検隊（長野県代協ルート）」の作品に贈呈した。また、佳作には 6 作品が選ばれた。本会関連で参加した児童には参加賞（ウェットティッシュ）を提供した。

B：地域限定の取り組み

○ 盗難防止キャンペーンへの参画

・本会は、2012 年度より「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム(官:警察庁、民:損保協会を事務局とする 4 省庁、19 団体で構成)」に参画してきた。毎年 10 月 7 日を「トナアン(盗難)防止の日」と定め、盗難や各種犯罪の急増傾向に歯止めをかけるための対策の一環として、損保協会とともに消費者啓発活動を実施しているが、2022 年度も街頭活動は自粛し、YouTube 等による広報啓発活動を実施した。

なお、自動車盗難件数は 2003 年の 64,223 件から 2020 年の 5,210 件まで減少。本取り組みは一定の効果を上げたと判断し、2022 年 12 月末をもって終了する旨、損保協会から通知があった。

(2) 学校教育への取り組み

・損保協会と連携し、全国の大学における損害保険論等の講座において、日本代協担当講師による講義を実施した。全国3大学に対して、実務家としてプロ代理店の存在の周知も図った。

毎年 10 月に開催している講師育成のためのプレゼンテーションスキルアップ研修は、10 月 31 日(月)に Web ハイブリッド形式で開催し、10 名が認定され、「日本代協認定講師」は累計で 61 名となった。

(3) 代協独自活動

・統一活動以外の活動に関しては、各代協で地域の事情に応じ、主体性をもって取り組んだ。日本代協 CSR 委員会はその支援を行った。

(主な取り組み)

学生(小中高大)に対する出前授業の実施を三冠王の重点取組事項のひとつとして取り組んだ。

岩手、山梨、愛知、富山、三重、石川、福井、大分で実施された。

また、一般消費者向け公開講座、清掃、植林等の環境保全活動、献血、チャリティ等の社会貢献活動、消費者団体との意見交換会の開催(日本代協は東京ブロックと共催で 11 月 25 日実施)、高齢者事故防止対策(チラシと反射板の配布)などを実施した。

特筆は、福井県代協が取り組んだ自転車事故賠償対応(特約付帯推進、団体制度案内、地方自治体への働きかけ)等の社会課題対応関連の取組みである。代協事務局が相談等の窓口となり、地域の防災・減災に取り組んだ。

V. 組織力の強化

(1) ブロック・代協・支部の強化

1) 会員情報の収集・整理

・各代協においては、自代協の組織運営上必要な会員情報を収集し、リスト化することを目指して活動したが、労力のかかる仕事であり、完成している代協はまだ少ないのが現状である。

・事業計画に寄せられた提言「会員情報の全国一元管理が可能となる管理システムの構築」に関しては、規模・生い立ちにより各代協のニーズにバラつきがあるため、直ちに構築に向かう状況ではないが、ニーズ確認や使い勝手の良いソフトやシステムの模索は継続する。

2) 支部活動の強化

・支部活動は代協活動の原点であり、委員会、会長懇談会等においても支部の好取組事例の共有を強く意識して運営した。また、組織委員会正副委員長による各ブロック組織委員会への Web 参加により、また、組織委員による好取組事例の収集・提供などにより、「情報と熱を伝える」活動を実践した。

3) 各代協の会員資格と会費モデルの検証

・会員資格の確認においては、別個登録と契約取扱出先の違いや代理店登録番号・記号の確認が重要であることを共有し、正会員会費・一般会員会費・賛助会員会費のあり方の検討の機運が高まった。三冠王の目標としている入会目標の達成だけでなく、各代協の健全な財政基盤の確保のための中期計画の

策定・実践取組みが重要である。

4) 情報と熱を伝える取組み

- ・組織委員会を中心に各代協の好取組事例の共有を図り、ブロック協議会や各代協理事会・委員会に Web 参加し、情報提供を行った。また役員・委員においては direct チャットや LINE を利用した迅速な情報連携が定着してきた。

会長懇談会の「情報提供パート」については、代協会員がオンデマンドで視聴できるよう動画を作成し、会員専用書庫に掲載するなどの取組みを行ったが、視聴数はあまり伸びない状況でさらなる情宣が課題である。

5) 若手会員・女性会員の育成・登用

- ・日本代協理事・委員会委員・PTメンバーへの選任や好取組事例の取材先選定、業界紙への記事掲載等の機会を通して日本代協として側面支援を実施した。クォータ制などの提案も行ったが、各代協における意識的な取組みは不十分な状況であり、今後の課題である。

6) 新入会員のオリエンテーションの実施

- ・新入会員に、本会の活動に参加する喜びを体感してもらうため、また、退会防止のためにもオリエンテーションの開催は必須であるとの認識から、開催の徹底を働きかけた。

こうした中で、大阪代協では、19 回(新入会員ごと)開催されており、固定化・ファン化を図っていることは特筆できる。

新入会員を委員会配属やイベント担当とするなど代協活動に参加しやすい仕組みづくりについては、まだ実践できている代協は少ない。

2022 年度開催代協 14 代協(昨年度 13 代協)・34 回(昨年度 28 回)参加者 366 名(昨年度 186 名)

7) 組織運営のガバナンス確保

- ・各代協においては、関連法規(特に労働関係法規)を遵守し、「一般社団法人運営マニュアル」を参考に、態勢の構築、適正な組織運営、事務局の役割分担等を推進した。各代協の総会や理事会運営に関しては、「よくある法人運営上の誤り」に基づき、具体例を上げて適正な運営を促した。また、健全な財政基盤の確保に向け、会費体系等の見直しを検討する代協に対しては、「会員資格・会費の考え方」、「2013 年度第 8 回理事会議事録・資料」、「代理店登録番号・記号解説」を配付し、理解を深めたうえで地域特性を加味した会費体系づくりを進めるようにアドバイスした。
- ・「社員総会資料の電子提供」について、法令が整備され、対応が可能となったため、2023 年 3 月の臨時総会にて提案(決議)するとともに、各代協において積極的に検討できるよう参考情報を提供した。
- ・日本代協本部においては、各代協の運営に資する情報収集と知識習得に努め、専門家のネットワークを活用しながら、個別事案への対応をサポートした。

8) ブロック協議会による情報共有と相互の活性化支援

- ・今年度は、会長(代表理事)と業務執行理事(専務理事)が同時に交代という年度となったが、両者が同道して、全 16 ブロック協議会への参加や周年行事対応での代協訪問(それぞれ基本的にリアル対面式の訪問)を実施し、情報と熱が相互交換でき、相互活性化が前進した。
- ・ブロック協議会の内容では、2019 年 6 月開催の理事会で決議された「会員のニーズ把握や好取組取材候補先推薦」のブロック協議会の議題での論議が十分に行われていない点は課題である。
- ・各ブロックから、会議終了後すみやかに日本代協事務局に議事録を送付し、情報共有する取組を継続した。(各議事録の日本代協全役員メール配信および組織委員会諮問・推進事項一覧表での管理)

9) 代協のオンライン環境整備

- ・今年度も一昨年度に続き、オンライン会議やセミナー開催に伴うシステム関連設備の整備・拡充のための資金面(@10 万円限度)での支援を行った。

(2) 代協正会員の増強

1) 基本方針

- ・代協正会員の増強は各代協の経営上の課題であるが、全代協の取組みを後押しする観点から、当面は日本代協全体で取り組む。増強運動の盛り上げを図るため、日本代協としては公平性の観点から「入会ベース」の目標を設定し、取り組んだ。
- ・将来的には全代理店の加入、長期的にはその前提として過半数の加入(約 8 万店)を目標とし、そのステップとして、専業代理店換算組織率 50%超を中期目標において取り組んだ。加入勧奨に当たってはチャネル区分に関係なく、保険代理業を本業の一つに位置付け、志高く取り組んでいる有力代理店に幅広く加入勧奨を行った。

2) 本年度目標

- ・各代協の入会目標値の合計 411 店の達成を目指して取り組んだ。Webを活用して、ニーズに照らした各種セミナーの企画・開催、代理店賠償の提案、損保大学課程の受講勧奨、日本代協アカデミーの活用、代理店サポートデスクの活用等で「代協の魅力」の PR を展開し、仲間づくり推進(増強運動)を推進したが、411 店の入会目標に対して、362 店、88.1%の達成率に終わり、年度末最終合計 10,997 店となったが、専業換算組織率は 51.8%となった。代理店の合併・統合のペースは緩やかになっており、3 年前▲377 店、2 年前▲424 店、昨年▲250 店と比較すると▲97 店(入会が 362 店、退会が 459 店[うち合併等による退会 340 店](昨年度は入会 331 店、退会 581 店[内合併等による退会 435 店]))と圧縮できた。

3) 仲間づくり推進(代協正会員増強)のための取り組み

- ・各代協の入会目標値の合計 411 店の達成を目指して取り組んだ。

「連クォーター稼働(9 月末目標数の 30%以上、12 月末 60%以上)」においては、昨年の 11 代協を上回る 16 代協がスタートダッシュを決め、年間を通して取組みのラップを刻み、入賞した。

10 月末の進捗状況を踏まえて、2022 年 12 月から全国一斉「代協正会員増強キャンペーン」を実施した結果、「目指せ、三冠王！」の入賞やグレードアップの取組みと一体となって、盛り上がりを図ることができ、「増強:±0 以上年間減少脱却キャンペーン」では 23 代協(昨年は 10 代協が達成)が達成した。

- ・三冠王(仲間づくり、コンサルティングコース受講勧奨、重点取組項目)の柱とする項目に各代協の意見を反映させ、日本代協アカデミー、ぼうさい探検隊、学生出前講座、会費体系見直し等の代協の体制整備の他に BCP 作成、事業継続力強化計画認定取得、社労士診断認証「宣言企業」を設定し、三冠王獲得へのモチベーションアップを図った。

但し、日本代協アカデミーの評価については、新システムの要件定義を含む設計や切替え時期の問題から、カウント方法を修正せざるを得ず、2,3 月の利用勧奨には負荷をかけることになった。

三冠王の獲得状況は以下の通り、

<三冠王>(記載順:三冠王獲得日順)

- ・ダイヤモンド三冠王(6 冠以上)

9 冠…該当なし

8 冠…山梨(V9)

7 冠…福井(V5)、愛知(V1)、富山(V1)

6 冠…広島(V1)、福岡(V5)、三重(V4)、徳島(V4)、神奈川(V2)

- ・プラチナ三冠王(5 冠)……山口(V1)、岩手(V1)、香川(V1)、石川(V4)、鳥取(V1)

- ・ゴールド三冠王(4 冠)……和歌山(V1)、京都(V9)、大阪(V4)、宮崎(V4)、新潟(V1)、滋賀(V7)、岡山(V1)、群馬(V1)、岐阜(V1)、鹿児島(V4)

- ・三冠王(3 冠)……青森(V1)、奈良(V9)、沖縄(V4)、長崎(V3)、大分(V1)、千葉(V1)、福島(V1)、北海道(V4)、熊本(V9)、長野(V1)

- ・換算組織率において香川 84.7%、徳島 82.4%、京都 82.1%、奈良 76.1%、滋賀 74.6%、岡山 72.9%、和歌山 72.4%、鳥取 72.0%、石川 70.0%と 9 代協が 70%を超えた。

・2022 年度末会員総数は 10,997 店(換算組織率 51.8%)となった。

代協正会員数推移		入会	退会	入会－退会
2002年3月31日現在	12,417 店	765	1,252	△ 487
2003年3月31日現在	12,356 店	1,054	1,115	△ 61
2004年3月31日現在	12,113 店	817	1,060	△ 243
2005年3月31日現在	12,070 店	887	930	△ 43
2006年3月31日現在	11,912 店	809	967	△ 158
2007年3月31日現在	12,020 店	985	877	108
2008年3月31日現在	11,864 店	751	907	△ 156
2009年3月31日現在	11,703 店	939	1,100	△ 161
2010年3月31日現在	11,566 店	723	860	△ 137
2011年3月31日現在	11,485 店	646	727	△ 81
2012年3月31日現在	11,470 店	619	634	△ 15
2013年3月31日現在	11,491 店	644	623	21
2014年3月31日現在	11,498 店	569	562	7
2015年3月31日現在	11,758 店	744	484	260
2016年3月31日現在	12,041 店	852	563	289
2017年3月31日現在	12,215 店	718	550	168
2018年3月31日現在	12,267 店	556	504	52
2019年3月31日現在	12,145 店	499	621	△ 122
2020年3月31日現在	11,768 店	374	751	△ 377
2021年3月31日現在	11,344 店	324	748	△ 424
2022年3月31日現在	11,094 店	331	581	△ 250
2023年3月31日現在	10,997 店	362	459	△ 97

4) 各保険会社研修生の勧誘

・本会では、1998 年度より損保協会、損保各社の協賛を得て、代申会社から研修生卒業全代理店に本会入会関係資料の手交と入会勧奨を依頼しているが、2022 年度も損害保険会社各社の代理店業務担当部長あてに関係書類を送付して協力をお願いした。

5) 損保各社との対話・連携強化

・2022 年度も、本会、ブロック協議会、代協、支部がそれぞれの立場から災害に便乗した悪質な業者対策、防災・減災の取組み(含む地震・風水災リスクや中小企業のリスク啓発のための動画制作への協力)、損保協会の寄附講座(各地の国立大学等)への講師派遣について連携を図り、関係強化に取り組んだ。

(3) 人材育成研修会

・2022 年度は、前年度開催できなかったブロックを合わせ、12 ブロックに予算を手当てしたが、四国を除く、次の 11 ブロックで開催された。

北海道(2022 年 9 月 30 日ライフオート札幌)、北東北(2022 年 9 月 22 日ホテルエース盛岡・ZoomHB)、南東北(2022 年 10 月 7 日山形国際ホテル)、上信越(2022 年 7 月 15 日ホテル木暮)、東関東(2022 年 11 月 11～12 日クロスウェーブ幕張)、南関東(2023 年 2 月 17 日ホテル談露館)、東海(2023 年 2 月 3～4 日 THE HAMANAKO)、北陸(2022 年 12 月 22～23 日福井パレスホテル)、西中国(2022 年 10 月 28 日広島県立総合体育館)、東中国(2022 年 11 月 5 日津山圏域雇用労働センター・ZoomHB)、九州北(2023 年 2 月 17～18 日 HOTEL シーサイド島原)

【参加者数 計 445 名】

・自主開催は次の通り

大阪(2022 年 6 月 9 日 Zoom)、三重(2022 年 10 月 12 日、19 日)、近畿(2022 年 11 月 30 日 クサツエストピアホテル)

【参加者数 計 134 名】

(4) 代理店賠償の普及と経営品質向上

1) 代理店賠償の引受内容

・2022 年 10 月 1 日から始まるポリシーの補償内容に関しては前年度プランと変更なし。

- ・代理店賠償審査会は、2023 年 1 月 24 日に開催し、疑義案件の審議や保険金支払基準について討議し、制度の質の維持・向上に努めた。

審査会有識者委員は大塚英明（早大教授）、古笛恵子（弁護士）、新 有道（弁護士）、錦野 裕宗（弁護士）、栗山泰史（日本代協アドバイザー）の各氏。

2) 加入促進、制度の健全な運営確保のための施策

- ・Chubb 社の協力の下、各地域で Web を活用した代理店賠償研修会を計 21 回開催し、未加入会員や未加入会員の代理店、保険会社社員に対して保険業法 283 条をはじめ本制度の情宣と加入促進を行った。
- ・組織委員会においては、他山の石：事案ごとの責任割合（求償割合）についても勉強会を実施した。
- ・「経営品質向上委員会」は、2023 年 3 月 10 日の全国会長懇談会において開催し、Chubb 社から、具体的な保険金請求事例と責任割合等を中心に現状分析を行い、全代協会長に情報提供を行った。

3) 加入状況

- ・2023 年 3 月末では 9,646 店（加入率 87.7%）となった。各年度別実績は次のとおりである。

代理店賠償加入者数 年度別実績 推移							各年度とも3月末時点での実績				
年度	内訳	保険始期日加入者数	店	中途加入者数	店	中途脱退者数	店	年度末加入者数	店	加入率	%
2002年度		3,723		722		14		4,431		35.9	
2003年度		5,180		604		43		5,741		47.4	
2004年度		6,109		652		62		6,699		55.5	
2005年度		7,187		630		110		7,707		64.7	
2006年度		7,908		700		82		8,526		70.7	
2007年度		8,352		479		59		8,772		74.1	
2008年度		8,558		547		27		9,078		77.6	
2009年度		8,787		364		18		9,133		79.0	
2010年度		8,869		365		17		9,217		80.2	
2011年度		8,833		296		21		9,108		79.4	
2012年度		9,073		298		16		9,355		81.4	
2013年度		9,225		252		8		9,469		82.4	
2014年度		9,425		341		4		9,762		83.0	
2015年度		9,626		409		8		10,027		83.2	
2016年度		9,975		326		5		10,296		84.3	
2017年度		10,120		217		3		10,334		84.2	
2018年度		10,048		281		10		10,319		85.0	
2019年度		10,020		199		16		10,203		86.7	
2020年度		9,877		167		1		10,043		88.5	
2021年度		9,605		177		3		9,779		88.1	
2022年度		9,473		173		-		9,646		87.7	

VI. 活力ある代理店制度の構築

（１）活力研の開催

○2022 年度の取り組み

- ・2022 年度は、第 1 回目を 2022 年 7 月 21 日に 3 年ぶりのリアル集合形式で開催し、下記 3 つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。

①実態調査結果による代手ポイント変動のチャネル分析

②火災保険基準代手率変更に関する対応火災保険基準代手率変更に関する対応

③ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店とのコムドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店とのコミュニケーションギャップの解消方法を考える

今回から、議事録のみならず要点を解説した動画を作成し、取組みの周知を図った。

- ・第 2 回目は 2023 年 3 月 1 日にリアル集合形式で開催し、下記 2 つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。

①「顧客本位の業務運営の原則（以下「原則」）及び「代理店の業務品質管理の高度化」という観点を中心に、あるべき代手ポイント制度とはどういうものか

②各保険会社が専業代理店に期待すること

さらに、顧客本位の業務運営をさらに進展させるために、インセンティブとなるような評価項目にはどういう項目がいいのかを一緒に考えていくことが重要であると考え、以下の論点に沿って議論を進めた。

*「重要な情報のわかりやすい提供(原則5)」-(1)高度の専門性、(2)デジタルを使った情報提供

*「顧客にふさわしいサービスの提供(原則6)」-(1)リスクマネジメントの観点、(2)専属と乗合とのポイント差をどう考えるか

*業務品質の高度化

・詳細に関しては、既配信の各議事録を、ポイントについては動画(17分17秒)を参照いただきたい。

(2) 金融庁と代協会長との意見交換会の開催

- ・「金融庁保険課長と代協会長との意見交換会」に関しては、2021年保険モニタリングレポート(P.10)にも記載のとおり、金融庁としても、顧客本位の業務運営を浸透させるためには、損害保険代理店との円滑な連携が不可欠と位置づけ、本会との対話を継続的に実施するとの事務年度方針が公開されている。
- ・2022年4月28日(木)、昨年に続き、2回目となる「金融庁保険課長と代協会長との意見交換会」を池田賢志保険課長に日本代協事務局会議室にお越しいただき、Web開催した。現場の実態、課題を直接保険課長に伝え、意見交換を行い、課題解決に向けて共有した。
- ・2023年3月10日(金)16時～18時に第3回目となる意見交換会を損保会館2F大会議室にて、三浦知宏保険課長にお越しいただき、初めてとなるリアル対面方式で開催した。その後、名刺交換を行い、同会場にて立食の情報交換・交流会も開催した。

今回は、事前にも質問を受け付け、共有したうえで意見交換会を実施した。質問のテーマ分類は次のとおり、①手数料ポイント制度、代理店合併・統合、乗合承認、他チャネルとの競争上の課題その他、保険会社とのコミュニケーションの中で抱えている課題について、②業務品質の高度化や顧客本位の業務運営の実践に向けた取り組み、工夫している点の披露、③保険会社との連携で取り組んでいる施策等の披露④金融庁への質問事項、という4つの分類とした。

三浦保険課長の意見交換会での最後のコメントを記載する。

「地域に根ざすところについて、単に保険を販売する業務の枠を超えた活動をされていることを改めて伺うことができ感銘を受けている。冒頭に申し上げたが20年、30年前は保険の販売と事故が起こった時の対応だけの点と点のような関係だったが、これまでの話を伺うなかでは、点を線にして線を面に広げていくような取組をされているのだと感じた。今はスマホを使えない方がいるかもしれないが、スマホを使いこなしている世代が将来使わなくなることはないと思うので、点を線にしていくのに一番楽なのはデジタルツールだと思っている。線を面にさらに広げていく活動は、地域に対して保険ビジネスがどう貢献していくかが鍵であり、地域のより深いところに食い込んでいくことが極めて重要ではないかと思っている。」

(3) 環境変化対応の支援

- ・日本代協事務局から、体制整備義務履行のためのサポートを行った。「ワンポイントレッスン」、「業務関連情報ニュース」、「各種ガイド」などを提供した。また、代理店経営サポートデスクと連携し、日本代協アカデミーの教育コンテンツの制作や情報提供コンテンツでの最新情報のお知らせを行った。
- ・環境認識を踏まえ、代理店の経営体制をさらに整備するため、「10年後の代理店経営を考える」、「金融庁検査の着眼点」、「地域の未来と代理店のミライ」などをテーマとしたセミナーを数多く開催した。
- ・業法改正に係る府令・監督指針、保険会社の各種制度の動向を注視し、影響度の分析を行ったうえで、適宜メールやセミナー等で代協会員向けに情報を提供するとともに、募集実務に過度な負担を及ぼすことがないように金融庁や損保協会に働きかけた。
- ・生保協会が実施した業務品質評価の動向やインボイス制度等についても情報収集・提供を行った。フリーランス保護新法についても情報提供を行う。

VII. 広報活動の展開

(1) ホームページ（HP）の活用

1) 日本代協のホームページ

- ・ホームページは、「社会に開かれた窓」（法人の顔）として、本会から会員、非会員代理店、および一般消費者に対する重要な情報発信ツールであり、また本会を理解していただくための窓口でもある。動画の活用、YouTube の活用、損保協会サイトのリンクを通して、わかりやすい情報提供を推進した。

2) 各都道府県代協のホームページ

- ・代協という組織がHPおよびSNSの活用推進をする上で必要な項目や基本的マナーを整理する位置付けとして「HP・SNSガイドライン」を作成し、広報委員によるパトロールや個別問い合わせ対応などで各代協への周知に努めた。

(2) メディア対策

- ・本部事務局、各代協において業界紙、全国紙、地方紙、テレビ、ラジオ等のメディアと平素より良好な関係を保ち、記者会見、インタビュー等を通じて本会の見解、意見等を世の中にアピールした。また、各地で代協活動等を行う場合には事前に地元の新聞社へ連絡し、記事として掲載してもらうよう働きかけた。損保協会が企画するリスク啓発動画(地震・水害や中小企業リスク等)の制作にも引き続き、協力した。
- ・本部での広報活動は、「代協の存在」と「代理店は消費者・契約者のリスクコンサルタントである」ことをPRし、『保険を選ぶ前に、代理店を選ぶ。』という考え方を普及することおよび各代協での消費者団体との懇談会推進の側面支援をすることなどを主な目的として実施した。

- ①2022 年度 地元新聞への広告掲載 その他、テレビ、FM 放送や、地下鉄車両への広告掲示、タウン誌等への広告掲載等、地元に着目した広報活動を実施した。

対外広報活動

<新聞広告>

広告主	掲載日	掲載媒体
北海道 室蘭	2023.02.28	室蘭民報朝刊版(わろみんくらしガイド2023年・春)発行部数5万部
北海道 室蘭	2022.11.01	室蘭民報朝刊版 約61,000部
北海道 旭川	2022.12.10	北海道新聞 旭北版(約20万部)・空知版(約5.8万部)
北海道 函館	2022.10.29	北海道新聞夕刊 テレビ欄下 発行部数約5万部
青森 八戸	2022.11.10	デーリー東北新聞社
青森 八戸	2022.07.21	デーリー東北新聞社 夏の交通安全広告
岩手	2022.11.01	岩手日報 全面
秋田	2023.03.11	秋田魁新報 防災・減災特集 協賛広告
秋田	2022.08.26	秋田魁新報 豪雨災害お見舞い
秋田 県北	2023.01.06	北羽新報 (能代地区)
秋田 県北	2022.09.20	北鹿新聞 秋の交通安全運動企画広告
秋田 県南	2023.03.11	秋田魁新報 県南支部会員広告
新潟 長岡/上越	2022.10.22	新潟日報朝刊 上越版
群馬	2023.01.01	上毛新聞 私の年賀状
群馬	2022.09.21	上毛新聞 秋の全国交通安全運動
群馬	2022.08.31	上毛新聞 防災特集
群馬	2022.04.06	上毛新聞 春の全国交通安全運動
千葉 安房	2023.01.29	房日新聞 3万部発行
千葉 安房	2022.04.03	房日新聞
山梨	2023.01.23	山梨日日新聞 損害保険トータルプランナー周知全面広告 発行部数21万部
静岡 御殿場	2023.03.01	静岡新聞「春の全国火災予防運動」
静岡 富士富士宮	2023.03.25	富士ニュース (損害保険トータルプランナー紹介)
静岡 富士富士宮	2023.03.25	静岡朝日 (損害保険トータルプランナー紹介)
静岡 富士富士宮	2022.12.03	富士ニュース
静岡 富士富士宮	2022.12.03	静岡朝日
愛知	2022.10.27	中日新聞 15段モノクロ 一面
岐阜	2023.02.25	中日新聞 損害保険トータルプランナー広告掲載
岐阜	2022.09.23	岐阜新聞社
三重	2022.12.03	中日新聞 朝刊 一紙面全面広告 年末の交通安全県民運動
三重	2022.05.20	中日新聞 (5月は「消費者月間」です)
三重 津	2022.11.30	伊勢新聞 津支部と久居ライオンズクラブの献血推進連携協力に関する協定締結式

広告主	掲載日	掲載媒体
石川	2022.09.01	北國新聞
福井	2023.02.20	福井新聞 損害保険トータルプランナー会員広告 (5段×2面)
福井	2022.11.13	福井新聞
福井	2022.07.15	日刊県民福井 福井県自転車条例に関する広告
福井	2022.07.07	日刊県民福井 福井県自転車条例に関する広告
福井	2022.07.02	日刊県民福井 福井県自転車条例に関する広告
福井	2022.05.28	福井新聞 福井県自転車条例に関する広告
京都	2022.06.17	京都新聞 地震保険啓発キャンペーン
奈良	2023.02.18	毎日新聞 奈良版
岡山	2023.03.11	山陽新聞 朝刊全県版
岡山	2022.09.03	山陽新聞 朝刊全県版
広島 呉	2022.11.02	中国新聞 呉・東広島版ページ 下5段
徳島	2023.01.01	徳島新聞
徳島	2022.04.09	徳島新聞
香川	2023.01.03	四国新聞 15段カラー 一面
愛媛	2023.01.03	愛媛新聞『損害保険トータルプランナー』周知全面広告
愛媛	2022.12.29	愛媛新聞 年末の交通安全運動
愛媛	2022.12.17	愛媛新聞社 えひめ防災・減災いよせゼロプロジェクト2022『えひめ防災週間』
愛媛	2022.09.24	愛媛新聞 秋の全国交通安全運動
愛媛	2022.09.01	愛媛新聞社 えひめ防災・減災いよせゼロプロジェクト2022『防災の日(防災月間)』
愛媛	2022.07.24	愛媛新聞 15段カラー全面広告
愛媛	2022.04.06	愛媛新聞 春の全国交通安全運動
大分	2022.09.01	大分合同新聞
佐賀	2022.11.07	佐賀新聞 折込チラシ
宮崎	2023.02.22	宮崎日日新聞へ「やさしい運転2022キャンペーン 2022年5月～2023年3月」
宮崎	2023.01.04	宮崎日日新聞
熊本	2022.12.31	熊本日日新聞

<雑誌広告>

広告主	掲載日	掲載媒体
北海道	2022.11.25	雑誌「HO」2023年1月号 部数8万部
北海道 札幌	2023.03.10	広報誌「ホームドクター2023（中央区版）」広告掲載 3頁 12万部
北海道 札幌	2023.02.10	広報誌「ホームドクター2023（西区・手稲区・石狩市版）」広告掲載 3頁 10万部
北海道 札幌	2023.01.10	広報誌「ホームドクター2023（南・豊平・清田区・北広島市版）」広告掲載 3頁 10万部
北海道 札幌	2022.12.10	広報誌「ホームドクター2023（白石・厚別区・江別市版）」広告掲載 3頁 10万部
北海道 札幌	2022.10.31	広報誌「ホームドクター2023（北区・東区・石狩市版）」広告掲載 3頁 10万部
北海道 札幌	2022.06.10	「ホームドクター2022-2023」統合版 3頁
北海道 函館	2022.07.15	フリーペーパー「ハコラク」に会員名簿掲載、発行部数4万部
北海道 函館	2022.06.30	フリーペーパー「ダテパー」7月号に会員名簿を掲載、発行部数5万部
青森 八戸	2023.01.05	会報誌「八戸商工ニュース」名刺広告

<テレビ・ラジオ>

広告主	掲載日	掲載媒体
群馬	2022.09.05	FM群馬 防災キャンペーン
三重	2022.12.05	F M 三重 ラジオ会長生出演
三重	2022.12.01	FM三重 ラジオスポットCM12月1日～8日（25本）
石川	2023.02.13	テレビ金沢 スポットCM（2/13～3/31）

<その他>

広告主	掲載日	掲載媒体
北海道 小樽	2023.02.01	「小樽雪あかりの路2023」実行委員会ホームページ（協賛企業・団体）に広告掲載
北海道 千歳	2022.04.06	FMラジオ番組表（e-niwa FM77.8）3か月スパンで1年間の契約、R5年3月まで（2500部）
千葉 木更津	2022.12.11	千葉県小学生ソフトテニス親子大会チラシ掲載
三重 鈴鹿	2022.09.03	すずかフェスティバル
京都	2022.04.01	京都市×京都代協×京都府協同組合との防災提携ならし、京都市地下鉄、市役所、区役所に配布
京都	2022.04.01	京都市島九線 地下鉄広告（トータルプランナー）一年契約
島根	2022.11.27	山陰中央新報 生活情報紙「うびえる」158,000部

②「業界紙との懇談会」

- ・業界紙3社（「保険毎日新聞」、「新日本保険新聞」、「インシュアランス」）との懇談会を7月1日にリアル対面形式で実施し、意見交換を行った。次年度以降も毎年開催していく。

③ 週刊東洋経済臨時増刊 2022 年版(11 月 2 日発行)「生保・損保特集」P.5(広報)、P.90

- ・広告と小田島会長のインタビュー記事を掲載した。

④新日本保険新聞との共同取組である代協活動の新聞掲載記事のスキームを活用し、情宣に努めた。

(3) Web 媒体等の活用

- ・2022 年度も、昨年に続き、以下の特別番組をYouTubeにて視聴できる仕組みとした。
- ・今年度の PR 企画は、共同広告社の提案を採用し、以下の概要で制作した。
- ・FP が語るトータルプランナー(1:28)、体験者が語るトータルプランナー(1:15)、利用者が語るトータルプランナー(1:18)の3本のPR動画を作成し、2023 年 1 月 1 日からリリースした。
- ・マネープラスの広告記事にも盛り込み、さらなる拡散に努めている。

「保険を選ぶ前に、代理店を選ぶという考え方。」を伝え続ける		
タイトル	配信開始日	放映媒体
〇〇が語るトータルプランナー	2023年1月1日公開	YouTube
保険を選ぶ前に、損保トータルプランナーが在籍する代理店を選んでおくことが大事なポイント！！		
FP が語る損保トータルプランナー、体験者が語る損保トータルプランナー、利用者が語る損保トータルプランナーと3つのシチュエーションで損保トータルプランナーの活躍を紹介している。		

(4) 「みなさまの保険情報」の活用

- ・成熟経済の下では、既存契約者との接点強化は極めて重要な命題であり、全ての代協正会員が「損害保険代理業は情報提供業」との意識で、積極的に顧客への情報提供を行う必要があるとの認識から、広報委員会を中心に「みなさまの保険情報」の購入勧奨を行ってきた。しかしながら、2023 年 3 月末時点の利用状況は、403 会員 40,675 部(前年度末現在 405 会員代協計 41,345 部)にとどまり、購入会員数比率も 3.6%から 3.7%と微増した。PDF データとして購入・活用する会員は 63 会員と昨年から 12 会員増えた。この情報誌の存在・活用方法を浸透させ、お客さまとの接点強化のひとつとすることを改めて周知しなければならない。

VIII. 代協会員への経営支援・情報の提供

(1) 代理店経営支援策の検討・提供

・2019 年 7 月に開設した「代理店経営サポートデスク」が機能しており、会員ニーズに応える施策の起案やツール作成・提供、セミナー企画・開催が進んだ。個別相談も累計で 268 件となったが、2022 年度は 62 件と減少傾向にある。(注 参照) 実態調査における認知度は 22.2%という状況だが、相談者からは高く評価されており、週 2 日体制としていた電話による直接相談は、2023 年度は週 1 日体制に戻して継続して対応する。

(注:事業承継 58 件、代理店 BCP・事業継続力強化計画 72 件、労務管理 45 件、代理店経営全般 52 件体制整備等 26 件、その他 15 件)

(2) 代理店経営サポートデスクによる支援メニューの提供・展開

1) オンライン相談日の新設

・毎週火曜日に事前予約制でオンライン対面型の「Zoom 相談」を設営することとし、案内したが、申込みは少なかつたため、次年度は個別対応することとした。

2) 新支援メニューの提供

①「代理店自己点検レベルアップ研修」の新設

・監査(自己点検)の実効性向上のため、研修プログラムの作成を進めていたが、自己点検eラーニング(無料提供)がまもなく提供できることとなった。さらにWebによる実務研修(8 万円)、訪問による実務指導研修(10 万円)の 3 ステップで提供する。

②「代協事務局用 BCP 策定基本ガイド」の作成・提供

・代協事務局用に災害時に代協会員の活動を支えるための代協事務局用の BCP 策定ガイドを提供した

③「代理店経営 SWOT 分析基本ガイド」の提供

・代理店の強み(独自力)を明確にして経営戦略策定に活かすため、小規模代理店※を想定した SWOT 分析のためのガイドブックを作成、提供した。(※募集人 10 名程度までを想定)

④「小規模企業共済・経営セーフティ共済」活用ガイドの提供

・中小機構が運営する上記2つの制度共済活用のためのガイドブックを作成、提供した。

3) 継続施策の実施

① 事業継続力強化計画認定申請支援(サポートデスク)

・申請書作成支援・セミナー依頼への対応に加え、認定代理店間の「事業継続力強化計画(連携型)認定申請」の企画とサポートを提供し、代理店・法人顧客の事業強靱化を支援した。わかり易い認定取得ガイドを作成し、ワークショップも開催し、認定取得を支援した。第 4 四半期に実施したワークショップでは、大阪 33 名、福岡 46 名が参加し、GbizIDプライムを使用した申請を行った。参加してよかったという回答が 100%という結果となった。

②「代理店経営未来塾」開催(サポートデスク)

・「第 1 期」フォローアップ:サマースクールを 8 月 22 日に中島克海副会長を講師にお招きし、開催した。

・「第 2 期」開講:11 月～4 月の 6 か月間・受講料 3 万円・オンライン講座を 15 名が受講中である。

保険や保険募集に関する勉強とは異なる代理店経営のセオリーを学んでおり、課題をもって参加している各参加者との交流がとても有意義であるとの感想が多く上がっている。2023 年の秋口に第 3 期も継続設営の予定である。

(3) 情報提供の推進

・業界を巡る環境変化の激しさの中で、重大な問題が日々展開しており、本会の意見、取り組み内容等を従来以上にタイムリーに会員に情宣している。配信文書は原則 A4・1 枚とし、冒頭にポイントを明示し、

簡潔に伝えることに努めた。

1) 「日本代協ニュース」

- ・「日本代協ニュース」(定期版)は、年 10 回発行。全てのニュースを FAX & MAIL 版としてダイレクトメールによって発信した。掲載内容は、代協活動や代理店経営にかかる最新動向を主とし、会議報告等はポイントのみに絞った。
- ・業界動向をまとめた「情報版」は A4・3 枚ほどの分量の情報となった都度、配信した。

2) タイムリーな情報提供の実施

- ・直ちに全役員（経由各代協会員）、委員会委員に伝達すべき情報については、ビジネスチャット direct を活用して適宜情報提供を実施した。

3) 「代協活動の現状と課題」（冊子）

- ・「代協活動の現状と課題」は代協会員の必携であり、9 月中旬に全会員に配布するとともに、日本代協ホームページにも掲載し、活動の透明性を図った。また、今回から各章のポイントを作成することで理解促進を図った。各代協に対して、紙媒体廃止の可否についてアンケート調査も行ったが、二分されており、まずは内容の周知を図ることに注力することとした。

(4) タスクフォース

- ・継続して開催すると計画していた「リスクマネジメント講座の展開・推進」ならびに 2022 年 6 月までの設置ととしていた「リタイアメントプランの整理・事例提供」は、活動を中断した。リスクマネジメント講座の受講推進に関しては、まずは日本代協アカデミーにリンクさせた展開だけでなく、料金体系やシステム改修が有効と判断したため、またリタイアメントプランの提供については、背景や取組みの意義、目的の伝え方に関する課題、タイミング等についての合意形成ができなかったためである。

Ⅸ. コンベンション

コロナ禍の影響から、9 月の理事会において、式典・分科会は 3 年ぶりにリアル集合形式で開催するが、懇親会は開催しないと決議した第 11 回日本代協コンベンションは、総勢 408 名がリアル参加し、成功裏に開催することができた。

- ・テーマ:「シン・代理店価値」～顧客価値と代理店価値、変革の焦点を定める～
- ・基調講演の参加者のうち 316 名 90.0%から高い評価をいただいた。また、コンベンション全体を通して参加者から、概ね高い評価をいただき、所定の目的を達成したと考える。

<コンベンションの内容>

第一部 式典・功労者表彰・基調講演(総勢 408 名が参加)

11/18(金) 主催者挨拶:小田島綾子会長、ご来賓祝辞:金融庁三浦知宏保険課長、白川儀一損保協会長

功労者表彰:表彰者8名を表彰、受賞者代表ご挨拶:菊地 勝男 氏

基調講演:「中小企業における心理的安全性のつくりかた」

講師:(株)ZENTech 代表取締役 石井 遼介 氏

第二部 分科会(総勢 345 名が参加)

11/19(土) 分科会①:「代理店の DX 対応の戦略性」

日本代協アドバイザー 中崎 章夫 氏

分科会②:「新たな保険行政の動きと代理店経営のあり方」

日本代協アドバイザー 栗山 泰史 氏

分科会③:「地域に必要とされる保険代理店を目指して～DX を活用したブランディング」

株式会社 dii 代表取締役 永井 伸一郎 氏

分科会④:「高収益・高賃金を生み出す『経営計画書』の作り方」

税理士法人 古田土会計 代表社員 古田土 満 氏

- ・2023 年度第 12 回コンベンションの開催プランの検討

2023 年度は 11 月 17 日(金)・18 日(土)という日程を予定している。コロナ禍の情勢等を見ながら、6 月までには判断する予定である。

11 月 17 日グランドニッコー東京 台場、11 月 18 日損保会館等にて開催すべく会場を確保している。

X. 法人運営

(1) 一般社団法人としての体制整備と運営

- ・2013 年 4 月 1 日以降、一般社団法人となり、新たな定款、諸規則に沿った組織運営を行った。
- ・重要事項に関しては、各委員会経由に留まることなく、直接各代協会長・事務局にも伝達を心掛け、実施した。また、逆に会長・事務局に通達している内容の各委員会委員との共有や認識状況の把握を行うよう取り組んだ。
- ・会長懇談会等では、一方的な情報提供になることのないよう Zoom ブレークアウトセッションを活用した分散会運営や意見交換をメインとした運営を心掛けた。
- ・本部事務局の男性職員が昨年 3 月末に退職したが、その補充が叶わず、1 名欠員という状況で運営せざるを得ない年度であった。業務の見直し・再分掌・女性スタッフの雇用等により、凌いで来たものの、各代協の法人運営の点検(総会・理事会の運営、事務局職員の労務管理状況等を確認等)およびが実施できず、本部スタッフによる各代協事務局の個別支援は、具体的な相談を受けた代協に対してのみ実施した。

なお、2023 年 4 月 1 日付で要員が確保でき、1 名欠員の状況は解消する。

- ・会議等の資料は、Web 配信(メール、direct、どこでもキャビネット)を行った。また、Vimeo や YouTube を利用して動画を多数提供した。2023 年 3 月 10 日の臨時総会、全国会長懇談会では、紙媒体資料は一切配布なしという形式で運営した。
- ・100 万円以上の案件は、原則として BID を実施している。
- ・日本代協アドバイザーの現在の布陣

:栗山泰史氏、中崎章夫氏、日本創倫(株)(山本秀樹氏、風間利也氏)、David N Blaksley 氏、
錦野裕宗氏、岩崎邦彦氏、望月広愛氏、土川尚己氏、吉田桂公氏、粕谷 智氏、牧野 司氏、
成島 康宏氏

(2) 代協事務局職員研修の実施

- ・昨年度より、テーマごとに Zoom ミーティングで開催することとしたが、2022 年度は開催できなかった。

以上

付1. 諸会議と諸問題の処理経過

1	総会	2022年度 通常総会 2022.6.14 リアル集合形式	第1号議案	2021年度(第58期)事業報告案承認の件
			第2号議案	2021年度(第58期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録案承認の件
			第3号議案	全役員任期満了に伴う役員選任の件
		2022年度 臨時総会 2023.3.10 リアル集合形式	第1号議案	2023年度(第60期)事業計画案承認の件
			第2号議案	2023年度(第60期)正会員会費額案承認の件
			第3号議案	2023年度(第60期)収支予算案承認の件
			第4号議案	定款一部変更案承認の件(総会資料の電子提供を可能とする条文追加)
2	理事会	第1回 2022.5.13 Zoom/ハイブリッド リアル参加16名	[審議事項]	1.2022年6月 通常総会 開催形式・日程・運営・付議事項等の審議
				2.各委員会委員の選出
				3.各委員会答申(地域担当理事は「現状と課題、対策案」)
				4.2021年度の取組みに関する表彰
				5.諸規則の改定(旅費規則、プライバシー・ポリシー)
				6.第11回日本代協コンベンションPTの活動開始
			[報告事項]	1.2021年度三冠王獲得状況ならびに2022年度「目指せ、三冠王!」の取組項目の目標値
				2.前回理事会以降の主な業務報告
				(1)仲間づくり推進(3月末状況ならびに4月末状況)
				(2)損害保険大学課程各コースの認定状況等
				(3)代理店経営サポートデスクの相談対応状況
				4.その他
				(1)業界最新情報
				(2)その他
				5.監事講評 6.諸会議開催予定
		第2回 2022.6.14 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.会長・副会長・専務理事・常務理事の選定、名誉会長・相談役の委嘱
				2.各委員会委員長の選任ならびに地域担当理事の担当地区割り振り
				3.副会長の担当業務
				4.その他
			[報告事項]	1.2022年度「仲間づくり推進(会員増強運動)」の実施(5月末)
				2.損害保険大学課程
				3.日本代協アカデミーの展開
				4.その他
				5.監事講評 6.諸会議開催予定
		第3回 2022.7.8 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	1.表彰者選考会議構成員の委嘱
				2.第11回日本代協コンベンションの企画状況
				3.2022年度事業計画推進に関する審議事項
				4.ブロック推進委員の交代
				5.日本代協アドバイザーの委嘱
			[報告事項]	1.2022年度事業計画推進状況
				2.前回理事会以降の主な業務報告
				(1)仲間づくり推進6月末状況
				(2)日本代協アカデミーの展開
				(3)損保大学課程各コースの認定状況等
				(4)代理店賠償日本代協新プランの更新対応
				(5)代理店経営サポートデスク相談状況
				(6)業界紙懇談会実施報告
				(7)損保7社懇談会実施報告
				(8)2022年度第1回活力研の開催
				3.情報提供
				(1)業界最新情報
				(2)損保協会新体制ならびに協会長ステートメント
				4.その他
				5.監事講評 6.諸会議開催予定

第4回 2022.9.8 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	〔審議事項〕	1.2021年度「功労者表彰」の選定
		2.コンベンション企画関連
		3.2022年度コンサルティングコース受講者募集のブロック別目標数
		4.日本代協アカデミーの改定の方針性(含む更新案内)
		5.第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023への協賛
	〔報告事項〕	1.事業計画進捗状況
		2.前回理事会以降の主な業務報告
		(1)「仲間づくり推進」8月末状況
		(2)代理店賠償日本代協新プランの更新状況
		(3)損保大学課程の運営状況
		(4)「活力研」実施概要
		(5)代理店経営サポートデスク(相談対応状況)
		(6)日本代協「代理店経営未来塾」
		3.その他
		(1)2023年度事業計画に対する提言提出依頼
		(2)業界最新情報
		(3)2021年度代理店統計
		(4)その他
		4.監事講評 5.諸会議開催予定
第5回 2022.10.14 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	〔審議事項〕	なし
	〔報告事項〕	1.事業計画推進にかかる報告事項
		2.前回理事会以降の主な業務報告
		(1)「仲間づくり推進」9月末状況
		(2)代理店賠償日本代協新プランの更新状況
		(3)損保大学課程各コースの認定状況等
		(4)日本代協アカデミーの展開(更新状況、コンテンツ案内)
		(5)大学講座講師プレゼンテーションスキルアップ研修
		(6)日本代協コンベンション対応
		(7)2023年度事業計画に関する提言提出状況
		(8)代理店経営サポートデスク相談対応状況
		(9)第11回国際保険流通会議in東京2020概要
		(10)第8回損害鑑定フォーラム
		3.業界最新情報
		4.監事講評 5.諸会議開催予定
第6回 2022.12.8 Zoom/ハイブリッド リアル参加18名	〔審議事項〕	1.2023年度日本代協事業計画の検討(各代協・ブロックからの提案審議)
		2.日本代協アカデミーのコンテンツ充実計画
		3.2023年度「仲間づくり推進」入会目標ガイドライン
		4.会員増強キャンペーンの実施
		5.委員会委員の交代
	〔報告事項〕	1.事業計画進捗状況
		2.前回理事会以降の主な業務報告
		(1)第11回日本代協コンベンションの開催報告ならびに2023年度の開催概要
		(2)仲間づくり推進11月末状況
		(3)日本代協アカデミーの展開
		(4)損害保険大学課程各コースの認定状況等
		(5)代理店経営サポートデスク相談対応状況
		(6)損保協会連携_災害に便乗した悪質な業者対策
		(7)2022年度第2回「活力研」開催概要
		(8)日本代協2023年度年間スケジュール
		(9)PIAS研修の開催可否について
		3.業界最新情報 その他
		4.監事講評 5.諸会議開催予定

		第7回 2023.2.10 Zoomハイブリッド リアル集合18名	[審議事項]	1.第39次PIAS(太平洋保険学校)の中止と本企画の一旦終了
				2.2023年度日本代協コンベンションの内容について
				3.2022年3月開催 2021度臨時総会 開催形式・日程・運営・付議事項等の審議
				4.資格審査委員会の設置と資格審査委員の選任
				5.理事会運営について
			[報告事項]	1.事業計画進捗状況にかかる報告
				2.幹事会報告
				3.前回理事会以降の主な業務報告
				(1)仲間づくり推進の実施1月分
				(2)日本代協アカデミーの展開
				(3)損害保険大学課程 (i)認定状況等 (ii)コンサルティングコースの受講申込状況
				(4)2022年度活力研実施概要
				(5)金融庁保険課長との意見交換会
				(6)2022年度の代理店賠償の改定
				(7)代理店経営サポートデスク相談対応状況
		第8回 2023.3.9 Zoomハイブリッド リアル参加18名	[審議事項]	4.業界最新情報
				5.監事講評 6.諸会議開催予定
			[報告事項]	なし
				1.事業計画進捗状況にかかる報告
				2.前回理事会以降の主な業務報告
				(1)仲間づくり推進2月末状況ならびに「目指せ、三冠王！」の取組状況
				(2)損害保険大学課程 (i)トータルプランナー認定状況等 (ii)コンサルティングコース受講申込結果
				(3)日本代協アカデミーの展開
				(4)活力研実施報告
				(5)代理店経営サポートデスク相談対応状況
				3.その他
				(1)業界最新情報 (2)募集コンプライアンスガイド
				4.監事講評 5.諸会議開催予定
3	正副会長打 合会			①2022.4.19 ②2022.5.13 ③2022.6.13 ④2022.7.8 ⑤2022.7.14 ⑥2022.8.23 ⑦2022.9.8 ⑧2022.9.21 ⑨2022.10.14 ⑩2022.11.22 ⑪2022.12.8 ⑫2023.1.24 ⑬2023.2.10 ⑭2023.2.21 ⑮2023.3.9
4	正副会長と理 事との打合会			6月、9月、12月、3月の会長懇談会前日、6/15新体制理事打合せ、委員長理事との諮問事項打合せ 12/6～7 次年度諮問・推進事項等の打合せ
5	業務監査・ 経理監査	①2022.5.12 ②2022.12.14		①白石監事、津田監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他 ②白石監事、津田監事、あると築地監査法人 佐藤公認会計士他
6	委員会	委員会等開催日		2022年度 各委員会への諮問・推進事項等
6 ①	企画環境 委員会	第1回 2022.4.8 第2回 2022.6.24 第3回 2022.9.29 第4回 2023.1.30		1. 代理店の価値向上策の推進(リスクマネジメント講座・BCP策定・事業継続力強化計画認定申請・ 社労士診断認証制度 等)
				2. 募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施 (不適正募集、保険会社戦略、共通化・ 標準化を含む)
6 ②	教育 委員会	第1回 2022.4.27 第2回 2022.6.29 オリエンテーション 2022.6.10 第3回 2022.9.2 第4回 2023.1.27		1.. 日本代協アカデミーの展開
				2. 損害保険大学課程の運営・検証・改善
		損保大学課程がキヨムPT		directチャット・WEB会議にて頻繁に実施
		アカデミー推進PT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
		教育コンテンツPT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
		情報提供コンテンツPT		directチャット、WEB会議にて頻繁に実施
6 ③	組織 委員会	合同運営会議		①2022.5.20 ②2022.8.19 ③2022.11.21 ④2023.2.17
		第1回 2022.4.19 第2回 2022.7.14 第3回 2022.9.13 第4回 2022.11.11 第5回 2023.1.19		1. ブロック・代協・支部の強化
				2. 「仲間づくり(会員増強)」の推進
				3. 代理店賠償の推進

6 ④	CSR 委員会	第1回 2022.4.14 第2回 2022.6.22 第3回 2022.9.27 第4回 2023.1.20	1. 防災・減災の具体的な取り組みの検討・推進(ハザードマップ、マイタイムライン定期的な防災訓練の情宣・普及等) 2. 継続活動の情宣効果向上に向けた検討(地震保険、子ども110番、無保険車) 3. 「ぼうさい探検隊」の積極推進
6 ⑤	広報 委員会	第1回 2022.4.6 第2回 2022.6.16 第3回 2022.9.16 第4回 2023.1.18 別途、APT・BPT WEB開催 全国一斉広報委員会議 2022.8.26、2023.2.20	1. 日本代協並びに損保トータルプランナーのブランド力向上に向けたPR施策の検討・実施・活用(対外広報) 2. 各代協のホームページ運営にかかる共通ガイドラインの浸透 3. 「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進(他委員会との共同取組み) 4. 「代協の魅力を伝えるツール類」の活用推進(対内広報)
	リスクマネジメント講座TF	(2022.1.19のTF開催後、未開催) 立付変更・システム改定を先行	「リスクマネジメント講座」の展開・推進(継続)
	リタイアメント プランTF	(2022.2.16のTF開催後、3.11の理事会報告、意見確認後未開催)	「リタイアメントプラン」の整理・事例提供(2022年6月まで)
6 ⑥	機関紙 編集室	休会	・日本代協ニュースの発行による代協加盟代理店への情報提供 (新年号はタブロイド版からメール配信に変更した)
	代理店経営 サポートデスク	相談件数:2019.7月創設 2019年度 39件 2020年度 87件 2021年度 91件 2022年度 47件 (合計 264件)	1. BCP策定・事業継続力強化計画認定申請の個別・グループワーク支援 2. 「代理店経営未来塾」の運営 3. 電話直接相談の拡充(Zoom相談日追加)と活用推進 4. 代理店経営支援策・ツールの開発・提供(SWOT・クロス分析、小規模共済他)
	コンベンションPT	①2022.5.11 ⑥2022.10.21 ②2022.6.17 ⑦2022.11.8 ③2022.7.22 ④2022.8.23 ⑤2022.9.14	2022年度コンベンション開催に向けたアクションプランの策定・実行・運営
6 ⑧	財務委員会	2023.2.10	2022年度決算見込みと2023年度予算案の検討
7	代理店賠償審査会		2023.1.24開催
8	経営品質向上委員会		2023.3.10
9	金融庁との 意見交換	4月28日 金融庁池田保険課長と47代協会長との意見交換会Web開催(日本代協会議室) 11月18日 金融庁三浦保険課長_日本代協コンベンション式典_ご来賓挨拶 1月5日 金融庁 監督局長・歴代保険課長挨拶(損保協会主催_業界賀詞交歓_経団連ホール) 3月10日 金融庁三浦保険課長と47代協会長との意見交換会リアル対面形式開催(損保会館2F会議室) ※挨拶訪問、個別情報交換訪問の他、電話、メールでの折衝は随時実施 各代協会長との意見交換会準備に関する打合せ、税制改正要望報告、活力研運営報告、「代協活動の現状と課題」報告、代理店問題打合せ、日本代協コンベンション登壇に関する打合せ、顧客本位の業務運営・業務品質評価に関する打合せ、損保各社の手数料体系一覧比較に関する打合せ、災害に便乗した悪質な業者対策情報連携 等	
10	損保協会役員と正副会長懇談		10月はコロナ禍のため、2月は前日の降雪のため、2回ともに中止
11	損保会社代理店業務担当部長との懇談会		①2022.7.7
12	活力ある 代理店 制度等 研究会	第1回 2022.7.21 リアル集合	下記3つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。 ①実態調査結果による代手ポイント変動のチャネル分析 ②火災保険基準代手率変更に関する対応火災保険基準代手率変更に関する対応 ③ドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店とのコムドライブレコーダー特約の推進を題材として、保険会社と代理店とのコミュニケーションギャップの解消方法を考える 今回から、議事録のみならず要点を解説した動画を作成し、取り組みの周知を図った。
		第2回 2023.3.1 リアル集合	下記2つのテーマについて論議を進め、情報を共有した。 ①「顧客本位の業務運営の原則(以下「原則」)及び「代理店の業務品質管理の高度化」という観点を中心に、あるべき代手ポイント制度とはどういうものか ②各保険会社が専業代理店に期待すること さらに、顧客本位の業務運営をさらに進展させるために、インセンティブとなるような評価項目にはどういう項目がよいのかを一緒に考えていくことが重要であると考え、以下の論点に沿って議論を進めた。 *「重要な情報のわかりやすい提供(原則5)」-(1)高度の専門性、(2)デジタルを使った情報提供 *「顧客にふさわしいサービスの提供(原則6)」-(1)リスクマネジメントの観点、(2)専属と兼合とのポイント差をどう考えるか *業務品質の高度化 詳細に関しては、既配信の各議事録を、ポイントについては動画(17分17秒)を参照いただきたい。

付2. 表彰

・2021 年度の表彰については、2022 年 6 月の会長懇談会の場で実施し、賞金も振込みした。

付3. 機構および規則等の変更

・なし

付4. 特別会員の異動

・なし

付5. 役員の異動

・なし

付6. 2022 年度中における代協正会員の異動状況

正会員の異動が、次の通りあった。2023年3月31日現在は、次の通り。

(単位: 店)

ブロック	代 協	2023.3.31 正会員数	2022.3.31 正会員数	増減	ブロック	代 協	2023.3.31 正会員数	2022.3.31 正会員数	増減
北海道	北 海 道	580	591	△ 11	近畿	滋 賀	138	138	0
北東北	青 森	138	132	6		京 都	331	344	△ 13
	岩 手	121	120	1		奈 良	137	137	0
	秋 田	83	87	△ 4	阪神	大 阪	840	855	△ 15
南東北	宮 城	210	213	△ 3		兵 庫	304	304	0
	山 形	143	144	△ 1		和 歌 山	160	161	△ 1
	福 島	225	227	△ 2	東中国	岡 山	280	286	△ 6
上信越	新 潟	185	182	3		鳥 取	90	94	△ 4
	長 野	205	205	0		島 根	44	45	△ 1
	群 馬	201	206	△ 5	西中国	広 島	220	214	6
東関東	栃 木	134	133	1		山 口	158	165	△ 7
	茨 城	188	199	△ 11	四国	徳 島	112	113	△ 1
	埼 玉	342	353	△ 11		香 川	133	133	0
	千 葉	354	344	10		愛 媛	134	138	△ 4
南関東	神 奈 川	463	463	0		高 知	97	104	△ 7
	山 梨	122	120	2	九州北	福 岡	559	557	2
東京	東 京	859	862	△ 3		大 分	117	115	2
東海	静 岡	285	292	△ 7		佐 賀	90	96	△ 6
	愛 知	489	484	5		長 崎	157	168	△ 11
	岐 阜	225	222	3	九州南	宮 崎	140	138	2
	三 重	234	232	2		熊 本	225	232	△ 7
北陸	富 山	114	113	1		鹿 児 島	184	183	1
	石 川	156	156	0		沖 縄	168	168	0
	福 井	123	126	△ 3	<全 国 計>		10,997	11,094	△ 97

北 海 道	580	591	△ 11
北 東 北	342	339	3
南 東 北	578	584	△ 6
上 信 越	591	593	△ 2
東 関 東	1,018	1,029	△ 11
南 関 東	585	583	2
東 京	859	862	△ 3
東 海	1,233	1,230	3
北 陸	393	395	△ 2

近 畿	606	619	△ 13
阪 神	1,304	1,320	△ 16
東 中 国	414	425	△ 11
西 中 国	378	379	△ 1
四 国	476	488	△ 12
九 州 北	923	936	△ 13
九 州 南	717	721	△ 4
<全 国 計>	10,997	11,094	△ 97

注: △は、対前年度減少を示す

以上

Ⅱ. 2022 年度(第 59 期)貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録

2022年度 (第59期)

貸 借 対 照 表

2023年03月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資 産 の 部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現 金	114,567	60,980	53,587
普通預金	124,161,848	146,863,376	△ 22,701,528
通常貯金	21,458,787	17,302,491	4,156,296
現金預金合計	145,735,202	164,226,847	△ 18,491,645
(2) その他流動資産			
未収金	3,649,132	7,369,977	△ 3,720,845
貯蔵品	659,460	573,420	86,040
その他流動資産合計	4,308,592	7,943,397	△ 3,634,805
流動資産合計	150,043,794	172,170,244	△ 22,126,450
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	407,961	475,477	△ 67,516
什器備品	7	7	0
敷金・保証金	27,487,200	13,945,200	13,542,000
投資有価証券	77,389,135	80,100,681	△ 2,711,546
商標権	162,000	216,000	△ 54,000
その他固定資産合計	105,446,303	94,737,365	10,708,938
固定資産合計	105,446,303	94,737,365	10,708,938
資産合計	255,490,097	266,907,609	△ 11,417,512
Ⅱ 負 債 の 部			
1. 流動負債			
未払金	3,211,736	3,000,825	210,911
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	356,600	1,392,000	△ 1,035,400
前受金	1,623,378	150,000	1,473,378
預り金	1,106,319	800,038	306,281
流動負債合計	6,368,033	5,412,863	955,170
2. 固定負債			
退職給付引当金	18,593,750	22,305,500	△ 3,711,750
固定負債合計	18,593,750	22,305,500	△ 3,711,750
負債合計	24,961,783	27,718,363	△ 2,756,580
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	230,528,314	239,189,246	△ 8,660,932
正味財産合計	230,528,314	239,189,246	△ 8,660,932
負債 及び 正味財産合計	255,490,097	266,907,609	△ 11,417,512

2022年度（第59期）

正味財産増減計算書

2022年04月01日から 2023年03月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	110,060,000	111,570,000	△ 1,510,000
特別会員受取会費	63,400,000	63,400,000	0
賛助会員受取会費	200,000	100,000	100,000
受取会費計	173,660,000	175,070,000	△ 1,410,000
事業収益			
損保大学課程受託料	87,494,899	73,136,052	14,358,847
集金事務収益	13,309,890	13,274,052	35,838
事業収益計	100,804,789	86,410,104	14,394,685
雑収益			
受取利息	1,147	1,199	△ 52
有価証券運用益	166,800	166,800	0
雑収益計	163,920	1,100,400	△ 936,480
雑収益計	331,867	1,268,399	△ 936,532
経常収益計	274,796,656	262,748,503	12,048,153
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	25,796,780	28,871,298	△ 3,074,518
退職給付費用	1,158,417	1,962,350	△ 803,933
法定福利費	3,799,239	3,974,660	△ 175,421
福利厚生費	1,511,393	1,692,637	△ 181,244
教育研修費	16,134,359	5,842,685	10,291,674
損保大学課程運営費	81,724,321	66,752,612	14,971,709
委員会費	7,332,158	1,498,797	5,833,361
研究会費	450,950	126,232	324,718
会議費	6,539,924	740,721	5,799,203
コンベンション費	11,087,779	10,859,438	228,341
機関紙費	304,307	549,096	△ 244,789
ブロック対策費	14,805,270	10,507,683	4,297,587
組織対策費	21,205,909	14,644,618	6,561,291
事業対策費	23,129,805	22,182,017	947,788
通信費	1,102,404	880,914	221,490
印刷費	609,476	619,316	△ 9,840
旅費交通費	138,368	149,845	△ 11,477
渉外費	252,274	159,076	93,198
図書費	341,038	306,164	34,874
事務機費	6,427,498	6,156,944	270,554
借室費	22,369,613	22,587,415	△ 217,802
光熱費	402,609	313,391	89,218
消耗品費	103,923	157,642	△ 53,719
租税公課	1,297,324	2,150,019	△ 852,695
建物減価償却費	49,421	59,727	△ 10,306
雑費	1,825,962	1,436,849	389,113
事業費計	249,900,521	205,182,146	44,718,375

管理費			
給与手当	9,444,720	9,167,302	277,418
退職給付費用	498,833	566,450	△ 67,617
法定福利費	1,390,974	1,262,048	128,926
福利厚生費	553,351	537,453	15,898
総会費	788,651	120,331	668,320
理事会費	3,644,966	1,498,519	2,146,447
通信費	403,611	279,713	123,898
印刷費	223,141	196,645	26,496
図書費	124,862	97,216	27,646
事務機費	2,353,238	1,954,972	398,266
借室費	8,189,967	7,172,025	1,017,942
光熱費	147,403	99,509	47,894
消耗品費	38,049	50,054	△ 12,005
支払報酬	1,746,140	1,324,580	421,560
租税公課	611,000	778,225	△ 167,225
建物減価償却費	18,095	18,963	△ 868
雑費	668,520	456,229	212,291
管理費計	30,845,521	25,580,234	5,265,287
経常費用計	280,746,042	230,762,380	49,983,662
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,949,386	31,986,123	△ 37,935,509
投資有価証券評価損	△ 2,711,546	△ 2,018,818	△ 692,728
当期経常増減額	△ 8,660,932	29,967,305	△ 38,628,237
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,660,932	29,967,305	△ 38,628,237
一般正味財産期首残高	239,189,246	209,221,941	29,967,305
一般正味財産期末残高	230,528,314	239,189,246	△ 8,660,932
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	230,528,314	239,189,246	△ 8,660,932

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券

- ・時価のあるもの：期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算出）によっている。
- ・時価のないもの：移動平均法による原価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

建物及び什器備品：定率法によっている。

無形固定資産

ソフトウェア：定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

退職給付引当金：職員の退職給付に充てるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(4) リース取引の処理方法

- ・所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース物件の所有権が、借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 額	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建 物	9,160,530	8,752,569	407,961
什器備品	7,315,339	7,315,332	7
商 標 権	540,000	378,000	162,000
合 計	17,015,869	16,445,901	569,968

3. 退職給付関係

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳 (単位：円)

①退職給付債務	18,593,750
②会計基準変更時差異の未処理額	—
③退職給付引当金 (①+②)	18,593,750

(3) 退職給付費用に関する事項 (単位：円)

①勤務費用	1,554,000
②会計基準変更時差異の費用処理額	—
③退職給付費用 (①+②)	1,554,000

(4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

4. 資産除去債務

本会は、事務所の定期建物賃貸借契約に基づき、事務所の退去時における原状回復に係る債務を有しているが、賃借する建物の取り壊しが 2023 年度に行われることが確定していることから、特約条項によって原状回復義務が免除されている。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

5. 関連当事者との取引内容

該当なし

6. 重要な後発事象

該当なし

附属明細書

1.基本財産及び特定資産の明細 該当なし

2. 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	22,305,500	1,554,000	5,265,750	-	18,593,750

2022年度(第59期)
財 産 目 録
2023年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金預金	現金		小口現金として	114,567
	普通預金			124,161,848
	一般	みずほ銀行銀座支店	運転資金として	124,161,848
	通常貯金			21,458,787
	一般	ゆうちょ銀行第一生命館内	運転資金として	21,458,787
現金預金合計				145,735,202
その他	未収金	損害保険協会他	損保大学課程受託料他	3,649,132
	貯蔵品			659,460
	名刺	代協名刺台紙	会員向頒布品在庫	542,130
	バッジ	代協バッジ	会員向頒布品在庫	117,330
	その他流動資産合計			
流動資産合計				150,043,794
(固定資産)				
	基本財産合計			-
	特定資産合計			-
その他	建物	間仕切り工事費	公益目的事業、その他事業共有財産として	407,961
固定資産	什器備品	システム収納家具他	公益目的事業、その他事業共有財産として	7
	敷金・保証金	新有楽町ビル、新大手町ビル	貸借事務所敷金として	27,487,200
	投資有価証券			77,389,135
		大和証券銀座支店ダイワ国債F	運転資金ファンドとして	59,497,750
		みずほ証券東京法人部国債	運転資金ファンドとして	17,891,385
	商標権	日本代協キャラクター制作費	日本代協キャラクター制作費	162,000
	その他固定資産合計			
固定資産合計				255,490,097
資産合計				
(流動負債)				
	未払金	アグレックス社他	損害保険大学課程運営費他	3,211,736
	未払法人税等	法人住民税	法人住民税未払分	70,000
	未払消費税等	消費税	消費税未払分	356,600
	前受金	AIG損保	特別会員会費	1,623,378
	預り金			1,106,319
	源泉課税預り金	役職員	源泉所得税	187,759
	保険料預り金	契約者	代理店賠償責任保険料	725,000
	受講料預り金	損害保険協会他	損害保険大学課程受講料他	△ 51,170
	その他預り金	役職員他	社会保険料他	244,730
	流動負債合計			
(固定負債)				
	退職給付引当	役職員	役職員6名に対する退職金の支払の備え	18,593,750
	固定負債合計			18,593,750
負債合計				24,961,783
正味財産				230,528,314

2022年度決算額

【参考】

(単位:千円)

勘定科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	対予算差額 決算-予算	2022年度 決算見込額	対見込差額 決算-見込	備考
I 経常収益の部						
正会員会費	111,000	110,060	△940	110,060		
特別会員会費	63,400	63,400		63,400		
賛助会員会費	200	200		200		
損保大学課程受託料	90,178	87,495	△2,683	89,500	△2,005	大学課程運営費減
集金事務費	13,273	13,310	37	13,279	31	
利息配当金収入	168	1	△167	168	△167	
投資有価証券運用益		167	167		167	
雑収益	3,500	164	△3,336	164		
当期経常収益合計(A)	281,719	274,797	△6,922	276,771	△1,974	
II 経常費用の部						
役員報酬						
給料手当	40,370	35,242	△5,129	35,400	△159	
退職金	2,061	1,657	△404	1,657		
法定福利費	6,200	5,190	△1,010	5,208	△18	
福利厚生費	2,800	2,065	△735	2,229	△165	
教育研修費	22,500	16,134	△6,366	18,876	△2,742	
損保大学課程運営費	83,690	81,724	△1,966	85,500	△3,776	
委員会費	8,750	7,332	△1,418	7,662	△330	
研究会費	900	451	△449	700	△249	
会議費	6,750	6,540	△210	6,819	△279	
総会費	860	789	△71	814	△25	
コンベンション費	16,400	11,088	△5,312	11,100	△12	
理事会費	3,700	3,645	△55	3,536	109	
機関紙費	2,500	304	△2,196	332	△28	
ブロック対策費	17,150	14,805	△2,345	16,200	△1,395	
組織対策費	31,450	21,206	△10,244	21,718	△512	
事業対策費	26,200	23,130	△3,070	23,672	△542	
通信費	1,300	1,506	206	1,539	△33	
印刷費	1,200	833	△367	994	△161	
旅費交通費	500	138	△362	177	△39	
渉外費	800	252	△548	702	△450	
図書費	450	466	16	480	△14	
事務器費	12,800	8,781	△4,019	9,729	△948	
借室費	29,700	30,560	860	30,560		
光熱費	400	550	150	567	△17	
消耗品費	171	142	△29	180	△38	
支払報酬	1,300	1,746	446	1,734	12	
租税公課	2,300	1,908	△392	2,923	△1,015	
建物減価償却費	70	68	△2	68		
什器備品減価償却費						
ソフトウェア減価償却費						
投資有価証券手数料	100		△100			
支払寄付金						
投資有価証券評価損		2,712	2,712		2,712	金利上昇による評価損
雑費	2,950	2,494	△456	2,750	△256	
当期経常費用合計(B)	326,322	283,458	△42,864	293,827	△10,369	
当期正味財産増減額(A)-(B)	△44,603	△8,661	35,942	△17,056	8,395	
正味財産期首残高	239,189	239,189		239,189		
正味財産期末残高	194,586	230,528	35,942	222,134	8,395	

写

2023年5月11日

監査報告書

一般社団法人 日本損害保険代理業協会
会 長 小田島 綾子 殿

監 事 津 田 文 雄 ⑩

監 事 白 石 雅 一 ⑩

一般社団法人日本損害保険代理業協会の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1. 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、調査を行い、その結果を監事間で協議して、監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また、随時説明を求めました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以 上

日本代協 2023 年度(第 60 期) 事業計画

下線：改定・新規部分

網掛：提言反映分

2023 年 3 月

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

* * * 日本代協 2023 年度事業計画目次 * * *

I. 事業計画のポイント	(P. 37)
◇ 2023 年度の事業活動に当たっての留意点・主要課題	
II. 代理店・募集人の資質向上	(P. 39)
1. 基本方針 2. 損害保険大学課程の運営 3. 日本代協アカデミーの展開 4. PIAS 中止 5. 代協・支部セミナーの実施	
III. 公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進	(P. 41)
1. 個社におけるガバナンス体制の確立 2. 公平・公正な募集環境の整備 3. 業界の共通化・標準化に向けた検討・提言 4. 代理店価値向上策の推進	
IV. 実効性ある CSR 活動の展開	(P. 43)
1. 取り組み方針 2. 統一活動 3. 学校教育への取り組み 4. 代協独自活動	
V. 組織力の強化	(P. 44)
1. ブロック・代協・支部の強化 2. 代協正会員の増強 3. 人材育成研修会の実施 4. 代理店賠償の普及と経営品質向上	
VI. 活力ある代理店制度の構築	(P. 48)
1. 活力研の開催 2. 金融庁と代協会長との意見交換会の開催 3. 環境変化対応の支援	
VII. 広報活動の展開	(P. 48)
1. ホームページの活用 2. メディアの活用 3. WEB 媒体等の活用 4. 「みなさまの保険情報」の活用	
VIII. 代協会員の経営支援・情報の提供	(P. 49)
1. 代理店経営支援策の検討・提供 2. 代理店経営サポートデスクによる支援メニューの提供・展開 3. 情報提供の推進 4. タスクフォース	
IX. コンベンション	(P. 50)
X. 法人運営	(P. 51)
1. 一般社団法人としての体制整備と運営 2. 代協事務局職員研修の実施	
【別表】2023 年度日本代協各委員会への諮問事項	(P. 52)

* 日本代協 2023 年度(第 60 期)事業計画 *

I. 事業計画のポイント

◇ 2023 年度の事業活動に当たっての留意点

- ① 引き続き感染防止対策（検温・マスク・換気・除菌・手洗い・密防止）を徹底する
- ② 情報が各会員に伝わるにはどうすればよいかを常に念頭に置いて、発信を行う。
- ③ 取り組みに当たっては、なぜ、何のために取り組むのかの意義の理解を深め、数値目標達成のみをもつて組織をリードしないよう留意する。
- ④ オンラインとリアルを組み合わせながら、効率的で効果が高い運営を行う。
- ⑤ 定款自治を前提に、理事会が責任と自覚と覚悟を持って運営に当たる。
- ⑥ 各議事録には主な意見を付記する等、論議と組織運営の透明性を高める。
- ⑦ 行政、損保協会、各保険会社等との信頼関係構築を図り、対話ができる環境を整える。

1：教育・研修事業

- 損害保険大学課程の円滑な運営とカリキュラムの充実・魅力度向上に取り組む
（WEB とリアルのセミナーの棲み分け、テキストのデジタル化の検討を行う）
- コンサルティングコースの受講者募集に主体的に取り組む
- 損害保険トータルプランナーの認知度を高め、魅力度の向上を図る
- 日本代協アカデミーの価値を情宣し、カリキュラムの拡充を図り、利用者を増やす
- 各代協・ブロック主催のオンラインセミナーの相互活用の仕組みを作り、提供する
- 第 39 回 PIAS（太平洋保険学校）は中止すると共に、いったん本企画は終了する。

2：公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進

- 個社におけるガバナンス体制を確立する
- ディーラーを中心に保険販売のモニタリングを継続する
- 特定修理業者の排除に向けて損保協会と連携して取り組む
- 銀行窓販の弊害防止措置の維持を図る
- 郵便局の保険事業を注視し、なし崩し的な拡大を阻止する
- 保険会社の代理店戦略の展開状況を注視し、問題事案があれば改善を申し入れる
- 共通化・標準化要望をとりまとめ、損保協会に提言を行う
- 代理店の価値向上策を推進する
 - ・ リスクマネジメント講座 ・ 事業継続力強化計画認定申請 ・ BCP 策定
 - ・ 社労士診断認証制度 ・ JSA-S1003（保険代理店サービス品質向上の指針）

3：実効性ある CSR 活動の展開

- 防災・減災に資する具体的かつ実効性のある活動を展開する
- 地震保険の情宣に努め、普及を図る
- 「ぼうさい探検隊・マップコンクール」を活用し将来に向け安心安全な地域作りに貢献する
- 継続活動を着実に展開する
- SDGs17 の目標の中で代理店が取り組める活動を模索し検討する

4：組織力の強化

- 支部・代協・ブロック協議会の活性化を図り、情報と熱が伝わる組織作りに取り組む
- 各代協は中期増強計画に基づき「会員純増」を図る・日本代協は「入会数 362 店」を目標とする
- 「仲間づくり（入会ベース）」・「トータルプランナー受講者募集」＋「各代協独自取り組み項目」で構成する「目指せ、三冠王！」表彰制度を継続実施する
- 人材育成研修会を開催する
- 各代協の会員資格と会費体系の検証を行なう
- 各代協のオンライン環境整備・セミナー開催をノウハウ面で支援する
- 代理店賠償の普及と代協会員の品質改善に取り組む

5. 活力ある代理店制度の構築

【活力研】

- 保険会社との対話を通し、代理店が抱える課題解決のための自立的サイクルをつくる

【金融庁監督局保険課長との意見交換会】

- 現場の実態、課題、顧客本位の業務運営に向けた取り組みを、直接行政に伝える

6：広報活動の展開

- 代協の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を伝える PR 施策を企画・実施する
- 「みなさまの保険情報」の活用率を 5% 超に高める

7：代協会員の経営支援・情報の提供

【サポートデスクによる支援メニューの提供】

代理店経営サポートデスクの更なる情宣に務めるとともに、当面新たなツールの作成は行わず、既存ツールの活用促進を図る

- 電話相談の回数を減らし、会員向けセミナーに連動した「出張型経営相談コーナー」を開設する
- 代理店経営未来塾は、受講対象範囲を広げながら継続する
- 代理店の 10 年後を見据えた新番組「（仮題）ボクらの NEXT チャレンジ！」をスタートさせ、年 6 回配信する。

【情報提供】

- 「日本代協ニュース」をダイレクトメールで配信する（定期）
- 業界動向をまとめた「情報版」を配信する（随時）
- 「代協活動の現状と課題」を配布する

【タスクフォース】

- 状況に応じて設置を検討する

8：コンベンション

- 第 12 回日本代協コンベンションを東京で開催する

9：法人運営

- 「代協事務局職員研修」をテーマ別にオンラインで開催する
- 運営に当たっては、ペーパーレス・オンライン活用を進める
- 会合日程は年度初めに決定し、共有する

※ 具体的な取り組みは、次頁以下の通り。

Ⅱ. 代理店・募集人の資質向上

1. 基本方針

- 日本代協の使命は、損害保険の普及と顧客の保護並びに顧客の最善の利益の追求を図るため、「損害保険代理店の資質を高め、その業務の適切な運営を確保すること」にある。従って、人材育成のための教育研修事業は本会の最も重要な事業である。
- 代協会員は、自己研鑽に努めるとともに、損害保険大学課程、「日本代協アカデミー」、各種セミナー等の教育・研修の機会を活用し、経営者・社員ともに能力向上に努める。
- 修得した知識やノウハウを日々の業務で実践し、顧客の信頼に応える。
- 金融行政が示す方向性や消費者の意識は、損害保険代理店に対し、一層の業務品質向上と組織としての「自律と自立」を求めている。代協会員は、こうした社会的要請に応え、高い専門性と業務品質に裏打ちされた「顧客に信頼され、選ばれ続ける存在」となるよう不断の努力を積み重ね、資質向上に努める。

2. 「損害保険大学課程」の運営

(1) 指定教育機関としての役割発揮・内容充実・制度改善：

- ① 損保協会と緊密な連携を図りながら、企画・運営に当たる。（教育委員会）
セミナー運営に当たっては、教育委員会任せとせず、代協組織全体で対応する。
運営に当たる代協会員の IT スキルアップ向上をサポートする。
- ② 損保協会との「定例合同運営会議」（年 4 回開催）を軸に、カリキュラムの充実・制度改善・受講者募集推進策の検討を進める。
- ③ コロナ禍の影響で未開催となっているリアルセミナーと WEB セミナーの棲み分けについて、コロナ収束で単にリアル再開検討だけでなく、リアルと WEB の長所を活かし受講生にとってより学びやすく、運営側の負担も軽減された新しいセミナーに進化出来ないか、指定教育機関として本格的に検討に入り損保協会に提案していく。
テキストのデジタル化（動画解説を含む）についても損保協会と検討を進める。

(2) 「損害保険大学課程」コンサルティングコース受講生の募集推進：

- ① 損保協会、各損保会社と連携し、主体的に取り組む。
保険会社に対しては以下の要望を続ける（C・D・Eは直資代理店の必須取り組みとして要請する）。
 - A) 損害保険トータルプランナー認定取得の代手ポイント制度における評価指標化・水準引き上げ
 - B) 代理店認定要件のマスト項目化・水準引き上げ
 - C) 代理店内の認定者率や認定者実数の要件化・水準引き上げ
 - D) 代理店内の教育研修計画への織り込み
 - E) 代理店内の評価制度へ損害保険トータルプランナー取得を導入

- ② 日本代協自主目標 840 名

(3) 「損害保険大学課程」の認知度向上の取り組み：

- ① 損保協会、損保各社と連携して本制度の認知度向上を図り、募集人のチャレンジを促す。
- ② 損保各社内において、本課程の位置づけと活用方針を明確に徹底するよう働きかける。

(4) 「損害保険トータルプランナー」の認知度・魅力度の向上：

- ① 社会的信頼度向上：
 - A) 認定者自身がお客様本位の業務運営を実践する
 - B) 代協会員は、下記の「3つの基本行動」に取り組む。
 - ・代理店事務所に「トータルプランナーポスター」・「認定証」を掲示する。
- 募集時には「認定バッジ」を着用し、「カード型認定証」を提示する。

C) 代協会員はトータルプランナー顔写真付き認定証を募集時にお客様に提示する。

- ・ 損保協会の HP にリンクする「損害保険トータルプランナーがいる代理店」の登録を行う。
- ・ 契約者に「トータルプランナーチラシ（損保協会作成）」を手交する。

② 「損害保険トータルプランナー」の魅力を高める施策の検討：

- ・ 損保協会と連携して資格保有のメリット策を検討し、出来るものから実施する。

3. 日本代協アカデミーの展開

(1) 基本方針：

- ・ 日本代協独自の教育制度として、代理店の役に立つコンテンツの充実を図る。
- ・ 制度の周知と計画的な活用を働きかけ、代協会員の持続的な品質向上を支援する。

(2) 目指すところ：

- ・ 代協会員が代理店独自の募集人教育計画に日本代協アカデミーを取入れ活用する事により代理店経営の更なる高度化に対応していく。
- ・ コンプライアンスや商品研修に止まらず、好取組事例の取り込みやロープレ研修等も自社の年間教育・研修計画に組み入れて資質向上を図る代協会員を輩出し、「学ぶ風土」を組織全体に広げる。

(3) 運 営：

- ・ 教育委員会（各 PT）を中心に、他の委員会やブロック協議会、代理店経営相談サポートデスクと連携し、好取組事例や業界最新情報の収集、研修メニュー等に関する要望等を把握し、代協独自のコンテンツの継続的投入とラインアップ反映に注力する（代協会員の時間的余裕を生み出すための業務効率化の観点を含む）。
- ・ 登録 ID 数または利用代理店数を「目指せ、三冠王！」の代協独自取り組み項目とし、利用拡大を図る。
- ・ 保険会社社員の利用も推進するとともに、保険会社内の代理店支援部署とも連携し日本代協アカデミーが代理店独自の教育ツールとして有効である事を代協非会員にも広めていく。
- ・ 2023 年 4 月よりリニューアルの新システムを更に使い勝手の良いものに向上させていく為、引続きベンダー会社と協議を重ね、代理店教育のインフラストラクチャーとして運営していく。

4. PIAS 中止

① コロナ感染が収束しないこと、及び円安、物価高の影響による渡航費用の高騰から、第 39 次 PIAS（太平洋保険学校）を中止する。

② 以前より、今後の本事業のあり方（継続開催の要否）も検討することとしていたが、今般旅行手配を委託していたケイライントラベル㈱より、団体旅行マーケットから撤退する旨の連絡があったことを踏まえ、いったん本企画は終了とし、将来同種企画の要望が多く寄せられた場合は、その時点で改めて実施を検討する。

5. 代協・支部セミナーの実施

- ① 各代協・支部において定期的にセミナーを開催し、代協会員が集い、語らい、高め合う場を設ける。
（他代協との共催、ブロック開催、オンライン活用を含む）
- ② 各代協・支部・ブロック主催のオンラインセミナーを相互活用できる仕組みを作る。
（日本代協で保有する ID の共同利用を含む）

Ⅲ. 公正な市場環境の構築・代理店価値向上策の推進

1. 個社におけるガバナンス体制の確立

- ① コンプライアンスは事業運営の大前提であり、成長の基盤である。代協会員自身が個社として徹底し、「不正をしない、させない、許さない企業文化」を作り上げ、顧客保護を図る。
- ② 問題事案が発生した場合は、多角的な原因分析を行い、再発防止策を講じ、定着状況をフォローする。
- ③ ガバナンス態勢の構築の一助として、日本規格協会が発行する JSA-S1003「保険代理店サービス品質向上に関する指針」の情報を企画環境委員会から発信する。

2. 公平・公正な募集環境の整備

(1) ディーラーを中心としたモニタリング：

- ① 不適切な販売事例が多く報告されているディーラーによる保険販売のモニタリングを継続し、事案に応じて必要な対応を行う。（保険会社への是正申し入れ、当該ディーラーへの警告など）。
- ② 「レッドカードチラシ」を活用し、契約者への注意喚起を行う。

(2) 特定修理業者排除に向けた取り組み：

- ① 代協会員に対し、特定修理業者排除に向けた情報提供、ツール案内等を行う（損保協会資料等）
- ② 特定修理業者に関する情報は全件損保協会に伝え、業界全体の対策につなげる。
- ③ 損保労連と情報共有を行い、顧客対応の現場における連携強化を図る（定例意見交換会等）。

(3) 銀行等による保険販売：

- ① 弊害防止措置の維持に取り組む。（政治連盟と連携）
- ② 契約募集の際には、「イエローカードチラシ」を活用し、契約者・消費者に対する注意喚起を行う。
- ③ 募集現場のモニタリングを継続し、企画環境委員会にて全国の問題事案に関する情報を集約し、弊害防止措置の必要性を示す材料として活用する。

(4) 日本郵政グループにおける保険販売への対応：

- ① 日本郵政グループ全体の保険事業拡大の動向を注視し、官による民業圧迫と判断される場合は、郵政民営化委員会に対し、撤回等を申し入れる（政治連盟と連携）。
- ② 日本郵政グループ各社の新規事業参入に当たっては、日本郵政が保有する全株式の売却に向けた道筋の明確化と着実な実行を求めている（政治連盟と連携）。
- ③ 郵便局の自動車保険販売に対するモニタリングを継続し、問題事案があれば企画環境委員会に集約し、日本郵便本社・取扱保険会社（幹事：東京海上日動社）へ改善を申し入れる。

(5) 団体契約・集団扱・団体扱割引の適正な適用：

- ① 消費者保護の観点で現場の運用をモニタリングし、問題事案があれば保険会社や財務局に伝え、改善を求める。
- ② 保険会社に対し、適正・厳格な割引の適用・運用を求め、問題事案の未然防止に努める。

(6) その他不適正募集・保険会社戦略のモニタリング：

- ① 募集現場において個別の問題事案があれば、企画環境委員会に報告の上、現地代協において対処する。制度的な課題については日本代協経由で金融庁に報告し、保険会社に改善を求める。
- ② 代理店の合併・統合、乗合承認等、保険会社戦略の展開状況を注視し、保険会社の対応が一方的・圧力的であると判断される場合は、当該保険会社に改善を申し入れる。
- ③ 企画環境委員会において収集した事案はデータベース化し、疑義事案の整理・分析を行い、対応方法の検討に活用する。

3. 業界の共通化・標準化に向けた検討・提言

- ① 業界ベースの共通化・標準化が消費者にとって有益であると考えられる案件があれば、損保協会に提言を行う（企画環境委員会）。検討の視点は以下の通り。
 - ・消費者（契約者）にとっての分かりやすさ
 - ・消費者（契約者）の保護・利便性向上
 - ・代理店（募集人）の業務効率化
 - ・保険会社の業務効率化（帳票、事務処理ルール等）
- ② 各保険会社の家計分野商品の約款内容・解釈のバラツキから生じる消費者の不利益を把握し、損保協会と問題点を共有する（独禁法に留意する必要がある）。

4. 代理店の価値向上策の推進

- 保険募集のプロ集団として、お客さまにとっての価値向上を図り、他チャネルとの競争力を確保するため、企画環境委員会がサポートデスクと連携して、以下の施策を推進する。
- 価値向上策の推進に当たっては（特に三冠王の自主取組項目に関して）、数値目標の達成を意識しながらも、取り組む目的や意義、その必要性を忘れることなく、結果的に代協会員の価値向上に繋がることを第一義的に考えて推進する。
- 価値向上策の取組は、先ずは代協会員にて実施するが、地域のリスクマネジャーとして地域企業の支援に生かしていく事が求められ、それが代理店の更なる価値向上に繋がることを認識し、自社だけの取組に留まることなく、広く企業の支援に活用することが重要である。
- 代協会員から価値向上に繋がった事例などを収集し、情報共有を行うことで推進を加速させる。

① 日本代協版「リスクマネジメント講座」

- ・顧客のリスクに対する部分最適の提案を全体最適のアドバイスに転換し、顧客の真のニーズ（事故や災害の回避、減災など）に応えるため、「リスクマネジメント講座」の情宣、活用推進を図る。
- ・初級編セミナーや YouTube 動画の視聴を促し、日本代協アカデミーのメニューである中級編の5講座の受講の推進を図る（5 講座：リスクマネジメント基礎講座、リスク診断士講座、保険財務講座、保険リスクマネジメント講座、法人生保講座）。
- ・企画環境委員会において、講座内容の改善と受講環境の整備の検討を行う。

② 「事業継続力強化計画認定」（三冠王）

- ・「三冠王」の代協独自取組項目の一つとして推進する。
- ・代協会員の 20%の認定取得を表彰基準とし、2022 年度に目標を達成済みの代協は、表彰基準を前年目標の 5%増しとする（中企庁認定ベース）。
- ・「ジギョケイセミナー」や「YouTube チャンネル」の視聴を促し、申請支援を行う。

③ BCP の策定」（三冠王）

- ・「三冠王」の代協独自取組項目の一つとして推進する。
- ・代協会員の 30%策定を表彰基準とし、2022 年度に目標達成済みの代協は、表彰基準を前年目標の 5%増しとする（申告ベース）。
- ・BCP 簡単策定ガイド・BCP シートの活用を促し、サポートデスクで個別支援を行う。

④ 社労士診断認証制度」（三冠王）

- ・「宣言企業」以上の認証を「三冠王」の代協独自取組項目の一つとして推進する。
- ・代協会員の 10%が「宣言企業」以上と認証されることを表彰基準とし、2022 年度に目標を達成済みの代協は、前年目標の 5%増しとする（社会保険労務士会連合会認証ベース）。
- ・「社労士診断認証制度セミナー」や「YouTube 動画」の視聴を促し、案内チラシを活用して推進する。

⑤ 新たな価値向上策の検討（ガバナンス態勢の構築支援）

- ・日本規格協会の「JSA-S1003 保険代理店サービス品質向上の指針」に基づく認証の情宣を行う。
- ・企画環境委員会にて、まずは「宣言企業」を推奨することで、会員にガバナンス態勢の構築に必要な要素を理解して頂く。
- ・保険代理店のガバナンス態勢の構築については、顧客本位の観点から金融庁も注視しており、必要不可欠な取り組みとなるため、日本代協において先んじて取り組みを始める。

IV. 実効性ある CSR 活動の展開

1. 取り組み方針

- ① 本業（リスクの専門家）に関連した取り組みや地域の課題解決につながる取り組みを主体とする。
- ② 日本代協として取り組む「統一活動」（全国または地域選定）と各代協が自主的に取り組む「代協独自活動」とともに、多くの会員の参加を促す。（ex. 活動毎に会員を振り分ける、新入会員は必ず何らかの活動メンバーに組み入れる、キッチンカー誘致やイベントコラボで参加したくなる活動にする等）
- ③ 前例に拘らず、それぞれの実状に応じて、効果的な日程、場所、方法を選択し、実効性を高める。
- ④ 実施の際には、損保協会、保険会社等にも案内を行い、業界全体で取り組む風土作りを行う。
- ⑤ 目的を共有できる他団体や他業界とタイアップすることで他の視点や強みを取り入れる。
- ⑥ 各代協ならではの「恒例行事」を作る。
- ⑦ CSR 委員会は、諮問事項推進に関し、以下の取り組みを行う。
 - ・各地の活動情報を収集し、今後の施策の検討に活かす。
 - ・取組事例を収集・整理し、各代協に提供する。
 - ・SNS の活用やマスコミへの取材依頼を通して活動の周知を図る
- ⑧ SDGs に関する知識を深め、代理店・業界団体として共同で取り組める活動を模索し、社会が目指す理想のゴールに役割をもって関わる。

2. 統一活動

<独自継続活動>

（1）防災・減災の具体的取り組みの推進

- ・防災・減災の第一歩となる「ハザードマップ」・「マイタイムライン」の周知と浸透、「定期的な防災訓練」の情宣と普及に取り組む。
- ・防災士資格の取得推進、及び各地域で活動する防災士会各県支部、防災ネットワーク、公共団体とタイアップした活動の推進に取り組む。

（2）地震保険の普及促進・付帯率アップ：

- ・地震国日本における代理店の社会的責務を果たすため、「地震保険啓発・普及キャンペーン」を実施する（原則 10 月実施、時期・場所等は各代協で判断、コロナ感染拡大の場合は街頭情宣中止）。
- ・代協会員は、日々のお客様対応を通し、地震保険の付帯率アップに取り組む（建物・家財ともに）。

（3）「子ども 110 番の保険代理店」の推進：

- ・学校や警察が認定している「子ども 110 番の家」に登録された代理店の追認を日本代協として行い、代協専用ステッカーを交付し、地域の子どもの安全確保に貢献する。
- ・「代協専用マニュアル」に沿って「子ども 110 番の保険代理店」の登録推進を図る。
- ・警察に働きかけて共同取り組み・一括認定に持ち込む。（ex. 共同取り組みの締結式実施など）

（4）サイバーセキュリティ対策に関する啓発活動の推進：

- ・各警察と連携し、「サイバーセキュリティ対策セミナー」を開催する（各警察の体制の問題があるため開催は任意）。

- ・代協会員は「損保クラウド」等のソフト（メール対策）を活用して自社のセキュリティを確保する。

（５）無保険車追放運動：

- ・自賠責広報協議会の「自賠責制度 PR キャンペーン」に合わせ、9 月に国土交通省と共同で「無保険車追放キャンペーン」を実施する（コロナ感染拡大の場合は街頭情宣中止）。

＜損保協会との連携活動＞

○「ぼうさい探検隊」マップコンクールへの参画：（三冠王）

- ・損保協会が主催する同コンクールに協力し、小学生の防災・防犯意識向上に貢献する。
各代協目標件数到達を最低目標とし、1 団体でも多くの参加を働きかける。
- ・「三冠王」の代協独自取組項目の一つに組み込む。
表彰基準は、応募団体数 3 団体とする。（マップ数ではなく団体数であることに注意）
なお、正会員数が 500 社以上の東京、大阪、北海道、福岡の各代協は 5 団体とする。
- ・タブレット活用、小集団での取り組みを推奨する。
- ・作成後のマップの活用、学校での披露、マスコミへの情報提供、SNS の活用を通して活動を広く周知するための取り組みを行う（広報委員会とタイアップも検討）。

3. 学校教育への取り組み

- ① 損保協会が大学で行う損害保険講座の「保険募集」の講義を日本代協サイドで担当し、保険の役割とプロ代理店の存在の周知を図る。（オンライン講座を含む）
- ② 講師育成のため、代協会員対象の「プレゼンテーションスキルアップ研修」を開催し、修了者に「日本代協認定講師」の名称を付与し、講師役を担ってもらう（10 月・教育委員会）。

4. 代協独自活動

- ① 「学生^{*1}に対する出前授業^{*2}の実施」を「三冠王」の代協独自取組項目の一つとする。
※1：小・中・高・大学生を対象
※2：代協（支部を含む）の活動として行うものであること
先方の規模を問わず「出前」で行う授業であること（先方の集まりに出かけていく）
自動車や自転車に関するリスク、防災対策など、保険代理店の本業に係る内容であること
実施報告書を日本代協宛に提出すること
※3：出前講座における講師講習会を実施し、ノウハウを全国に広げる。
- ② 日本代協 CSR 委員会は全国の活動情報を収集し、情宣を行う。
（各代協の取り組み事例）
 - ・一般消費者向け公開講座
 - ・清掃、植林等の環境保全活動
 - ・献血、チャリティ等の社会貢献活動
 - ・消費者団体との意見交換会の開催（日本代協は東京ブロックと共催で 11 月実施予定）
 - ・ユニバーサルマナー検定の団体実施、高齢者事故防止対策（チラシと反射板の配布）
 - 自転車事故賠償対応（特約付帯推進、団体制度案内、地方自治体への働きかけ）等の社会課題関連
 - ・イベントのコラボ、動員の工夫、家族で楽しめる取組等

V. 組織力の強化

1. ブロック・代協・支部の強化

（１）会員情報の収集・整理：

- 各代協は、組織運営上必要な会員情報をリスト化し、収集する。

（２）支部活動の強化：

- ① 支部活動は代協活動の原点である。「集い、語らい、高め合う」代協の基本精神に則り、定期的な会合の機会を設け、支部メンバーの参画を促す。

〈運営上の留意点〉

- ・ オンライン会議を活用する（好取組事例の共有と活用スキル向上）
 - ・ 定期的な顔合わせの機会を設ける（定例昼食会、定例セミナーなど）
 - ・ 全員が支部の活動に参加できるように仕組む（役割分担、チーム制など）
 - ・ イベントは参加者目標を掲げ、声をかける
 - ・ 地域の各団体との関係構築を図る
- ② 組織委員会は好取組事例の情報収集を行い、発信する。
 - ③ 代協会長は支部長の悩みを聴き、相談に応じ、活性化を支援する。

（３）各代協の会員資格と会費体系の検証：（三冠王独自取組み項目）

- ① 各代協は、代協活動の基盤となる会員資格（正会員並びに・一般会員・賛助会員）と会費収入の実態を確認し、持続的な組織運営の可能性を検証し、必要に応じて改定する。
- ② 会費改定に当たっては、「募集従事者数リンク」を前提として検討する。
- ③ 代協会長は、地域担当理事・組織委員会と情報を共有しながら検討を進める。地域担当理事、組織委員会は各代協の検討をサポートする。
- ④ 代協総会における会費改定決議を「三冠王」独自取組み項目の表彰基準とする。

（４）情報と熱を伝える取り組み：

- ① 代協会員に対する情報発信（会報、SNS、メール、電話等）を随時行い、日本代協の方針や活動状況、各代協の取り組み状況、業界関連動向等に関する情報の共有化を図る。
- ② 会長懇談会、ブロック長懇談会の「情報提供パート」の動画版を作成し、代協会員向けにオンデマンドで配信する。

（５）若手会員・女性会員の育成・登用：

- 将来のリーダー育成と組織の活性化のため、若手や女性会員を登用する。
- （ex. 期限を決めて役員を交代する、登用する人数目標を定める〔クオータ制〕等）

（６）「新入会員オリエンテーション」の実施：

- ・ 新入会員の参画意欲向上のため、各代協においてオリエンテーションを実施する。（第一四半期の実施を推奨・可能な限り「フォローアップ研修」を実施）
- ・ 新入会員が活動に参加しやすい仕組みをつくる（ex. 全会員を委員会やイベント担当等に割り振る等）

（７）組織運営のガバナンス確保：

- ① 代協：関連法規を遵守し、「一般社団法人運営マニュアル」を参考に組織運営を行う。
特に、代協事務局職員に対する労働関係法規遵守に留意する。（代協版各種ひな型参照）
- ② 日本代協：代協運営に資する情報収集と知識習得に努め、専門家（弁護士、会計士、社労士）のネットワークを活用しながら、個別問題解決をサポートする。

（８）ブロック協議会による情報共有と相互の活性化支援：

- ① ブロック協議会を年４回開催し、情報と取組み事例の共有を通して相互の活性化を図る。
- ② 役割・運営については、「運営ガイドライン」を参照する。
- ③ 開催費用は日本代協負担とし、その額は実態を踏まえて適宜見直す。

（９）代協のオンライン環境整備：

- オンライン会議やセミナー開催等に伴うシステム関連設備の整備・拡充のため、各代協に対し資金面※・ノウハウ面での支援を行う（※Wi-Fi 環境、カメラ、マイク、パソコン等の購入資金援助）。

２．代協正会員の増強

(1) 基本方針：

- ① 代協正会員の増強は各代協の経営課題であるが、全代協の取り組みを後押しする観点から、引き続き日本代協全体で取り組む。
- ② 将来的には全代理店の加入、長期的にはその前提としての過半数の加入（約8万店）を目標とする。
その現実的なステップとして、「專業代理店換算組織率全代協 50%超」を中期目標として取り組む。
- ③ 加入勧奨に当たっては、チャンネル区分に関係なく、保険代理業を本業に位置付け、顧客本位の志を高く掲げて取り組んでいる意識の高い代理店に幅広く加入を働きかけていく。
- ④ 各代協は、「安定的かつ積極的な事業展開を行うために必要な会員数」を目標として純増を図る。
日本代協においては、増強運動の盛り上げを図るため「入会ベース」の目標を定めて取り組む。

(2) 本年度目標：

I：日本代協

- a. 前記(1)④の基本方針に則り、日本代協の本年度目標は「362店」の入会とする。
- b. 上記目標達成のため、各代協の入会数目標を下記基準で定める。

◆ 入会数目標：2022年3月末「みなし專業未会員数×2%」に「みなしオールチャンネル未会員数×0.1%」を合算した数値とする。

〔專業未会員 50店の1店、（專業も含めた）オールチャンネル未会員 1,000店の1店を会員に迎えれば全代協が目標達成できる水準値〕

◆ 激変緩和措置：組織率が 80%以上に到達している代協はみなし專業未会員数×2%を適用せず、ALLチャンネル未会員数×0.1%のみの算出とする（該当は3代協のみ）。

II：各代協

- a. 組織の安定的かつ積極的な運営に必要な会員数・会費額を検証したうえで、中期増強計画を策定し、積極的に増強（正会員実数増）を図る。
- b. 上記Iのガイドラインは「入会数のミニマム基準」とした上で、2023年度の「増強目標数」を事業計画に定め、各代協の総会にて組織決定し、取り組む。
組織率 50%達成済みの代協は、独自の目標設定を行い、増強計画を策定する。
- c. 組織率が 80%を達成している代協は日本代協の理想としている「全代理店を分母に置いた場合の組織率 50%超」を目指して積極的に取り組みを図る。

(3) 仲間づくり推進（代協正会員増強）のための取り組み：

- ① 仲間づくり推進は年間を通して推進する。
中間ラップの状況によっては、下期の特定期間において「入会キャンペーン」を実施する。
- ② 「仲間づくり推進（入会数基準）」と「トータルプランナー受講者募集」を必達項目とした上で、「代協独自取組み項目」を加えた『目指せ！三冠王』制度を継続し、目標達成代協・ブロックを表彰する。

<「目指せ！三冠王」制度の内容>

【A：必須項目】

- 1 仲間作り「入会数」目標達成
- 2 「損害保険トータルプランナー」受講者募集目標達成

【B：代協独自取組み項目】

- 各代協は以下の選択肢の中から一つ以上を選び、「三冠王」の目標に位置付ける。
- ① 日本代協アカデミーの利用登録ID数または利用代理店数：表彰基準は改めて通知
 - ② ぼうさい探検隊マップコンクール：ミニマム表彰基準=3団体（マップ数ではなく団体数）
但し、正会員数 500名以上の東京、大阪、北海道、福岡、各代協は5団体

- ③ 事業継続力強化計画認定取得会員数：代協正会員数の 20%（中企庁認定ベース）
※2022 年度 20%達成代協は 25%、2022 年度 25%達成代協は 30%を目標値とする。
- ④ BCP 策定済会員数：代協正会員数の 30%（会員申告ベース）
※2022 年度 30%達成代協は 35%、2022 年度 35%達成代協は 40%を目標値とする。
- ⑤ 学生に対する出前授業の実施：ミニマム表彰基準＝3 校（講義次第・資料・実施報告書の提出）
- ⑥ 代協の会費体系の見直し：表彰基準＝総会議事録の提出
- ⑦ 「社労士認証制度」『宣言企業』以上会員数：表彰基準＝代協正会員の 10%（社労士会認定ベース）
※2022 年度 10%達成代協は 15%を目標値とする。

- ③「紹介の仕組み作り」を行い、組織全体で取り組む。（組織委員会任せにしない）
 - ・既存会員に紹介を依頼する（ex. 1 会員年間 1 店紹介など）。
 - ・保険会社に協力を依頼する。（「保険会社にとっての代協加入のメリット」を伝える）
- ④ 代理店賠償、情報入手、経験交流の場合等、代協加入のメリットを伝え、情宣を行う。（組織委員会）
- ⑤ 退会理由を確認し、会員減の防止に役立てる。
 <参考マニュアル等>「正会員増強マニュアル」・「非会員向け PR リーフレット」
 ・「保険代理店の 賠償責任（10 分版・音声入）」・「You Tube 動画/PR 企画」

（４）各保険会社研修生の勧誘：

- 独立型研修生制度を有する保険会社（あいおい社他数社）に対し、保険会社経由で入会関係書類の配布を行い、入会推奨を依頼する。

（５）損保各社との連携強化：

- ① 各代協：損保各社との面談、共同企画の実施等を通し、協力体制構築に取り組む。
（総会、賀詞交歓会、各種セミナー、社会貢献活動等のイベント 等）
- ② 日本代協：損保 7 社との懇談会(7 月)や個別アテンドにより、代協入会・損害保険コンサルティングコース受講者募集・代理店賠償加入の協力を求める。

3. 人材育成研修会の実施

- ① 代協活動の次代のリーダー育成のため、2 年に 1 回のサイクルで下記の通り開催する。
☐ 2023 年度：北東北、上信越、東関東、東京、近畿、阪神、四国、九州南
☐ 2024 年度：北海道、南東北、南関東、東海、北陸、東中国、西中国、九州北
- ② 2022 年度未開催のブロックは 2023 年度内に実施することができる。

4. 代理店賠償の普及と経営品質向上

（１）基本方針：

- ① 代理店経営のプロテクターである代理店賠償「日本代協新プラン」の加入を推進する。
 別個登録会員・AIG 社契約会員等を除き、極力 100%の加入を目指す。
 <2022 年 10 月 1 日更新内容：加入店数 9,473 店(前年比▲132 店)・継続率 97.5%
 単純加入率 86.1%(85.9%)・保険料 198,787 千円 (+160 千円)>
- ② 契約内容は 2022 年度と同様とする。

（２）加入促進、制度の健全な運営確保のための施策：

- ① チャプ保険主催の「代理店賠償セミナー」を開催し、本制度の理解促進と普及を図る（1 代協年 1 回/前年度未開催 or 間隔が空いた代協は優先的に実施・保険会社社員にも案内・オンライン開催可）。

〔担当〕 杉山講師（チャブ損保 OB）・山本講師（日本代協事務局 OB）

- ② 3 月開催の全国会長懇談会時に「経営品質向上委員会」を開催し、事故報告状況、保険金請求事案、訴訟事案、消費者からの苦情事案等を中心に具体的なフィードバックを行い、代理店の募集品質・業務品質の底上げを図る（チャブ損保）。
- ③ 「代理店賠償責任保険審査会」を年 1 回開催し、複雑事案の審議を行うとともに、本制度の信頼度向上を図る（臨時開催あり・オンライン開催あり）。

Ⅵ. 活力ある代理店制度の構築

1. 活力研の開催

- ・「活力ある代理店制度等研究会」（活力研）を年 2 回開催する。
- ・代理店制度上の諸問題、保険会社との関係、募集環境、これからの代理店のあり方などを中心に真摯な対話を継続し、課題改善に取り組む。今後、代理店と保険会社がいかに連携して顧客本位の業務運営を実現していくか、未来志向の対話を行う。
- ・論議テーマはアドバイザー、参加保険会社とも事前協議を行い、極力前広に選定する。
- ・議事録を作成・配信する。論議の透明性を確保し、内容の共有に努める。

2. 金融庁と代協会長との意見交換会の開催

- ・金融庁監督局保険課長と代協会長との意見交換会を開催し、現場の実態、課題と併せて、地域に根差した代協会員の顧客本位の業務運営に向けた取り組みを、直接行政に伝える場とする（23 年 4 月予定・オンライン開催）。

3. 環境変化対応の支援

- ・金融行政の動向や市場環境の変化、保険会社の動向等、環境変化に関する様々な情報収集と分析を行い、代協会員に提供する。

Ⅶ. 広報活動の展開

1. ホームページの活用

- ① 日本代協・各代協ともに HP を活用した情報発信に努める。
代協における取り組みに当たっては、SNS や動画の活用を含め、広報委員会で呼び掛けを行う。
- ② ホームページ・SNS 活用ルールの定着状況を確認する（不備、更新状況等）。

2. メディアの活用

- ① 「保険代理業の仕事の魅力と存在意義」を伝えるための広報活動を積極的に展開する。
『保険を選ぶ前に代理店を選ぶ、という考え方。』に基づき、「保険代理業（保険募集人）は、損害保険の提案や事故のアドバイスを通してお客さまのお役に立ち、寄り添うことができる存在である」という仕事の魅力と存在意義を PR し、若い世代を中心に浸透させていく。
- ② 業界紙（3 紙）との懇談会を開催し、代協活動への理解を深める場とする（7 月）。
- ③ イベント開催の際には、地元マスコミへの記事掲載につなげ、消費者の認知度を高める。業界紙にも記事を送り、掲載を働きかける。
- ④ 各メディアと良好な関係を保ち（先方依頼にも積極対応）、様々な機会を活用して日本代協の意見のアピールに努める。

3. WEB 媒体等の活用

- ① 代理店の存在意義、代理店の価値、代理店を選ぶことの重要性を伝えるため、過去に作成した動画を活用する。
- ② Youtube 公式チャンネル「一般社団法人日本損害保険代理業協会」の登録数増加を図る。

4. 「みなさまの保険情報」の活用

- ① 損害保険代理業は「情報提供業」であり、定期的な情報提供の一助として、また、顧客との接点確保のために「みなさまの保険情報」の活用推進を図る。会員数対比 5%超の利用を目標とする。
※2023 年 1 月現在利用部数：48,575 部（前年 47,235 部） / 利用会員数：407 店（前年 404 店）
（事務局分を除く）上記の他に PDF のみ購入会員 13 店（前年 7 店）
- ② 「みなさまの保険情報」活用事例を定期的に情宣し、活用を促す。
- ③ 本誌の今後のあり方について、検討していく。

5. 会員へ、より情報が伝わる手法の研究・検討

- ① 日本代協から発信される情報を、効果的・効率的に会員へ伝達するための方法について研究を行う。
- ② 日本代協の理事会や委員会運営の効率化に資するツール活用の検討を行う。

VIII. 代協会員の経営支援・情報の提供

1. 代理店経営支援策の検討・提供

- ① 理事会、各委員会、サポートデスクに寄せられた相談事案等を踏まえて代理店経営のサポート策を検討し、研修・ツール・セミナー等を構築・提供する。（サポートデスク、各委員会、事務局）
- ② 代理店の価値向上支援策並びに消費者・契約者に代理店の価値を伝える施策を検討、提示する。（企画環境委員会・サポートデスク）
- ③ 本業に直結する好取組事例を収集し、提示する。（教育委員会・サポートデスク）

2. 「代理店経営サポートデスク」による支援メニューの提供・展開

（1）基本方針：

- ① 引き続き多様な支援と情報提供を行っていくが、特に今年度はサポートデスクの存在を周知することを最優先課題として活動を行う。
- ② 各種ガイドの作成は前年度で一通り終了したことから、今年度は新規のガイド作成は予定せず、具体的なニーズが寄せられた場合に、個別に作成の可否を検討する。
- ③ 上記①に資する取り組みとして、各代協向けセミナーと連動した「出張型経営相談コーナー」の開設と、新たな情報提供番組（仮題「ボクらの NEXT チャレンジ！」）の配信を実施する。

（2）支援策の提供と浸透：

- ① 相談日の変更
これまで毎週水・木曜日 10 時～16 時に電話相談を受けていたが、電話相談件数が減少傾向にあることから電話相談は水曜日のみの 10～16 時とする。また、昨年度より開始している「Zoom 相談」は随時行っており、水曜日実施を原則としながらも臨機応変に対応する（事前予約制・1 回 1 時間以内）
- ② 「代理店自己点検レベルアップ研修」の浸透、定着
日本創倫と連携し、自己点検の実効性向上のため、解説動画と WEB・訪問監査を組み合わせた研修メニューを前年度に作成した。今年度はその活用を図る。
- ③ 各代協向けセミナーと連動した「出張型経営相談コーナー」の開設

代理店経営サポートデスクの一層の周知を目的として、各地を訪問した際に経営相談コーナーを開設する。開設コスト節減のため、粕谷アドバイザーによるセミナー開催日の前後に実施する。

④ (仮題)「ボクらのNEXTチャレンジ!」の配信

若手の代理店経営者を交えたパネルディスカッション風番組を配信する。10年後の地域社会を見据えて、自社の経営改革に創意工夫している姿を、現地インタビューを通じて届ける。

(3) 継続施策の実施

① 事業継続力強化計画認定申請支援

申請要領がweb申請のみとなったことに伴う個別サポートを、必要に応じて行う。

② 「代理店経営未来塾」開催

受講対象者を後継者、後継予定者に限定せず、経営を学びたい会員に広く案内する。

- 「第3期」開講予定：11月～4月の6か月間・受講者枠30名・受講料3万円・オンライン講座
- 「第2期」フォローアップ：サマースクール開催（8月リアル開催予定）

3. 情報提供の推進

(1) 基本方針：

- 情報が各会員に伝わるにはどうすればよいかを常に念頭に置いて、発信を行う。必ずしも発信量が多ければよいわけではないことに加えて、発信方法や発信媒体等も工夫を続ける。
- 各委員会・事務局においては、定期的・タイムリーに必要な情報を配信する。
配信文書は、原則としてA4・1枚とし、冒頭にポイントを明示して簡潔に伝える。

(2) 媒体：

- ① 「日本代協ニュース」（定期版）… 広報委員会にて内容を確認する
・ダイレクトメールを年10回配信・掲載内容は、代協活動や代理店経営に係る最新動向とする。
- ② 業界動向をまとめた「情報版」をA4・3枚程度の分量の都度配信
- ③ 「代協活動の現状と課題」（冊子）
・9月中に全会員に配布する。内容はHPに掲載し、意見公表としても活用する。
・紙媒体は当面存続させたい一方で、表紙や記載内容の工夫を続けるとともに、各代協における勉強会開催等、より多くの会員に読んでいただけるよう工夫を続ける。
・日本代協理事は、「現状と課題」の記載内容について、その背景や日本代協の対応方針等の理解に努め、ブロック協議会や人材育成研修会等の場で熱を持って伝える。

4. タスクフォース

- 環境変化に応じ、新たに検討すべきテーマが生じた場合は、会長直轄の少人数のタスクフォースを設置し、期間限定で検討を進め、迅速な施策提供につなげる。
- 会合は原則オンライン開催とし、地域代協の若手会員の登用も検討する。
- 年度初時点ではタスクフォースの設置は行わないが、状況に応じて設置を検討する。

IX. コンベンション

- ① 第12回日本代協コンベンションを下記日程で開催する。
❖ 日時：2023年11月17日（金）～18日（土）於：グランドニッコー東京台場・損保会館 他
- ② アクションプランの策定・準備・運営は、首都圏代協若手メンバーによるプロジェクトチームが行う。
- ③ 本年度実施の可否、開催方法は9月理事会で決定する。
- ④ 内容については、昨年度のアンケート結果も踏まえ、必要に応じて理事会に諮ったうえで決定する。

X. 法人運営

1. 一般社団法人としての体制整備と運営

- ① 定款自治を前提に、関連法規・諸規則に沿った運営を行う。
- ② 正確な情報と熱の伝達のため、重要事項については理事会・委員会経由の他、直接代協会長に伝える。
- ③ 会長懇談会は分散会等の実施を通じた意見交換を行い、取り組み事例の共有を通して活動の底上げを図る。
- ④ 総会・代協会長懇談会はリアル開催、理事会はオンラインとリアルの併用（半々）
委員会はオンライン開催も取り入れながら、コスト削減を図りつつ機動力を高める。
- ⑤ 会議資料、委員会の連絡等はオンライン配信とし、資料閲覧はタブレットを使用する。
- ⑥ 100 万円以上の案件の原則 BID の実施、旅費・宿泊費の宿泊パック利用等、経費節減を図る。
- ⑦ 日本代協アドバイザー候補をリサーチし、適任者がいれば委嘱を検討する（行政 OB を含む）。

2. 代協事務局職員研修の実施

- テーマ毎に時間を限ってオンラインで研修・情報交換を実施する。

（以上）

【別表】 2023 年度日本代協各委員会への諮問事項

1 諮問に当たっての共通確認事項

- (1) 2022 年度「事業報告」・「現状と課題」、2023 年度「事業計画」を通読し、担当以外の取り組みも含めて、課題の背景と現状、取り組みの方向性を共有する。
- (2) 課題毎にタスクを整理し、担当・役割分担・スケジュールを明確化する。
- (3) 取り組みの目的、意義が各会員へ伝わるための工夫を凝らし、単に目標数字をこなすための取り組みにならないよう留意する。
- (4) 定款・規則に即した運営を行い、連絡、報告等の締め切り期日を遵守する。
- (5) 意見を明確に述べ、賛否を明らかにした上で、組織決定に従い、行動する。
- (6) Zoom を活用し、論議の質と量を引き上げる（臨時委員会、チームミーティングを含む）。
- (7) 各代協（役員・事務局）に対する迅速で分かりやすい情報提供を心掛ける。

2 各委員会諮問・推進事項 ※下記は「主要諮問事項」・その他事業計画記載の取組みは継続実施

委 員 会	委 員 長	諮問・推進事項
企画環境	松本理事	1 代理店の価値向上策の <u>定着と更なる推進</u> （リスクマネジメント講座・事業継続力強化計画認定申請・社労士診断認証制度 等） 2 募集現場の実態のモニタリングと対応策の実施（不適正募集、 <u>特定修理業者対策</u> 、共通化・標準化 等）
教 育	石川理事	1 日本代協アカデミーの展開 2 損害保険大学課程の運営・検証・改善
組 織	藤山理事	1 ブロック・代協・支部の強化 2 「仲間づくり(会員増強)」の推進 3 代理店賠償の推進
C S R	大城理事	1 <u>実効性のある「ぼうさい探検隊」の積極推進</u> 2 継続活動の情宣効果向上に向けた検討（地震保険、子ども 110 番、無保険車） 3 防災・減災の具体的取り組みの <u>定着と更なる推進</u> （他業界団体のコラボレーションの模索、SDGs の取り組みに向けた検討、等）
広 報	大和理事	1 <u>保険代理業の仕事の魅力と存在意義を伝えるための PR 施策</u> の検討・実施・活用（対外広報） 2 「みなさまの保険情報」の利用拡大に向けた情報提供と具体的推進 3 「日本代協ニュース」の作成、配信（ <u>対内広報</u> ） 4 会員へ、より情報が伝わる手法の研究、検討
委 員 会	委 員 長	諮問・推進事項
タスク フォース		<u>状況に応じて設置を検討する</u>

3 機関紙・サポートデスク諮問・推進事項

	室長・LD	諮問・推進事項
機 関 紙	<u>廃止</u>	<u>日本代協ニュースは発刊時期が決まっており、取り上げるテーマは自ずと絞られることから、ニュースのドラフト作成は従来から事務局が担っている。</u> <u>昨年度は、原稿案を広報委員会が事前に確認しており、機関紙編集室が従来果たしてきた役割を十分カバーできることが確認できた。</u> <u>よって、機関紙編集室としての独立の組織は廃止することとしたい</u>
サポート デスク	粕谷 AD (各委員会)	1 <u>サポートデスクの存在の幅広い周知</u> 2 BCP 策定・事業継続力強化計画認定申請等の個別・グループワーク支援 3 「代理店経営未来塾」の運営 4 電話直接、Zoom 相談の <u>更なる活用推進</u>
コンベンション PT	PT で決定	<u>2023 年度コンベンション開催に向けた企画・実行・運営</u>

以上

IV. 2023 年度 (第 60 期) 収支予算書

2023年度予算

(単位:千円)

勘 定 科 目	2023年度 予 算 額	2022年度 予 算 額	予算差額 23年-22年	備 考
I 収入の部				
正会員会費	110,000	111,000	▲1,000	2022年度実績ベース
特別会員会費	63,400	63,400		
賛助会員会費	200	200		
損保大学課程受託料	89,500	90,178	▲678	2022年度着地見込ベース
集金事務費	13,300	13,273	27	
利息配当金収入	200	168	32	
雑収益	3,500	3,500		
当期収入合計(A)	280,100	281,719	▲1,619	
前期繰越収支差額	222,133	231,159	▲9,026	
収入合計(B)	502,233	512,878	▲10,645	
II 支出の部				
役員報酬				
給料手当	43,500	40,370	3,130	部長欠員補充、派遣→パート転換(2名)
退職金	2,100	2,061	39	
法定福利費	6,400	6,200	200	
福利厚生費	2,900	2,800	100	
教育研修費	19,100	22,500	▲3,400	人材育成研修開催ブロック数減(12→8)
損保大学課程運営費	85,500	83,690	1,810	2022年度着地見込ベース
委員会費	8,800	8,750	50	
研究会費	900	900		
会議費	6,700	6,750	▲50	
総会費	1,100	860	240	会場費値上がり
コンベンション費	18,900	16,400	2,500	懇親会開催予定のため
理事会費	3,700	3,700		
機関紙費	1,000	2,500	▲1,500	メール& FAX方式に一元化
ブロック対策費	16,100	17,150	▲1,050	会員数減による配分額減
組織対策費	31,200	31,450	▲250	
事業対策費	19,000	26,200	▲7,200	PR企画予算減、派遣社員費用減
通信費	2,000	1,300	700	事務所移転関連費用
印刷費	3,000	1,200	1,800	事務所移転関連費用
旅費交通費	500	500		
渉外費	800	800		
図書費	500	450	50	
事務器費	16,200	12,800	3,400	事務所移転関連費用
借室費	29,700	29,700		
光熱費	450	400	50	
消耗品費	3,500	171	3,329	事務所移転関連費用
支払報酬	1,800	1,300	500	監査報酬、税理士報酬増
租税公課	3,100	2,300	800	消費税増
建物減価償却費	2,000	70	1,930	事務所移転関連費用
什器備品減価償却費	1,000		1,000	事務所移転関連費用
ソフトウェア減価償却費				
有価証券解約手数料	100	100		
支払寄付金				
雑費	8,200	2,950	5,250	事務所移転関連費用
当期支出合計 (C)	339,750	326,322	13,428	
当期収支差額 (A)-(C)	▲59,650	▲44,603	▲15,047	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	162,483	186,556	▲24,073	

以上の通り報告いたします。

2023 年 6 月 16 日

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

理 事	(会 長)	小田島綾子
理 事	(副会長)	横山健一郎
理 事	(副会長)	小俣 藤夫
理 事	(副会長)	中島 克
理 事	(副会長)	山中 尚
理 事		佐々木雅之
理 事		雨宮 豊
理 事		下村 文則
理 事		小橋 信彦
理 事		谷川 明義
理 事		北島香代子
理 事		松本 一成
理 事		石川 英幸
理 事		藤山 裕介
理 事		大城 拓
理 事		大和 親英
理 事		金澤 亨
理 事		小見 隆彦
監 事		白石 雅一
監 事		津田 文雄

以上

2023 年度 通常総会 議事録（写）

1. 日 時 : 2023年6月16日（金）午前10時00分～午前11時03分
2. 場 所 : 損保会館 2F大会議室
東京都千代田区神田淡路町2-9
3. 出席会員数 : 会員61名（以上は、総会員数61名に対し、2分の1以上である。）

（1）出席者内訳

会場出席者数 : 45 名
代理人による出席者数 : 7 名
書面による出席者数 : 9 名

（2）出席理事・監事

出席理事: 会 長: 小田島 綾子
副会長: 横山 健一郎、小俣 藤夫、中島 克、山中 尚
理 事: 佐々木 雅之、雨宮 豊、下村 文則、小橋 信彦、谷川 明義、
北島 香代子、松本 一成、石川 英幸、藤山 裕介、大城 拓、
大和 親英
専務理事: 金澤 亨、常務理事: 小見 隆彦
出席監事: 津田 文雄

会長 小田島 綾子氏は、上記の通りの会員の出席があったので、本総会は有効に成立した旨を報告し、開会を宣した。

会長は議長を選出を総会にはかり、出席者の中から橘 恭浩氏を選任し、同氏も承諾の上、議長席に着いた。

議事に先立って、議長は総会の承認をえて、議事録署名人として高木 正博、井手 秀樹の両氏をそれぞれ指名選任し、次いで、議題に沿った議案提案の存否を総会にはかり、提案のないことを確認した後、議案の審議に入った。

第1号議案 2022年度（第59期）事業報告案承認の件

本件は、金澤専務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて、第1号議案 2022年度（第59期）事業報告は以下の通り決議承認された。

: 本報告書P. 1～25参照

第2号議案 2022年度（第59期）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

本件は、小見常務より説明報告があり、議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致で、第2号議案 2022年度（第59期）貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録は以下の通り決議承認された。

: 本報告書P. 26～34 参照

第3号議案 理事1名・監事1名の辞任に伴う理事1名・監事1名選任の件

本件は、小田島会長から説明報告があり、続いて役員資格審査委員会の廣瀬 城児委員長から審査結果報告があった。議長は報告に基づき本議案を総会にはかったところ、全会一致にて、提案の通り選任された。なお、被選任者のうち、本通常総会を欠席となった小島俊宏氏からは、監事就任承諾書を受領済である。坂 雅夫氏は、本通常総会に出席しており、席上で就任を承諾した。なお、事前に就任承諾書も提出いただいている。

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第11条第3項第3号の規定による監事の
意見又は発言なし

以上をもって、議長は、一般社団法人 日本損害保険代理業協会2022年度通常総会終了を宣し、
午前11時03分閉会した。

ここに総会議事録を作成し、議長並びに議事録署名人が記名捺印する。

2023年 6月16日

議 長 橘 恭 浩 ㊟

議事録署名人 高 木 正 博 ㊟

議事録署名人 井 手 秀 樹 ㊟

議事録作成者：坂 雅夫

以上

資料集

資 料	ページ
2022年度「目指せ、三冠王」最終結果	58
2022年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」都道府県代協別目標達成状況表	59
損害保険大学課程コンサルティングコース受講者数(代協別、会員非会員別)	60
2022年度 教育研修会 開催状況	61
代協・支部セミナー	62-68
人材育成研修会	69
新入会員オリエンテーション	70
公開講座	71
地球環境保全活動	72
地域社会貢献活動	73-78
消費者団体との懇談会	79

2021年度 34号news=年度速報 4/6

<2021年度の三冠王>⇒17代協が「三冠王」獲得！♪！
 1号は福師⇒冠5つの「**ブラチナ三冠**」、2号は徳島⇒冠4つの「**ゴールド三冠王**」、3号は大坂⇒冠3つの「**三冠王**」、
 4号は福井⇒冠5つの「**ゴールド三冠**」、5号は奈良⇒冠4つの「**ゴールド三冠**」、6号は長崎⇒冠3つの「**三冠王**」、
 7号は京都⇒冠4つの「**ゴールド三冠王**」、8号は熊本⇒冠5つの「**ブラチナ三冠**」、9号は滋賀⇒冠4つの「**ゴールド三冠王**」、
 10号は山梨⇒冠5つの「**ブラチナ三冠**」、11号は宮崎⇒冠4つの「**ゴールド三冠**」、12号は鹿児島⇒冠4つの「**ゴールド三冠王**」、
 13号は石川⇒冠4つの「**ゴールド三冠**」、14号は神奈川⇒冠5つの「**ブラチナ三冠**」、15号は三重⇒冠3つの「**三冠王**」、
 16号は北海道⇒冠3つの「**三冠王**」、17号は沖縄⇒冠4つの「**ゴールド三冠王**」

2022年度「仲間づくり推進(正会員増強運動)」目標達成状況表

代協 ブロック	2022.3.31現在 専業代理店 実在数	2021年度末 (2022.3.31現在) 正会員数	2021年度末 組織率	入会目標	2022年度実績(2022年4~3月)					目標まで あと何店	連クォーター稼働			
					入会	退会	退会理由 (1~4)	正会員数	★組織率		目標達成 %	第2Q 30%	第3Q 60%	年間 100%
北海道	1,088	591	54.3%	19	19	30	(21)	580	53.3%	0	100%	★		★
<北海道計>	1,088	591	54.3%	19	19	30	(21)	580	53.3%	0	100%			
青森	314	132	42.0%	6	9	3	(2)	138	43.9%	-3	150%	★	★	★
岩手	255	120	47.1%	5	6	5	(3)	121	47.5%	-1	120%	★	★	★
秋田	207	87	42.0%	5	1	5	(3)	83	40.1%	4	20%			
<北東北計>	776	339	43.7%	16	16	13	(8)	342	44.1%	0	100%			
宮城	476	213	44.7%	9	4	7	(2)	210	44.1%	5	44%			
やまがた	218	144	66.1%	4	2	3	(2)	143	65.6%	2	50%			
福島	412	227	55.1%	8	8	10	(8)	225	54.6%	0	100%	★	★	★
<南東北計>	1,106	584	52.8%	21	14	20	(12)	578	52.3%	7	67%			
新潟	372	182	48.9%	8	9	6	(3)	185	49.7%	-1	113%	★	★	★
長野	404	205	50.7%	8	8	8	(8)	205	50.7%	0	100%			★
群馬	419	206	49.2%	9	9	14	(13)	201	48.0%	0	100%	★		★
<上信越計>	1,195	593	49.6%	25	26	28	(24)	591	49.5%	-1	104%			
栃木	387	133	34.4%	9	4	3	(3)	134	34.6%	5	44%			
茨城	510	199	39.0%	12	5	16	(13)	188	36.9%	7	42%			
埼玉	892	353	39.6%	19	6	17	(8)	342	38.3%	13	32%			
千葉	878	344	39.2%	18	19	9	(6)	354	40.3%	-1	106%			★
<東関東計>	2,667	1,029	38.6%	58	34	45	(30)	1,018	38.2%	24	59%			
神奈川	992	463	46.7%	19	19	19	(16)	463	46.7%	0	100%			★
山梨	175	120	68.6%	4	4	2	(2)	122	69.7%	0	100%			★
<南関東計>	1,167	583	50.0%	23	23	21	(18)	585	50.1%	0	100%			
東京	2,163	862	39.9%	42	27	30	(22)	859	39.7%	15	64%			
<東京計>	2,163	862	39.9%	42	27	30	(22)	859	39.7%	15	64%			
静岡	755	292	38.7%	17	8	15	(10)	285	37.7%	9	47%			
愛知	1,131	484	42.8%	24	27	22	(17)	489	43.2%	-3	113%			★
岐阜	424	222	52.4%	9	9	6	(5)	225	53.1%	0	100%	★		★
三重	384	232	60.4%	7	8	6	(5)	234	60.9%	-1	114%	★	★	★
<東海計>	2,694	1,230	45.7%	57	52	49	(37)	1,233	45.8%	5	91%			
富山	211	113	53.6%	4	4	3	(3)	114	54.0%	0	100%			★
石川	223	156	70.0%	4	4	4	(1)	156	70.0%	0	100%			★
福井	180	126	70.0%	4	4	7	(3)	123	68.3%	0	100%		★	★
<北陸計>	614	395	64.3%	12	12	14	(7)	393	64.0%	0	100%			
滋賀	185	138	74.6%	4	4	4	(3)	138	74.6%	0	100%			★
京都	403	344	85.4%	4	5	18	(17)	331	82.1%	-1	125%	★	★	★
奈良	180	137	76.1%	3	3	3	(18)	137	76.1%	0	100%	★	★	★
<近畿計>	768	619	80.6%	11	12	25	(38)	606	78.9%	-1	109%			
大阪	1,232	855	69.4%	18	25	40	(15)	840	68.2%	-7	139%	★	★	★
兵庫	736	304	41.3%	16	11	11	(7)	304	41.3%	5	69%	★		
和歌山	221	161	72.9%	4	6	7	(5)	160	72.4%	-2	150%	★	★	★
<阪神計>	2,189	1,320	60.3%	38	42	58	(27)	1,304	59.6%	-4	111%			
岡山	384	286	74.5%	6	6	12	(11)	280	72.9%	0	100%	★		★
鳥取	125	94	75.2%	2	2	6	(4)	90	72.0%	0	100%			★
島根	108	45	41.7%	3	1	2	(2)	44	40.7%	2	33%			
<東中国計>	617	425	68.9%	11	9	20	(17)	414	67.1%	2	82%			
広島	454	214	47.1%	9	9	3	(3)	220	48.5%	0	100%	★	★	★
山口	252	165	65.5%	4	4	11	(9)	158	62.7%	0	100%	★	★	★
<西中国計>	706	379	53.7%	13	13	14	(12)	378	53.5%	0	100%			
徳島	136	113	83.1%	3	3	4	(2)	112	82.4%	0	100%	★	★	★
香川	157	133	84.7%	3	3	3	(0)	133	84.7%	0	100%	★	★	★
愛媛	284	138	48.6%	6	2	6	(5)	134	47.2%	4	33%			
高知	143	104	72.7%	2	1	8	(6)	97	67.8%	1	50%			
<四国計>	720	488	67.8%	14	9	21	(13)	476	66.1%	5	64%			
福岡	1,005	557	55.4%	16	22	20	(17)	559	55.6%	-6	138%	★	★	★
大分	210	115	54.8%	5	6	4	(2)	117	55.7%	-1	120%			★
佐賀	152	96	63.2%	4	0	6	(4)	90	59.2%	4	0%			
長崎	239	168	70.3%	4	4	15	(12)	157	65.7%	0	100%			★
<九州北計>	1,606	936	58.3%	29	32	45	(35)	923	57.5%	-3	110%			
宮崎	232	138	59.5%	5	5	3	(2)	140	60.3%	0	100%	★	★	★
熊本	349	232	66.5%	6	6	13	(10)	225	64.5%	0	100%			★
鹿児島	290	183	63.1%	6	6	5	(4)	184	63.4%	0	100%	★		★
沖縄	291	168	57.7%	5	5	5	(3)	168	57.7%	0	100%	★	★	★
<九州南計>	1,162	721	62.0%	22	22	26	(19)	717	61.7%	0	100%			
全国計	21,238	11,094	52.2%	411	362	459	(340)	10,997	51.8%	49	88%			

2023年04月開講 損保大学課程コンサルティングコース受講申込状況(日報)										2023.02.17 04:58 am現在			
地区	代協名	受講申込者				代協別 目標数	達成率	ブロック計	ブロック 目標数	達成率	前年度ブロック 目標と実績		
		代理店	(内会員)	社員	合計								
北海道	北海道	63	54	3	66	40	165%	66	40	165%	40	58	
北東北	青森	18	12	0	18	9	200%	50	24	208%	24	32	
	岩手	21	19	1	22	9	244%						
	秋田	10	10	0	10	6	167%						
南東北	宮城	18	12	2	20	15	133%	78	40	195%	40	49	
	やまがた	25	24	1	26	11	236%						
	福島	32	26	0	32	14	229%						
上信越	新潟	26	17	0	26	16	163%	67	47	143%	47	57	
	長野	20	16	2	22	16	138%						
	群馬	19	19	0	19	15	127%						
東関東 (東京2)	栃木	19	14	0	19	13	146%	131	73	179%	73	116	
	茨城	33	27	1	34	16	213%						
	埼玉	30	25	4	34	22	155%						
	千葉	41	29	3	44	22	200%						
南関東	神奈川	61	54	0	61	40	153%	81	50	162%	50	90	
	山梨	20	14	0	20	10	200%						
東京	東京	203	111	9	212	107	198%	212	107	198%	107	178	
東海	静岡	28	21	2	30	18	167%	128	94	136%	94	123	
	愛知	56	40	0	56	46	122%						
	岐阜	16	14	2	18	15	120%						
	三重	22	21	2	24	15	160%						
北陸	富山	9	7	2	11	9	122%	39	30	130%	30	46	
	石川	14	11	0	14	11	127%						
	福井	14	11	0	14	10	140%						
近畿	滋賀	13	11	0	13	7	186%	61	33	185%	33	50	
	京都	34	28	2	36	19	189%						
	奈良	12	9	0	12	7	171%						
阪神	大阪	99	69	4	103	68	151%	144	101	143%	101	135	
	兵庫	28	16	0	28	24	117%						
	和歌山	13	11	0	13	9	144%						
東中国	岡山	34	24	3	37	20	185%	48	27	178%	27	40	
	鳥取	6	4	1	7	4	175%						
	島根	4	3	0	4	3	133%						
西中国	広島	41	32	2	43	17	253%	68	29	234%	29	37	
	山口	24	19	1	25	12	208%						
四国	徳島	7	7	3	10	6	167%	46	32	144%	32	34	
	香川	12	11	1	13	9	144%						
	愛媛	15	13	0	15	10	150%						
	高知	8	8	0	8	7	114%						
九州北	福岡	59	49	0	59	35	169%	112	62	181%	62	95	
	大分	27	22	0	27	10	270%						
	佐賀	11	10	0	11	7	157%						
	長崎	15	12	0	15	10	150%						
九州南	宮崎	16	12	0	16	9	178%	76	51	149%	51	91	
	熊本	19	16	1	20	16	125%						
	鹿児島	14	12	3	17	15	113%						
	沖縄	20	13	3	23	11	209%						
全国計		1349	1019	58	1407	840	168%	1407	840	168%	840	1231	
代申会社		代理店	(内会員)	社員	計	新年度開講コース:1,407名の受講申込！ 昨年比較で176名増。 全代協・全ブロックが目標達成！ 代申社別：SJ社がスタートからトップ譲らず、ゴール！ 会員比率：75. 5%(1,019/1,349名) ありがとうございました。 おつかれさまでございました。							
あいおいニッセイ同和		215	180	18	233								
楽天		1	1	0	1								
共栄		22	13	1	23								
セコム		1	1	1	2								
損保ジャパン		350	292	5	355								
大同		7	6	3	10								
東京海上日動		285	224	5	290								
日新		39	24	1	40								
AIG損害保険		103	56	5	108								
三井住友		324	221	18	342								
チャブ		0	0	0	0								
その他		2	1	1	3								
合計		1349	1019	58	1407								

2022年度 教育研修会 開催状況

代協 ブロック	代協・支部 セミナー	人材育成 研修	新入会員 オリエンテーション	公開 講座
北海道ブロック		◎		1
北海道	8		2	1
北東北ブロック		◎		
青 森	3			
岩 手	2			
秋 田	5			
南東北ブロック		◎		
宮 城	5			
やまがた	2		2	
福 島	4		1	
上信越ブロック		◎		1
新 潟	5			
長 野	7			
群 馬	2			
東関東ブロック	1	◎		1
栃 木				
茨 城	4			
埼 玉	9			
千 葉	6			
南関東ブロック		◎		
神 奈 川	13		1	
山 梨	4		1	
東京ブロック	1			1
東 京	20			
東海ブロック		◎		1
静 岡	4			
愛 知	4		1	
岐 阜	4			
三 重	11	○	1	
北陸ブロック	1	◎		1
富 山	1			1
石 川	2			
福 井	1			

代協 ブロック	代協・支部 セミナー	人材育成 研修	新入会員 オリエンテーション	公開 講座
近畿ブロック	2	○		1
滋 賀	4			
京 都	2			
奈 良	3			
阪神ブロック	2			1
大 阪	23	○	19	
兵 庫	7		1	
和 歌 山				
東中国ブロック	1	◎		
岡 山	13			
鳥 取	1			
島 根	2			
西中国ブロック	1	◎		
広 島	5		1	
山 口	4		1	
四国ブロック				
徳 島	2			
香 川				
愛 媛	2			
高 知				
九州北ブロック		◎		
福 岡	16			
大 分	2			
佐 賀	1		1	
長 崎	2			
九州南ブロック				
宮 崎	5		1	
熊 本	3			
鹿 児 島	1		1	
沖 縄	1			
合 計	243	14	34	10
参加者数	13,844	605	366	1,789

【参考】 前年同時期

合 計	178	7	28	6
参加者数	12,462	428	186	1,450

※セミナー()内は、支部開催セミナー回数の内訳

※人材育成研修会の、◎は定例開催、○は自主開催

代協・支部セミナー

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
北海道		2023.02.08オンラインセミナー	防災セミナー 進化する水害対策と、その時私たちがすべき事 国土交通省 関東地方整備局 河川部 水災害対策センター 長塩谷 浩 氏、一般社団法人日本損害保険協会 業務企画部啓発 教育グループ係長 水谷純基 氏、江戸川区役所 危機管理部 防災危機管理課 計画係主査 中嶋さち 氏	68
北海道		2022.12.07Zoomウェビナー	代理店賠償支払い事例から学ぶ保険業法違反への落とし穴Chubb損害(株)日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	178
北海道	室蘭/苫小牧/千歳	2022.10.26ZOOM開催	とらわれない発想が生み出すサプライズ&ハッピー(株)クリエイティブオフィスキュー 代表取締役 伊藤亜由美 氏	21
北海道	旭川	2023.02.03アートホテル旭川	活かされる経験 辿り着いた景色 ～代理店経営の将来構想へのヒント～関パートナーズオフィス 代表 関智英 氏	44
北海道	旭川	2022.05.12旭川トヨヨーホテル	事故調査のプロが語る！ドライブレコーダーの有効性(株)審調社 森澤三郎 氏	53
北海道	小樽	2023.02.27小樽市民会館	生前贈与の税制改正と対策について日本相続財センター札幌 常務理事 成田幹 氏	11
北海道	帯広	2023.01.25ホテルグランテス帯広	新春セミナー「株式会社そらと十勝の今後」(株)そら 取締役COO 林祐太 氏	36
北海道	帯広	2022.09.29ZOOM	事故修理の適切な修理内容と先進自動車の安全性について(有)カミヤマオートセブン 代表取締役 上山純司 氏	30
青森		2022.10.14弘前市立観光館 ハイブリッド	代理店賠償セミナーChubb損害保険(株) 日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	60
青森	八戸	2023.02.03八戸グランドホテル ハイブリッド	遺言分割対策の基本司法書士法人わかば法律事務所 代表司法書士 久保隆明 氏	51
青森	八戸	2022.04.15八戸パークホテル ハイブリッド	所有者不明土地問題に関する法改正法律事務所グッドカンパセーション 弁護士 下川原利也 氏	28
岩手		2022.12.02盛岡地域交流センター・マリオス	代理店賠償セミナーChubb損害保険(株) 日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	44
岩手		2022.05.18ホテルエース盛岡	「日本の地震保険制度」～制度の強靱性を支える「再保険」のしくみ～日本地震再保険(株)常務取締役 池田基己 氏	34
秋田		2023.01.18イヤタカ (ハイブリッド)	新春セミナー 火災保険金請求に付随する消費者トラブルについての法的整理～お客様を住宅修理に関するトラブルから守るために弁護士 遠力直彦 氏	55
秋田		2022.11.16秋田キャッスルホテル	今、保険代理店に求められる取組とは ～ミニマムスタンダード実践の重要性～元金融庁 特別検査官 成島康宏 氏	58
秋田		2022.05.27秋田テルサ (ハイブリッド開催)	代理店経営と日本代協施策の活用日本損害保険代理業協会 常務理事 小見隆彦 氏	35
秋田	県北	2022.09.07ルネサンスガーデンプラザ杉の子	交通事故について弁護士 緑川 正樹 氏	24
秋田	県南	2023.02.24松岡会館 (ハイブリッド)	代理店賠償責任保険セミナー ～消費者に信頼される代理店になるために～Chubb損害保険(株) 委託講師 杉山幹久 氏	37
宮城		2023.02.17戦災復興記念館	B C Pのためのサイバーセキュリティ・事業継続強化計画セミナー宮城県本部生活安全部 サイバー犯罪対策官 五十嵐文春 氏、三井住友あいおい生命保険 営業教育企画部次長 平田広 氏	41
宮城		2023.01.26戦災復興記念館 記念ホール	新春セミナー「これからの代理店経営」顧客本位の業務運営と経営力の向上を目指して～一般社団法人日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏	51
宮城	仙台東	2022.07.20 (有) オートフレンド	昨今の資金修理事情、自動車保険とのかわり合い(過失割合など) 等(有)オートフレンド 鎌水一弘 氏	9
宮城	仙南	2022.09.22あいおいニッセイ同和 仙南支社	地震保険について宮城県損害保険代理業協会 副会長 佐々木一 氏 (株式会社A.I.P 古川支店長)	9
宮城	仙塩	2022.11.25和食の小島 会議室	特殊詐欺に関するセミナー塩竈警察署 生活安全課 生活安全係長 三浦健二 警部補	12
やまがた		2023.01.27山形国際ホテル	日本代協の歴史と必要性日本代協理事 組織委員長 藤山裕介 氏	28
やまがた	庄内鶴岡	2022.10.28東京第一ホテル鶴岡	公的保険セミナーやまがた代協 会長 大川淳 氏	45
福島	郡山	2023.02.22郡山市公会堂	認知症サポーター養成講座 ～認知症を正しく理解し、地域で支えよう～郡山市地域包括ケア推進課 派遣講師	40
福島	会津	2023.02.15東山グランドホテル	社労士認証制度と助成金活用を武器とした新規開拓ササオ社会保険労務士事務所 笹生裕康 氏	20
福島	いわき	2023.01.19いわき中央自動車学校	酒気帯び体験研修いわき中央自動車学校講師	6
福島	福島	2023.02.17クーラーリアンテ	聞き方・話し方セミナー-MICHIKO.PRO代表 フリーアナウンサー 菅原美智子 氏	36
新潟		2023.01.24損保ジャパン長岡支社	代理店賠償の必要性長岡支部 組織委員 恩田孝夫 氏	24
新潟		2022.10.26新潟県映ホテル	ガバナンスについて保険代理店の経営力向上と環境変化における保険代理店の将来ビジョン 中央大学法科大学院教授・森・濱田松本法律事務所客員弁護士 野村修也 氏	82
新潟		2022.07.19あいおいニッセイ同和 新潟支店	代理店賠償の必要性長岡支部 組織委員 恩田孝夫 氏	8
新潟	長岡	2022.10.21おじゃーる	社労士診断認定制度支援についてと業界を取り巻く環境について三井住友海上あいおい生命 社労士診断取組支援担当者 三条支部長 桑原英明 氏	16
新潟	三条	2022.07.28三条東公民館	代理店向け防災研修新潟代協 危機管理室長 江川徹 氏	10
長野		2023.02.15zoomウェビナー	サイバーリスク対策オンラインセミナー 1. 昨今のサイバー犯罪の現状 2. 最新のセキュリティ事故から学ぶセキュリティ対策 1. 長野県警察本部 2. サイバートラスト(株) 松本義和 氏	67
長野		2023.02.02zoomウェビナー	「鬼の成島検査官」が語る!! 金融庁検査の着眼点 元金融庁特別検査官 日本代協アドバイザー 成島康宏 氏	181
長野		2022.11.16JA松本ハイランド松本市会館	生命保険提案ノウハウ塾 (ハイブリッド) 経営コンサルタント 中瀬敏 氏	54
長野		2022.09.29Zoomウェビナー	2022年代理店賠償セミナー元chubb損害保険 (株) 営業開発本部部長 杉山幹久 氏	100
長野	北信/東信	2022.11.11ホテルメトロポリタン長野 (ハイブ	社員が自主的に行動するコツ～旅館甲子園2連覇への道のり～ 渋温泉 春蘭の宿さかえや おもてなしスタッフ 堀内勇斗 氏	39
長野	中信/諏訪	2022.10.21Zoomウェビナー	サイバーリスク対策オンラインセミナーサイバートラスト (株) 松本義和 氏	80
長野	伊那/飯田	2023.01.24ホテル弥生	保険代理店のデジタル化戦略ーDX時代に求められる代理店の新たな役割ー 中嶋章夫 氏	17

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
群馬		2022.05.26群馬会館	プロ保険代理店への近未来の取組み～コロナ禍における体制（態勢）整備～日本創倫(株) 代表取締役 日本代協アドバイザー 山本秀樹 氏	68
群馬	東毛	2023.02.20あいおいニッセイ同和損保太田支社	損害保険会社の現状損保ジャパン、三井住友、あいおいニッセイ同和、日新火災の各社員	30
東関東		2022.11.11ホテルグリーンタワー 幕張	代理店のミライと代協の役割代理店経営支援アドバイザー 野元 敏昭 氏（日本代協 元専務理事）	64
茨城		2022.10.11WEBセミナー（Zoom）	1.SDGsの概要と企業が取り組むべき理由 2.SDGsを切り口とした～開拓について 1.三井住友海上火災保険（株）経営サポートセンター 経営リスクアドバイザー 目黒ゆかり 氏 2.三井住友海上火災保険（株）営業推進部長 藤井宏司 氏	27
茨城		2022.06.03ホテルテラスガーデン水戸 WEB	激動の保険業界で知っておくべき選ばれる代理店と選ばれない代理店(株)ブレインマークス 安藤邦彦 氏	73
茨城		2022.04.22茨城県開発社会会議室及びWEB	政治連盟の役割等東関東ブロック協議会政治連盟担当 清水克俊 氏	26
茨城	水戸	2023.03.14損害保険ジャパン 茨城支店	1.保険金請求に付随する消費者トラブルについての法的整理 2.今、保険代理店に求められる取組とは～ ミニマムスタンダード実践の重要性 1.造力総合保険事務所 井藤士 造力宣彦 氏 2.日本損害保険代理業協会アドバイザー 成島康宏 氏	86
埼玉		2023.01.19大宮ソニックシティ・ZOOM	しくじり先生「苦難は幸福の門」お笑い芸人 ヤセ騎士 氏	54
埼玉		2022.08.27埼玉県防災センター	防災訓練&体験会	22
埼玉		2022.08.19宇宙劇場・ZOOM	代理店賠償責任事例と保険の必要性元 Chubb損害保険（株） 杉山幹久 氏	35
埼玉		2022.05.19大宮ソニックシティ・ZOOM	歴史的変革の中での代理店経営～保険業法改正・顧客本位の業務運営・デジタル革命～日本損害保険代理業協会アドバイザー 栗山泰史 氏	66
埼玉	東部	2022.09.06越谷サンシティ視聴覚室・ZOOM	相続登記に関する改正のポイント～相続登記が義務化されます！～司法書士 桑瀬登紀子 氏	9
埼玉	西部	2023.02.13三井住友海上 川越支社	代理店賠償説明会元 Chubb損害保険株式会社 杉山幹久 氏	49
埼玉	西部	2022.11.30損保ジャパン 川越支社	自動車保険 比較・プレゼン各保険会社 社員の皆様	22
埼玉	北部	2022.12.14あいおいニッセイ同和 熊谷支社	事業継続力強化計画について三井住友海上あいおい生命保険（株）埼玉北生保支社 支店長代理 矢部琢也 氏	11
埼玉	北部	2022.09.16あいおいニッセイ同和 熊谷支社	改正になった相続税についてあす総合法律事務所 代表取締役会長 司法書士 澤井修司 氏	14
千葉	千葉	2023.02.02三井ガーデンホテル千葉	災害防止・BCPの重要性元千葉市消防局指揮官 牧野正信 氏	33
千葉	千葉	2022.09.16三井住友海上あいおい生命千葉第二	事業継続力強化計画認定制度セミナー三井住友海上あいおい生命 営業教育企画部 教育トレーナー室 部長 宮田 氏	11
千葉	木更津	2023.02.17東京ベイプラザホテル	1.犯罪被害者の現状及び支援活動 2.代理店支援の提案 3.コラベークショー 1.千葉県警察本部 庶務課 犯罪被害者支援室 賀川聡 氏。 2.富士フィルム（株）システムサービス3名 3.ものまね芸人 桑田真似 氏、東京弁護士会 藤本達弥 氏	40
千葉	茂原	2023.02.10あいおいニッセイ同和 茂原支社	損害代理店の安定した経営と社会的役割の発展のために兵庫県大学客員研究員 松原章 氏	70
千葉	安房	2023.02.18館山市コミュニティセンター	1.近年頻発する自然災害の傾向から考察する「備え」への考え方について 2.被災現場の実例をもとに、復旧に際して注意すべきポイント等について 1.東京海上日動火災保険(株) 千葉支店 木更津支社 支社長 長南徹 氏 2.あいおいニッセイ同和損害保険(株) 千葉損害サービス部 千葉第一サービスセンター 課長補佐 西原宗憲 氏	13
千葉	市原	2022.12.21サンプラザ市原	防犯講話総務部 危機管理課 中西 氏	9
神奈川		2023.02.14崎陽軒本店	日本損害保険協会共催「災害報道の現場と記者の本音」神奈川新聞社報道部 地域報道統括部長兼論説委員 渡辺渉 氏	39
神奈川		2022.11.21損保ジャパン 厚木市バストラビル（ハイブリッド開催）	代理店賠償セミナー「支払い事例から見る代理店賠償責任保険の必要性」日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏	86
神奈川		2022.10.24かながわ労働プラザ（ハイブリッド開催）	金融庁、保険会社意見交換会の内容について神奈川代協シニアアドバイザー 野元敏昭 氏	53
神奈川		2022.10.04かながわ労働プラザ（ハイブリッド開催）	ユニバーサルマナー検定3級株式会社ミライロー 一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会講師 薄葉ゆきえ 氏	75
神奈川		2022.08.23かながわ労働プラザ	ジギョケイ勉強会日本代協アドバイザー・代理店経営サポートデスク室長・(株)粕谷企画 代表取締役 粕谷智 氏	23
神奈川		2022.06.13損保ジャパン(株)小田原支社	クレマー・ヘビークレマー対応～大手損害保険会社苦情受付係3,144件の証言～井上久社会保険労務士・行政書士事務所 井上久 氏	30
神奈川		2022.06.08神奈川代協事務局及びWEB	保険募集人の後見人制度との向き合い方一般社団法人 後見の杜 代表 宮内康二 氏	20
神奈川		2022.05.18横浜市技能文化会館	～寄り添う保険提案～ 知らなきゃまずい公的保険 SOMPOひまわり生命保険(株) 横浜LCオフィス トレーニングマネージャー 関屋達大 氏	95
神奈川	神奈川みらい	2022.11.22神奈川代協事務局（ハイブリッド開催）	パワーハラスメント防止対策セミナーAIG損害保険（株） 中小企業セグメント営業部 リスクコンサルティングユニット チーフリクススーパーバイザー 大村健二 氏、首都圏地域事業本部 横浜支店長 相田彩子 氏	20
神奈川	県西	2022.12.08Web	公的保険セミナー～寄り添う保険提案～SOMPOひまわり生命保険（株） トレーニングマネージャー 古市菅典 氏	26
神奈川	みなと	2022.12.23ヴェルク横須賀	代理店のミライと代協の役割～10年後も選ばれる代理店であるために神奈川代協シニアアドバイザー 野元敏昭 氏	18
神奈川	横浜中	2022.12.01神奈川代協事務局（ハイブリッド開催）	保険代理店と後見人一般社団法人 後見の杜 代表 宮内康二 氏	43
神奈川	横浜中	2022.12.01神奈川代協事務局（ハイブリッド開催）	保険代理店と後見一般社団法人 後見の杜 代表 宮内康二 氏	35
山梨		2023.01.25Zoomウェビナー	サイバーセキュリティセミナー山梨県警察本部生活安全部生活安全捜査課サイバー犯罪対策室長補佐 坂本太 氏	62
山梨		2022.10.04Zoomウェビナー	「日本代協新プラン」代理店賠償責任保険オンラインセミナー日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏	77
山梨		2022.08.26Zoomウェビナー	「地震保険 損害鑑定現場からの報告」オンラインセミナー(株)中央損保鑑定 本社営業三課 課長 大上茂徳 氏	78
山梨		2022.05.25Zoomウェビナー	日本代協正会員実態調査を踏まえて、保険代理店として、あなたは何を考えますか？日本代協 常務理事 小見隆彦 氏	55

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
東京		2023.02.16オンラインセミナー	代理店経営サポートデスクの使い方の 日本代協アドバイザー（株） 粕谷企画 代表取締役 粕谷智 氏	42
東京		2023.02.07オンラインセミナー	相続に関する諸問題 -金融商品編- 税理士法人 安心資産税会計 菊池和貴 氏	93
東京		2023.01.16損保会館大会議室	運を引き寄せるコーチング WBC侍ジャパン・ヘッドコーチ 白井 幸一 氏	100
東京		2022.12.02オンラインセミナー	代理店賠償責任保険説明会 元Chubb損害保険株式会社 営業開発本部 本部長兼営業教育部長 杉山幹久 氏	191
東京		2022.11.29オンラインセミナー	活力研報告会～代理店経営に関わる手数料改定・コミュニケーションギャップを語る～ 日本代協専務理事 金澤亨 氏、日本代協企画環境委員長 松本一成 氏	67
東京		2022.11.09オンラインセミナー	相続に関する諸問題 -不動産関係編- 税理士法人 安心資産税会計 菊池和貴 氏	93
東京		2022.11.02オンライン	金融庁検査の着眼点 金融庁特別検査官 日本代協アドバイザー 成島康宏 氏	467
東京		2022.09.26損保会館 ハイブリッド	金子前日本代協会長講演会 日本代協前会長 金子 智明 氏、日本代協前専務理事 野元 敏昭 氏、東京代協会長 廣瀬城児 氏	61
東京		2022.07.06オンライン	公的保険マスターセミナー 労働保険編 ～労災保険 AIN法律事務所 成田慎治 氏	246
東京		2022.06.25オンライン	代理店賠償・事例研究会元Chubb損害保険(株) 営業開発本部 本部長兼営業教育部長 杉山幹久 氏	96
東京		2022.05.17損保会館	サイバー攻撃を知る ITジャーナリスト 三上洋 氏	100
東京	城南	2022.11.15オンラインセミナー	知らないと危険！個人情報取り扱いのルール 小林マネジメントサービス 代表 小林 富佐子 氏	40
東京	新宿	2023.03.24ビジョンセンター西新宿	人は一生100%～見える言葉の世界へようこそ！～手話パフォーマンス 東京2020パラリンピック閉会式出演 R I M I 氏	40
東京	城北	2022.12.13としま区民センター	「Z世代」社員に聞く！これからの保険代理業 あいおいニッセイ同和、損保ジャパン、東京海上日動、三井住友海上 各社員	100
東京	城北	2022.07.21としま区民センター	中小企業を教おう！コロナ融資の出口戦略のお話し 城北支部会員 丹野 一城 氏	30
東京	城北	2022.04.22としま区民センター	紹介してもらえる営業マンの習慣・普段口とは (株) カッコイイ大人 代表取締役 牛木 章太 氏	40
東京	城東	2022.11.22ハイブリッドセミナー	事業継続力強化計画認定制度セミナー～災害時の準備は出来ていますか？～副支部長（企画環境委員） 上野 功一 氏	30
東京	城東	2022.09.21タワー・ホール船堀	身近に迫るサイバーリスク ～足りない危機意識～ 副支部長（企画環境委員） 上野 功一 氏	30
東京	上野浅草	2022.12.15ハイブリッドセミナー	損保代理店は時代の孤児になるのか？ 日本代協アドバイザー 保険ジャーナリスト 中崎 章夫 氏	30
東京	中央	2022.11.08オンラインセミナー	先端的賠償責任保険 ファイナンシャル・ラインの機能と役割山越 誠司 氏	40
東京	武蔵野	2022.12.14オンラインセミナー	いまさら聞けない？まだ聞に合う？インボイス制度！ (株) クラッチパートナー 代表取締役 公認会計士 税理士 長期黒字化経営プロデューサー 糸井 健太 氏	40
静岡		2022.10.25グランシップ静岡	1～アフターコロナで生き残る～ プロ代理店のビジネススタイル変革 1.あいおいニッセイ同和損保 専業営業開発部専業営業開発室 室長 吉尾 賢一 氏、コンタクトセンター事業部 営業支援グループ 統括マネージャー 玉井 健一 氏 2.生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内 2.日本代協 理事 教育委員長 石川 英幸 氏	93
静岡		2022.05.27Zoom	最近の業界動向とプロ代理店経営の課題 -DXによる代理店価値の創造日本代協アドバイザー 保険ジャーナリスト 中崎章夫 氏	43
静岡	大井川	2022.12.12藤枝市民会館（ZOOM）	今さら聞けない！「インボイス制度」の仕組み 田中会計税理士法人 税理士 平井 俊光 氏	12
静岡	大井川	2022.08.02オンラインZOOM	持続可能な成長にSDGsをどう活用するか～SDGsの取組で新たなビジネスチャンス～	11
愛知		2023.02.27ホテル名古屋ガーデンパレス	代理店賠償支払い事例から学ぶ～保険業法違反への落とし穴～Chubb損害保険（株） 日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	99
愛知		2023.01.30ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋	経営は自己責任CoCo巻留元会長 宗次徳二 氏	180
愛知		2022.11.18 J Rゲートタワーカンファレンス	1.ITを活用した事業効率化「～幸せをつかみ取るためには～」 1.厚切りジェイソン 氏 2.異常気象と環境問題「～どうなる地球温暖化～」 2.気象予報士 森田 正光 氏	105
愛知		2022.10.21豊橋市民センター カリオンビル	記憶力を飛躍させる秘訣ラッキーブレインズ（株） 澤村比呂志 氏	60
愛知		2022.06.22ウイंकあいち	1～アフターコロナで生き残る～代理店のビジネススタイル変革 1.あいおいニッセイ同和損保 執行役員 中部リテール担当 原直人 氏 2.生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内 2.日本代協理事 教育委員長 石川英幸 氏	360
岐阜		2023.02.17メディアコスモス スタジオA	モビリティの最新動向と新たなリスクMS&ADインターリスクリサーチ（株） 増田藍 氏	25
岐阜		2022.12.09クインテッサホテル大垣	岐阜県代協 提携弁護士によるセミナー-渡部法律事務所 弁護士 渡部智也 氏	28
岐阜		2022.11.11WEB	代理店賠償セミナー 保険代理店の賠償責任と最近の事故事例日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏	66
岐阜		2022.07.25みんなの森 ぎふメディアコスモス	保険プロ代理店向けセミナー-あいおいニッセイ同和損保 執行役員 原直人 氏、日本損害保険代理業協会 教育委員長 石川英幸 氏	163

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
三重		2023.03.06アスト津 アストプラザ	1.代理店業務効率化のポイント 1.あいおいニッセイ同和損保 専業営業開発部 プロ支援グループ 山口浩一 氏 2.代理店経営に資するメンタルヘルスの取組について 2.アイエムエフ (株) 大塚博己 氏 3.生き残りに向けた日本代協各種サービスのご案内 ①代理店賠償 ②日本代協アカデミー ③質疑応答 3.日本代協理事 教育委員長 石川英幸 氏	70
三重		2023.01.18ZOOM開催	明日、あなたも訴えられる！～代理店の為の保険、自らの賠償責任保険、はいつまでか？～日本代協新プラン委託講師 杉山幹久 氏	141
三重		2022.10.27三重県教育文化会館	1.災害前に備えるべき自助・共助 1.ファイナンシャル・プランナー 川端康成 氏 2.BCP策定支援について 2.三井住友あいおい生命保険 (株) 三重生保支社 支社長代理 酒匂俊哉 氏	69
三重		2022.05.27アスト津 アストホール	1.今、保険代理店に求められる取組 1.元銀行特別監査官・日本代協アドバイザー 成島康宏 氏 2.保険代理店における体制整備 2. (株) ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング (NFC社)	83
三重	桑員	2022.11.21桑名市商工会議所	「アルコールチェック義務化」についての勉強会三井住友海上火災保険 (株) 営業推進部 部長 藤田大輔 氏	12
三重	四日市/鈴鹿	2022.12.16四日市商工会議所	アルコールチェック義務化について三井住友海上火災保険 (株) 奥村貴也 氏	28
三重	四日市	2022.09.22四日市商工会議所	ヤクルト健康セミナー 「眠れていますか？より良い睡眠のための健康管理」 (株) ヤクルト東海 すこやかマスター 高城栄 氏	26
三重	四日市	2022.07.22四日市商工会議所	体制整備セミナーニュートン 坂田 氏	16
三重	津/松阪	2022.12.14第一ビル 会議室	防災・減災への取り組みについて津市長 前葉泰幸 氏	31
三重	松阪	2022.09.07ワークセンター松阪	ほめちぎるドローン教室ドローン体験会&説明会大東自動車グループ ほめちぎるドローン教室 中谷太一 氏	13
三重	伊勢志摩	2022.10.21伊勢市労働福祉会館	「SDGs de 地方創生」カードゲーム体験会東京海上日動火災保険 (株) 伊勢支社 松原隆一 氏	30
北陸		2023.01.24福井市地域交流プラザ 及び Zoom	代理店賠償セミナー ～代理店賠償支払い事例から学ぶ保険業法違反への落とし穴～Chubb損害保険(株) 日本代協新プラン委託講師 山本高久 氏	243
富山		2022.08.26富山県代協事務局	「火災保険の改定」webセミナー各保険会社ご担当者さま	55
石川		2023.02.22ホテル金沢	大変革時代に知るべき3つのこと認定NPO法人 Ver5.0 代表理事 菅谷亮介 氏	78
石川		2022.05.27石川県地場産業振興センター (HB)	お客様の心をフツフツとさせる代理店経営と仲間作り一般社団法人日本損害保険代理業協会 理事・組織委員長 中島克海 氏	46
福井		2022.05.26福井市地域交流プラザ601BC	1.映画「おしよりん」製作で見つけたモノづくり福井 1.映画プロデューサー 川口浩史 氏 2.座談会 2.日本損害保険代理業協会 専務理事 野元敏昭 氏	28
近畿		2022.12.13キャンパスプラザ京都	1.代理店賠償セミナー 1.Chubb損害保険 (株) 日本代協新プラン 委託講師 山本 高久 氏 2.会員特別セミナー 2.日本損害保険代理業協会 理事 組織委員長・ (株) 集成社 代表取締役社長 藤山 裕介 氏	131
近畿		2022.09.16キャンパスプラザ京都	ポイント制度を考えるセミナー代協会員他	35
滋賀		2023.01.16クサツエストピアホテル	今、保険代理店に求められる取組とは ～ミニマムスタンダード実践の重要性～元金融庁特別検査官 日本代協アドバイザー 成島康宏 氏	62
滋賀		2022.05.26クサツエストピアホテル	社長の伝え方には会社を変える力がある (株) トークナビ 代表取締役 樋田かおり 氏	57
滋賀	湖東湖北	2022.10.26損害保険ジャパン (株) 彦根保険金サービス	1.地震保険制度とその現状について ー地震保険の加入と促進についてー 1.一般社団法人日本損害保険協会 近畿支部 主査 村井康人 氏 2.交通事故 効果的な弁済の活用 2.弁護士 里内博文 氏	26
滋賀	湖西湖南	2022.10.11クサツエストピアホテル	保険業界の潮流と保険代理店業績アップの3つの選択肢 (株) 船井総合研究所 第一経営支援本部 インシュアランス部 シニアコンサルタント 岩邊久幸 氏	58
京都		2022.12.09福知山市防災センター	水圧体験車、煙体験室、消火体験など災害を疑似体験、災害に遭遇した時の命を守るための手段や知識等 防災センター職員	17
京都		2022.05.25リーガロイヤルホテル京都	あきらめない人生(株)TESS 代表取締役 鈴木聖之 氏	82
奈良		2023.01.18橿原神宮 儀式殿	2022年度トータルプランナー認定者記念品贈呈式 本殿正式参拝 2023年新春セミナー(講話) 橿原神宮祭儀部長 福宜 長倉健一 氏	38
奈良		2022.09.02大和信用金庫八木支店会議室	奈良県代協新入会員オリエンテーション&最新医療情報「奈良県初の幹細胞を用いた再生医療」 新入会員オリエンテーション 日本代協 近畿・阪神担当理事 小橋信彦 氏 最新医療情報セミナー グランソール奈良 再生医療課 数内直樹 氏、iPS細胞センター 前田尚宏 氏	41
奈良		2022.05.27ホテル日航奈良	笑いの中に学びがある！「みるみるファンが増えていく！接客×笑いの法則&クレームにならない接客術」怒りを笑いに変えるクレーム・コンサルタント 日本クレーム 対応協会 代表理事 谷厚志 氏	41
阪神		2023.02.06オンライン (Zoomミーティング)	近畿・阪神合同ブロックCSR委員メンバーによる「ほうさい探検隊第20回記念セミナー」日本損害保険協会 田中英夫事務局長、日本代協CSR委員 西川秀俊 氏 他 近畿・阪神ブロックCSR委員長	75
阪神		2022.07.12オンライン	公的保険「説明義務は生保増収のチャンス!!」無料オンラインセミナー(社) 公的保険アドバイザー協会代表理事・名案企画(株)土川尚己 氏	339
大阪		2023.03.24オンライン (Zoom)	1.2023年度の展望・金融庁と全国会長意見交換会報告 1.大阪代協会長 新谷香代子 氏 2.第2回活力ある代理店制度等研究会(活力研) 報告 2.日本代協副会長 山中尚 氏 (動画・日本代協金澤専務) 3.政治連盟の真実を語る 3.政治連盟会長 小平高義 氏	70
大阪		2023.03.06イオンコンパ会議室	事業継続力強化計画認定取得 セミナー日本代協アドバイザー 粕谷智 氏	33
大阪		2023.02.20Web(Zoom)+YouTube	広げよう、土業とのネットワークひびき不動産鑑定(株)不動産鑑定士 中村光伸 氏	42
大阪		2023.01.25事務局+Webハイブリッド	まると解決！サイバーリスク 中小企業にフォーカスしたー脅威の実態から販売手法までー 1.商工会議所 経営情報センター 課長 野田幹稀 氏 2.大分県代協理事 今徳良 氏	279

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
大阪		2022.12.01YouTube (動画3本)	「大阪府建築防災啓発員」資格取得セミナー 確認テスト合格者には「大阪府建築防災啓発員認定証」を発行大阪府 都市整備部 事業調整室 都市防災課 密集市街地対策グループ 職員3名	83
大阪		2022.08.25Web	代理店賠償「体制整備と代理店の賠償責任」日本代協新プラン委託講師 杉山幹久氏	369
大阪		2022.08.05オンライン	大阪代協LiveステーションVol.1大阪代協会長 新谷香代子氏、日本代協副会長 山中尚氏、大阪代協副会長 2名、各委員長 5名	65
大阪		2022.05.24毎日新聞オーパルホール	大阪代協創立60周年記念セミナー「保険特集の裏側と経済誌記者から見た今後の保険業界」(株)ダイヤモンド社ビジネスメディア編集局ダイヤモンド編集部編集委員 藤田章夫氏	160
大阪	東	2022.07.26Web	ドローン利活用と備えるべきリスクマネジメントSONPOリスクマネジメント(株) 山本匡氏	21
大阪	東	2022.04.26Web	「保険代理店WebDMサービス」DM販促を通じたお客様との接点強化を図る富士フィルムシステムサービス 水戸氏	17
大阪	北大阪/船場	2023.02.22Web	「民間調停」を学ぶWebセミナー大阪弁護士会所属ADR推進特別委員会 委員長 山川良知弁護士	89
大阪	南	2023.02.22阿倍野市民学習センター	財務を楽しく学ぶ!「財務・決算書の基本のき」(有)ブラネット 代表取締役 井川清廣氏 (南支部正会員)	30
大阪	南	2022.11.24東京海上日動藤井寺支社+WEBの	自分と人生を変える方法!スタンフォード大学が開発した驚きの習慣化メソッド(株)Ungap 代表取締役 鈴木豪氏	23
大阪	南	2022.06.23オンライン	「車買取サービスの概要、近況について」メリットと様々なクルマの悩みについて紹介株式会社JCM 永井悠樹氏	19
大阪	北摂	2022.10.21イオンコンパス貸会議室	大切なものは目に見えない～幸せに生きる秘訣～市立豊中病院総長 大阪大学名誉教授 吉川秀樹氏	48
大阪	船場	2023.03.22大阪代協会議室 (Web/ハイブリット)	税制改正について、相続について日本生命保険相互会社 代理店担当営業課長 木村寛史氏	16
大阪	船場	2022.11.17大阪代協会議室+WEBのハイブリット	サイバー保険と現在の世の中の流れ(株)フォーバル 山口浩之氏	14
大阪	船場	2022.09.26大阪代協会議室 (Zoom/ハイブリット)	営業組織向け成果を出す会議の進め方(株)識学 大阪営業部大阪2課シニア講師 濱中圭介氏	89
大阪	船場	2022.07.25オンライン	豪雨災害の季節への備え・火災保険金請求をビジネスとする業者対策東京海上日動火災保険(株)関西損害サービス第二部火災損害課担当次長 気象予報士 炭谷隆太氏	90
大阪	船場	2022.06.27事務局会議室	法人保険が経営者様のお役に立てるポイント日本生命保険相互会社 木村寛史氏	12
大阪	船場	2022.04.26大阪代協会議室とZoomのハイブリット	ながらく続いている低金利時代に、如何に資産形成を行わべきか?「企業型DC」確定拠出年金の解説(株)財ヘッジ 代表取締役 楠尾誠司氏	13
大阪	堺	2022.04.26Web	「保険代理店WebDMサービス」DM販促を通じたお客様との接点強化を図る。富士フィルムシステムサービス 水戸氏	30
大阪	和泉	2023.03.02岸和田市立浪切ホール研修室	虐待・貧困から子供たちを救う吉田・西枝法律事務所 弁護士 清水周氏	15
兵庫		2023.01.26ホテルクラウンパレス神戸 マーカス	新春セミナー「金融庁の検査・監督の動向」～代理店に求められているものは?～元金融庁監督局特別検査官 日本代協アドバイザー 成島康宏氏	61
兵庫		2023.01.13レンタルスペースジェム	「社長の為のゼミナール」第7期生 経営指針発表会 (有) 神戸経営支援センター 藤本秀俊氏	8
兵庫		2022.10.14Zoomウェビナー+レンタルスペースジェム	代理店賠償「日本代協新プラン」オンラインセミナー日本代協新プラン委託講師 杉山幹久氏	50
兵庫		2022.07.07兵庫県代協事務所	「社長の為のゼミナール」第7期生～ブランド化を意識した経営指針、事業継承を意識した作り方勉強会～(期間 2022.7.7～2022.12.7) (有) 神戸経営支援センター代表 藤本秀俊氏	24
兵庫		2022.06.03レンタルスペースジェム 会議室	「社長の為のゼミナール」第7期生オープンセミナー～社長一人が奮闘しているのは「将来のあるべき姿を描いた軽視指針」が無いからです～(有) 神戸経営支援センター代表 藤本秀俊氏	12
兵庫		2022.04.22貸会議室レンタルスペースジェム	『日本代協アカデミー』を知る＆使い方教室兵庫県代協 教育委員長 岡田幸男氏	6
兵庫	阪神/神戸/姫路	2023.02.17レンタルスペースジェム	異常気象に備える!～天気図から読み取る自然災害の備え方～キャスター・気象予報士・防災士 正木明氏	78
東中国		2022.06.24岡山シティミュージアム・ 米子コンベンションセンター ビックアップ	1.支払い現場から見た特定修理業者の現状 1.損害保険ジャパン(株) 中国保険金サービス第二部岡山火災新種保険金サービス課 吉川俊之氏 2.代理店賠償セミナー 2元Chubb損害保険(株)営業開発本部本部長兼営業教育部長 杉山幹久氏	102
岡山		2023.01.20岡山国際交流センター (Zoom/HB)	公的保険 令和4年 改正ポイント解説岡山県社会保険労務士会副会長 神田豪氏	41
岡山		2022.05.27アークホテル岡山	人生折り返しこれからを楽しく生きるオフィス All for one 代表 安村隆子氏	75
岡山	岡山東/岡山西 /岡山南	2022.12.02ビュアリテリマきび WEB (Zoom)	1.使用者賠償責任保険について 2.雇用慣行賠償責任保険について 3.相続不動産関連法の改正について岡山県代協 顧問弁護士 財津唯行氏	53
岡山	岡山東	2022.09.09岡山保険センター会議室 (WEB併用)	防災減災 ハザードマップの活用とマイタイムラインの作成国土交通省岡山河川事務所 水杉恭将氏	25
岡山	岡山東/岡山西 /岡山南	2022.06.22(株)岡山保険センター会議室 ZOOM併用	サイバーセキュリティセミナー 1.サイバー犯罪の情勢・対策の講話 2.サイバー犯罪被害の体験・デモンストレーション岡山県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課 課長補佐 角南和正氏	30
岡山	岡山南	2023.02.24損害保険ジャパン 岡山支店	人生を笑顔で送る生き方 (通き方) ～自分にとって本当に大切な終活とは～(一社) おかやまスマイルライフ協会 代表理事 川上 恵美子氏	20
岡山	岡山南	2022.09.16損害保険ジャパン 岡山支店	介護社会の現状について(株)アールケア 代表取締役 山根一氏	18
岡山	倉敷北/倉敷南	2023.02.13三井住友海上 倉敷支社	使用者賠償責任保険について・雇用慣行賠償責任について・土地相続に関する税法改定について岡山県代協 顧問弁護士 財津唯行氏	9
岡山	倉敷北	2022.11.11ホテル1-2-3倉敷	代理店合併の実情について～代理業協会だからこそ聴ける合併の真実、オブラートってなに!?～ドライブサポート (株) 代表取締役 山本高弘氏、ONE WEST (株) 代表取締役 栗宏行氏	14
岡山	倉敷北	2022.09.14三井住友海上 倉敷支社	SDGsから学んで「地域と共に歩む持続可能な損害保険代理店を目指す」～SDGsウォッシュ (ごまかし、嘘つき) にならないために～(第二回) 意識改革研究所 代表 栗宏行氏	8
岡山	倉敷北	2022.07.20損害保険ジャパン倉敷支社	SDGsから学んで「地域と共に歩む持続可能な損害保険代理店を目指す」～SDGsウォッシュ (ごまかし、嘘つき) にならないために～(第一回) 意識改革研究所 代表 栗宏行氏	17

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
岡山	津山	2022.11.05津山圏域雇用労働センター（Zoom）	1.社員から見る、魅力的な経営者の「真のリーダーシップとは」 1.株式会社あつまる 働きがい研究所所長 田村 聡 氏 2.「組織の活性化 若手人材の登用と次世代の育成」 2.株式会社シーズ 代表取締役 平川 清高 氏 3.「代理店のミライと代協の役割」 3.株式会社粕谷企画 シニアエキスパート 野元 敬昭 氏	10
岡山	津山	2022.07.22津山市総合社会福祉会館（Zoomと	これが不当要求、県北の暴力団情勢について！！岡山県暴力追放運動推進センター津山 山本定夫 氏	32
鳥取		2022.09.22鳥根県協共催 米子市文化ホール	保険代理店の「これまでの10年・これからの10年」日本損害保険代理業協会 名誉会長 金子 智明 氏	34
島根		2023.01.27松江エクスセルホテル東急	損害業界の歴史と代理店の今後の展望日本代協 副会長 山中 尚 氏	44
島根		2022.10.14松江デルサ	サイバーセキュリティ対策セミナー島根県警察本部 サイバーセキュリティ対策係	38
西中国		2023.02.09あいおいニッセイ同和損保 広島支店	保険代理店における生産性向上セミナー 主催：西中国ブロック協議会 共催：あいおいニッセイ同和損保あいおいニッセイ同和損保 広島支店 支店長 毛利 成 氏	45
広島		2022.11.07リーガロイヤルホテル広島	70周年記念事業 保険の月セミナー記念講演「公的保険入門セミナー」一般社団法人 公的年金アドバイザー協会 理事 山中 伸枝 氏	74
広島		2022.05.26RCC文化センター（WebHB）	中国地方の地震と活断層（日本損害保険協会 中国支部共催）広島大学森戸国際高等教育学院 特任教授 奥村 晃史 氏	70
広島	広島中央	2023.02.14広島まちづくり市民交流プラザ	『保険会社出資代理店』を知らうセミナー各保険会社出資代理店主（3社）	27
広島	広島中央	2022.07.05共栄火災 中国支社 及びZOOMウェ	1.『日本代協アカデミー』セミナー 2.YouTube『日本代協アカデミー』Webセミナー視聴1.広島県代協 教育委員長立花 健治 氏	26
広島	福山	2022.12.07損保ジャパン 尾道支社	がんと腸子線治療について一般社団法人メディボリス医学研究所メディボリス国際腸子線治療センター 部長 田中 耕太郎 氏	25
山口		2023.02.21WEBセミナー（Zoom）	保険代理店の賠償責任と最近のトラブル事例元Chubb損害保険（株）営業開発本部長 杉山 幹久 氏	47
山口		2022.08.26Webセミナー（Zoom）	中小企業強靱化法「事業継続力強化計画」の概要と取得メリット三井住友海上あいおい生命保険（株）営業教育企画部 部長 倉田 宏治 氏	10
山口	山口	2022.11.24防長苑	気合や根性はいらない！目標達成の技術モチベーションカレッジ 代表 川島 乃 氏	27
山口	周南	2023.03.14周南市賑わい交流施設	サイバーセキュリティについてSOMPOリスクマネジメント(株)サイバーセキュリティ事業本部サービス推進部 西出 三輝 氏	15
四国		2022.11.25WEB	代理店賠償セミナー-Chubb損害保険（株）代理店賠償専任講師 山本 高久 氏	100
徳島		2023.02.25ホテルサンシャイン徳島アネックス	事業継続力強化計画セミナー-東京海上日動火災保険（株）支社代理 岡崎 文弘 氏	20
徳島		2023.01.20ホテルサンシャイン徳島アネックス	医療機関に相次ぐサイバー被害 ～半田病院の経験に学ぶ 現場とは～徳島県立半田病院 つるぎ町病院事業管理者 須藤 泰史 氏	43
愛媛		2023.01.20ホテルマイステイズ松山	地域の未来と代理店のみらい（株）粕谷企画 代表取締役 粕谷 智 氏	36
愛媛		2022.09.30WEBセミナー	交通事故紛争と刑事事件/労災事件 しろやま法律事務所 弁護士 古澤 康治 氏・赤瀬 慧 氏・山下 祐平 氏	67
福岡		2023.02.09三井住友海上北九州支店・エーるび	ジギョケイセミナー・ワークショップ（9～10日）三会場で実施日本代協アドバイザー 粕谷 智 氏	50
福岡		2023.01.26アークホテルロイヤル福岡天神	シン保険代理店！視界不透明な保険業界の中で代理店が向かう未来とは？（株）ダイヤモンド社 ビジネスビジネスメディア編集局 ダイアモンド編集部 編集委員 藤田 章夫 氏	233
福岡		2022.09.02ウェビナー開催	代理店賠償セミナー元Chubb損害保険株式会社営業開発本部長 杉山 幹久 氏	281
福岡		2022.05.23アークホテルロイヤル天神	金融庁検査の着眼点元金融庁特別検査官 成島 康弘 氏	433
福岡	福岡東/福岡西	2022.12.01石蔵酒造 百年蔵	100年企業をめざして石蔵酒造（株）代表取締役 石蔵 利正 氏	66
福岡	福岡東	2022.08.30損保ジャパン 福岡支店	サイバー攻撃の実態と予防策トレンドマイクロ（株）公共ビジネス本部 医療担当マネージャー 黒木 哲光 氏	41
福岡	福岡西/北九州	2023.02.10レストランザ・ハウス・オブ・リン	交通事故事案における弁護士との役割・使い方古野法律事務所 弁護士 古野 浩一 郎 氏	30
福岡	福岡西	2022.10.27中国菜館 福新楼	インボイス制度を正しく理解していますか？藤川 税理士、寺嶋 支店長	30
福岡	福岡南	2022.12.09春日グローバルプラザ	インボイス制度とは？（株）保険プラザ・福岡西支店長 寺嶋 義人 氏、藤川 税理士	31
福岡	福岡南	2022.07.22春日グローバルプラザ	アルコールチェック義務化に伴う体制整備弁護士法人たくみ法律事務所 弁護士 小林 由佳 氏	27
福岡	久留米	2023.02.13ホテルニュープラザ久留米	人材採用と人事考課（株）さくら保険 代表取締役 原 弘文 氏、（株）ライフ・ワーク 代表取締役 吉田 正太 氏	40
福岡	久留米	2022.12.19ホテルニュープラザ久留米	代理店が備えておくべき『インボイス制度』田中 憲治 税理士	49
福岡	久留米	2022.07.22ホテルニュープラザ久留米	保険代理店の未来を継承する心構え(有)保険ネットワーク 代表取締役 宮 地寛 氏	35
福岡	久留米	2022.04.25ホテルニュープラザ久留米	一滴の尿からがんを検知（株）HIROTSU/バイオサイエンス 営業グループ長 小林 晴寛 氏	30
福岡	筑豊	2023.01.27バドウル・コトブキ	飲酒運転の現状と道路交通法改正後の地元企業の動向福岡県警察本部警察署 交通総務係長 貝田 剛紀 氏	30
福岡	北九州西	2022.08.24レストランザ・ハウス・オブ・リン	地域を代表する存在になるためのSDGs 三井住友海上保険（株）営業推進部長 岸本 英樹 氏	18
大分		2023.01.20JCOMホール大分	経営強化の国策！中小企業強靱化法 事業継続力強化計画支援セミナー三井住友海上あいおい生命保険（株）営業教育企画部 教育トレーナー 室 八木 昭憲 氏	30
大分		2022.05.19大分県労働福祉会館 ソレイユ（ハイブリッド）	代理店のミライを考える～10年後もお客さまに選ばれるために～日本代協 専務理事・事務局長 野元 敬昭 氏	50
佐賀		2022.11.25メートプラザ佐賀 多目的ホール	この時代に生きている私たちに必要なSDGs一般社団法人佐賀県産業資源循環協会青年部会 会長 谷田 将拓 氏	60
長崎		2023.01.26webセミナー（Zoom）	第2回オンライン de なんでも相談会長崎県代協役員4名	40
長崎		2022.05.27長崎新聞文化ホールアストピア	保険代理店の現在と未来～生き残る代理店であるために～(株)ライフプラザパートナーズ 執行役員 上 鹿 源達 夫 氏	80

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
		会場		
宮崎		2023.01.12ニューウェルシティ宮崎	新春セミナー「転んでも踏まれても立ち上がり！」世界陸上競技選手権大会 金メダリスト保持者 谷口浩美 氏	70
宮崎		2022.09.09アートホテル宮崎スカイタワー	インボイス制度の概要 遠山税理士事務所 税理士 遠山喜一郎 氏	41
宮崎	県北	2022.11.11門川クリエイティブセンター	県北支部セミナー メディポリス医学研究センター 講師 田中室長	17
宮崎	県北	2022.09.09門川勤労者総合福祉センター	脱、専業代理店からのリノベーション 稼く経営(有)のだ保険事務所 代表 野田良佑 氏	30
宮崎	県北	2022.07.08門川クリエイティブセンター	認知症ケアについてのセミナー ケアプランセンター ひなた 春日浩 氏	14
熊本		2022.07.21メルパルク熊本（Z o o m併用）	水害に関する情報取得について 国土交通省 九州地方整備局 中尾昌樹 氏	50
熊本		2022.07.21メルパルク熊本（Z o o m併用）	本気で事業継続力強化計画を策定しよう（株）インターリス্ক総研 岡原行利 氏	50
熊本		2022.05.20 A N A クラウンプラザホテル熊本二	代理店のミライを考える～遠きをはかり今でることから取り組む～日本損害保険代理業協会 専務理事 野元敏昭 氏	40
鹿児島		2023.02.03損害保険ジャパン 鹿児島支店	保険代理店の賠償責任と最近の事故例！元Chubb損害保険株式会社 杉山幹久 氏	40
沖縄		2023.01.25沖縄県青年会館	保険代理店にとってのインボイス制度とは有銘寛之 氏	39

人材育成研修会

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数(名)
		会場		
北海道		2022.09.30ホテルライフォート札幌	1.一般社団法人の社会的役割について・日本代協の現状と課題 2.金融庁検査にかかわる最新情報・組織の活性化・今後の代理店のデジタル化 1.日本代協相談役 山口史朗 氏 2.日本代協副会長 中島克海 氏	29
北東北		2022.09.22ホテルエース盛岡（Z o o mオンライン配信有）	21世紀の保険代理店を考えよう～事業の再定義とマーケティングの方向性～静岡県立大学経営情報学部教授 地域経営研究センター長・日本代協アドバイザー 岩崎邦彦 氏	53
南東北		2022.10.07山形国際ホテル	「サイバー犯罪の現状」山形県警察本部生活安産部サイバー犯罪対策課 武田祐二 氏 分散会：企画環境・教育・組織・CSR委員会	30
上信越		2022.07.15ホテル木暮	日本代協の現状と課題日本代協 副会長 小侯藤夫 氏	27
東関東		2022.11.11クロス・ウェーブ幕張	1.日本代協の現状と課題 2.代理店のミライと代協の役割 3.代理店のミライと代協の役割について（グループ討議） 4.グループ討議発表日本代協 地域担当理事 雨宮 豊氏 代理店経営支援アドバイザー 野元 敏昭氏（日本代協 元専務理事）	20
南関東		2023.02.17ホテル談露館	1.「代協活動の現状と課題」Just Do It 2.損保業界の歴史と代理店の今後の展望 1.日本代協副会長 小侯藤夫 氏 2.日本代協副会長 山中尚 氏	34
東京		2022.10.21損保会館	・代協活動の現状と課題 ・海外における危機管理体制の構築とサポート 東京代協 城北支部 教育委員 大橋徹也 氏 安全サポート（株）有坂謙成 氏	30
東海		2023.02.03-04THE HAMANAKO	「若手集合_組織活性化」 日本代協理事 組織委員長 藤山裕介	13
三重		2022.10.19第一ビル	正副支部長オリエンテーション	24
三重		2022.10.12第一ビル	正副委員長オリエンテーション	21
北陸		2022.12.23福井パレスホテル	これからの代理店経営 ～顧客本位の業務運営と経営力の向上を目指して～ 一般社団法人日本損害保険代理業協会 専務理事 金澤亨 氏	24
北陸		2022.12.22福井パレスホテル	日本代協が描く代理店の未来一般社団法人日本損害保険代理業協会 会長 小田島綾子 氏	49
近畿		2022.11.30クサツエストピアホテル	1.代協の現状と課題 2.代理店の存在価値と将来像 1.日本代協副会長 小侯藤夫 氏 2.日本代協理事 小橋信彦 氏	30
大阪		2022.06.09オンライン	委員オリエンテーション「なぜ私たちに代協が必要なのか？」日本代協副会長 山中尚 氏、大阪代協会長 新谷善代子 氏	80
東中国		2022.11.05津山圏域雇用労働センター（Zoom）	1.社員から見る、魅力的な経営者の「真のリーダーシップとは」 2.「組織の活性化 若手人材の登用と次世代の育成」 3.「代理店のミライと代協の役割」 1.株式会社あつまる 働きがい研究所所長 田村楓 氏 2.株式会社シーズ 代表取締役 平川清高 氏 3.株式会社粕谷企画 シニアエキスパート 野元敏昭 氏	33
西中国		2022.10.28広島県立総合体育館	「未来」とミライ粕谷智 氏	58
九州北		2023.02.17-18HOTELシーサイド島原	「代理店のミライと代協の役割」代理店経営支援アドバイザー 野元 敏昭氏（日本代協 元専務理事）	50

新入会員オリエンテーション

主催		開催年月日	演題と講師	参加者数(名)
		会場		
北海道	札幌	2022.07.12ホテルライフオート札幌	新入会員オリエンテーション 札幌支部各委員会メンバー	20
北海道	函館	2022.09.12ホテル法華クラブ函館	新入会員オリエンテーション 日本代協、北海道代協、函館支部についての説明函館支部幹事役員	14
やまがた	庄内酒	2023.02.01新入会員事務所（ホンマ保険）	新入会員オリエンテーション庄内酒田支部長	2
やまがた	庄内酒田	2022.04.15新入会員事務所（㈱永田プロダクツ）	新入会員オリエンテーション庄内酒田支部長	2
福島		2023.01.24郡山市労働福祉会館（オンライン）	1.福島代協および収益事業について 2.セミナー「一般社団法人の会計の特徴」 1.福島代協 各委員会担当委員長 2.さくら会計 税理士加藤英夫 氏	30
神奈川		2022.11.21損保ジャパン 厚木市バストラルビル（ハイブリッド）	会員オリエンテーション神奈川代協 役員	86
山梨		2022.08.26Zoomミーティング	2022年度新入会員オリエンテーション山梨代協組織委員長 堀山靖之 氏、山梨代協役員	4
愛知		2023.03.15ホテル名古屋ガーデンパレス	1.日本代協の歴史・役割・組織について 2.愛知県代協の活動状況について1.日本代協 組織委員長 藤山裕介 氏 2.愛知県代協 会長 橋本浩 氏	42
三重		2023.02.24 第一ビル	新入会員オリエンテーション 1.代協の組織と活動内容、3.支部活動、4.日本代協アカデミー、5.政治連盟1.三重県代協 片岡専務理事、2.三重県代協 稲垣教育委員長、伊藤広報委員長・藤岡組織財務委員長・葛原副会長（企画環境委員長代理）・石川CSR委員長・乾総務委員長、3.三重県代協 斎藤四日市支部長・中川鈴亀支部長・森津支部長（対象支部長のみ）4.三重県代協 稲垣教育委員長、5.三重県代協 田中監事	33
大阪	北大阪	2022.07.08新入会員事務所	会員が利用できることなど、新入会員オリエンテーション	2
大阪	南	2023.03.24ホテルアゴーラエージェンシー	「新入会員オリエンテーション」代協の魅力を話す。（新入会員：HMA C様）支部長・組織委員	3
大阪	南	2023.02.09新入会員事務所（ナカハラサトシ様）	大阪代協ホームページを利用したオリエンテーション南支部支部長・組織委員	3
大阪	南	2022.10.05飲食店	新入会員オリエンテーション（会員が利用できることなど、魅力ある代協を説明）南支部支部長	2
大阪	北摂	2023.03.28飲食店（新入会員：高槻都市開発様）	会員が利用できることなど、代協の魅力を説明北摂支部組織委員	2
大阪	船場	2023.01.16新入会員事務所（アライアンスインシュアランス様）	代協組織とメリットなど代協の魅力を説明船場支部組織委員	2
大阪	船場	2023.01.13新入会員事務所（クライム様）	会員が利用できることなど、代協の魅力を説明船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.12.19新入会員事務所（インヴェイト）	会員が利用できることなど、代協の魅力を説明船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.12.16新入会員事務所（ウイング様）	「代協活動の現状と課題」をもとにオリエンテーションを実施船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.11.22新入会員事務所（パールオーシャン様）	代協の魅力について船場支部組織委員	3
大阪	船場	2022.11.18新入会員事務所（坂井モータース様）	代協の魅力について船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.11.17大阪代協会議室	代協の魅力を伝える（新入会員：アバンス様）船場支部長・組織委員	7
大阪	船場	2022.11.07新入会員事務所（みなさまの保険様）	新入会員オリエンテーション船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.06.14損保ジャパンビル	新入会員オリエンテーション（関西保険企画様）船場支部組織委員	2
大阪	船場	2022.06.03新入会員事務所（北摂オート様）	新入会員オリエンテーション船場支部組織委員	3
大阪	船場	2022.04.04損保ジャパンビル	新入会員オリエンテーション（浪花殖産）船場支部 副支部長	2
大阪	東大阪	2022.10.21新入会員事務所（ハイフィールドオフィス様）	新入会員オリエンテーション（「代協活動の現状と課題」をもとに代協の魅力を説明）東大阪支部長・組織委員	3
大阪	堺	2022.10.18新入会員事務所	新入会員オリエンテーション（ドリームライフ総合保険様）副支部長・組織委員	4
大阪	和泉	2022.11.01新入会員事務所	新入会員オリエンテーション（組織内容・提携事業等を説明）和泉支部支部長	2
兵庫		2022.11.25レンタルスペースジエム	1.日本代協と兵庫県代協～代協活動の現状と課題、2.政治連盟の意義と活動、3.各委員会の活動について会長、各委員長、専務理事、相談役	10
広島	広島北	2022.11.15広島市安佐南区総合福祉センター	「代協活動の現状と課題」2022年度版のポイント広島県代協 監事 吉山忠秀 氏	8
山口	下関	2022.06.24下関市幸町労働福祉会館	新入会員オリエンテーション下関支部長 森脇 氏	4
佐賀		2022.09.02唐津市民交流プラザ	2022年度会員オリエンテーション「代協の現状と課題」及び「グループディスカッション」	22
宮崎		2022.09.09アートホテル宮崎スカイタワー	1.「日本代協・宮崎県代協について説明」 2.各種委員会活動説明（2022年度事業計画）1.高石会長 2.企画環境委員会 田中副会長、教育委員会 徳丸副会長、組織委員会 小川副会長、事業広報委員会 高山副会長、CSR委員会 中村副会長、事務局 畠中常務理事 岩本常務理事	20
鹿児島		2022.11.11あいおいニッセイ同和	日本代協と鹿児島県代協について ・県代協事務局より ・代協活動について先輩の経験談 ・鹿児島県代協各委員会・各支部の事業報告 ・提携企業、団体からのPR	19

公開講座

主催		共催後援	開催年月日	演題と講師	参加者数 (名)
			会場		
北海道			2023.01.20ホテル ライフオート札幌	災害等に便乗した特定修理業者による不正請求トラブル-適格消費者団体の現状と課題を兼ね 適格消費者団体 特定適格消費者団体 特定非営利活動法人 消費者支援ネット北海道理事長 松久三四彦氏	110
北海道	函館		2022.11.11ホテル法華ク ラブ函館	専門用語を使わない みんなのサキヨミ相読講座 ～「お金」をかけない準備と「迷惑」をかけない方法～(一社)日本相読知財センター本部・専務理事 鹿内幸四郎氏	72
上信越		日本代協上信越ブロック協議会・ 日本損害保険協会関東支部群馬損 保会 共催	2022.10.04前橋デルサ	大規模災害に学ぶこれからの地域防災、コロナ禍における避難の対応東京大学大学院情報学環特任教授 日本災害情報学会会長 片田敏孝氏	107
群馬	桐生	主催 群馬代協 桐生支部 協賛 群馬代協	2023.02.15桐生商工会議 所	1.「防犯ブザーの救急的活用」と「救急車の適正利用について」 2.「SDGsを越えて」～サステナブルな経営を考える～ 1.桐生消防本部桐生消防署 2.吉本興業 アンカンミンカン 富所哲平氏	35
東京			2022.11.26Youtube	ビル火災坂口隆夫氏	1000
東海		東海ブロック協議会	2022.09.21ぎふ清流文化 プラザ長良川ホール	働き方改革で自分らしい生き方をするために吉川美代子氏	167
富山			2022.06.03ラポール小杉	サイバー犯罪の現状と対策富山県警察本部生活安全部 サイバー犯罪対策課 課長補佐 岩瀧忍氏	35
北陸		福井県・福井新聞社	2023.03.19福井新聞社 風の森ホール	福井・敦賀延伸まであと1年「北陸新幹線の楽しみ方」 1.「新幹線開業でこう変わる！福井の鉄道」 2.「語ろう！鉄道の楽しさと北陸新幹線の魅力」 1.旅の文筆家 蜂谷あす美氏 2.トークディスカッションダーリンハニー 吉川正洋氏、旅の文筆家 蜂谷あす美氏	120
近畿		滋賀県代協・奈良県代協	2023.03.22キャンパスフ ラザ京都	地方自治体の災害対応京都府八幡市総務部危機管理室危機管理課職員	55
阪神		阪神ブロック各代協CSR委員	2023.02.16Web	いまさら聞けないSDGs Webセミナー帝塚山学院大学リベラルアーツ学部 教授 満手真理氏	88

地球環境保全活動

	主催	開催年月日	タイトル	内容	参加者
北海道	室蘭	2022.08.29	知利別川岸清掃ボランティア	室蘭市中島町のらんらん橋にて、12名参加	12
岩手	盛岡	2022.06.28	盛岡支部クリーンアップキャンペーン	北上川河川敷（盛岡南大橋下）にて、盛岡支部会員、保険会社社員 合計36名参加	36
岩手	県南	2022.07.02	クリーンアップキャンペーン	北上展勝地にて、県南支部会員、保険会社社員 合計28名参加	28
秋田	県北	2022.10.02	植樹ボランティア	NPO白神ネイチャー協会主催のブナ植樹ボランティアに能代地区会員4名参加	4
宮城	仙台北	2022.10.15	七北田川清掃	泉区松森ふるさと村近辺、10名参加	10
やまがた	庄内鶴岡	2022.11.12	第23回砂防林を育てよう	庄内総合支庁・酒田市主催、クロマツ林 森林ボランティア活動、3名参加	3
やまがた	庄内鶴岡	2022.09.24	松林整備ボランティア	酒田市主催、光ヶ丘松林整備ボランティア活動、2名参加	2
福島	会津	2022.11.05	漂着水草回収活動	猪苗代湖天神浜にて、13名参加	13
福島	いわき	2022.09.03	クリーン作戦	いわき駅周辺にて、支部会員・保険会社社員 計66名参加。	66
福島	相双	2022.11.03	清掃活動	損保ジャパン原町営業所～旭公園周辺にて、18名参加	18
新潟		2022.11.05	弥彦神社清掃	会員11名、保険会社3名参加	14
新潟	上越	2022.10.01	直江津海岸清掃	会員15名参加	15
長野	飯田	2022.07.20	飯田市大宮桜並木通り清掃活動	飯田支部会員、保険会社社員 合計12名参加	12
茨城	鹿行	2022.12.10	第11回 鹿島神宮清掃ボランティア	鹿島神宮境内、参道の清掃、参加者86名	86
千葉	木更津	2022.05.15	盤洲干潟 清掃活動	参加者540名 うち木更津支部2名、あいおい損保12名	14
千葉	安房	2022.07.02	第4回 那古海岸クリーン作戦	観光客とともに海開き前の海岸のごみ拾いを実施 約30名参加	30
千葉	京葉	2022.11.20	第42回「船橋をきれいにする日」	船橋駅周辺の清掃活動、16名が参加	16
東京	城東	2022.10.08	荒川クリーンエイド2022	荒川河川敷清掃活動、12名参加	12
愛知		2022.11.12	豊川稲荷清掃奉仕活動	参加者112名	112
愛知		2022.10.29	熱田神宮清掃奉仕活動	124名	124
岐阜		2022.10.23	長良川を美しくしよう運動	長良川鶴飼開扉前の清掃ボランティア 8名参加	8
三重	四日市	2022.07.22	諏訪公園清掃	諏訪公園清掃活動、16名参加	16
三重	鈴亀	2022.07.15	河芸海岸清掃	河芸海岸清掃活動 40名参加	40
三重	津	2022.07.17	町屋海岸清掃	「NPO法人町屋百人衆」の海岸清掃に協力参加、40名参加	40
石川		2023.02.22	寄付金贈呈	NPO法人世界の砂漠を緑で包む会へ寄付金贈呈	-
石川		2022.10.29	木を植える活動	石川県森林公園内にて、世界の砂漠を緑で包む会のご協力により実施、11名参加	11
石川		2022.07.02	森林保護活動（下草刈り作業）	石川県森林公園にて、会員8名参加	8
滋賀		2022.09.11	びわ湖外来魚駆除釣り大会	滋賀県草津市志那町湖岸道路沿いにて、201名参加	201
奈良		2022.11.05	クリーンキャンペーン古都なら	J R奈良駅から奈良公園(春日大社一の鳥居付近) にて、代協会員、生/損保会社参加	122
大阪		2023.02.18	大阪マラソン"クリーンUP"作戦	「大阪市マラソン」開催前のボランティア清掃活動、24名参加	24
兵庫		2022.11.12	六甲山グリーンボランティア	六甲山・住吉川上流にて、12名（会員8名・非会員4名）参加	12
兵庫		2022.10.29	円山川下流域環境保護活動～コウノトリの生息域を守ろう！～	円山川下流域のコウノトリの探餌場所となる湿地の保全、再生保護活動25名参加	25
岡山		2022.10.22	西川・枝川クリーン作戦	岡山市北区 西川・枝川周辺清掃活動 plogging okayamaと共同開催 71名参加	71
東中国		2022.10.22	3県合同清掃活動	岡山市北区 西川・枝川周辺清掃活動、12名参加	12
岡山	岡山東/岡山西	2023.03.04	百間川せせらぎ広場クリーン作戦	百間川せせらぎ広場清掃活動、中消防署見学、24名参加	24
岡山	倉敷南	2023.03.12	鷺羽山展望台周辺清掃	倉敷市鷺羽山展望台周辺にて、9名参加	9
鳥取		2023.02.28	NPO法人未来守りネットワークへの寄付金贈呈	募金活動での7,167円、鳥取県代協より30,000円を寄付	-
鳥取	米子	2022.06.12	中海・宍道湖一斉清掃	米子市主催、米子市湊山公園にて、9名参加	9
鳥取	倉吉	2022.10.02	東郷池一斉清掃	鳥取県東伯郡湯梨浜町役場主催、3名参加	3
島根	松江/出雲	2023.02.11	宍道湖ヨシ刈り取りボランティア	環境保全活動の一環として宍道湖西岸に生えるヨシを伐採、19名参加	19
広島		2022.12.10	広島駅北口付近 清掃活動	広島駅北口付近の清掃活動、8名参加	8
広島		2022.10.13	広島平和記念公園清掃活動	平和記念公園周辺にて、38名参加	38
広島		2022.07.14	広島平和記念公園清掃活動	平和記念公園周辺にて、41名参加	41
広島	広島西	2022.07.03	広島市佐伯区河川クリーンキャンペーン	広島市佐伯区地域支えあい課、主催八幡川リバーマラソン開催に伴う河川の清掃活動、12名参加	12
山口		2022.10.01	ツルのねぐら一斉整備	八代のツルを愛する会主催、周南市八代にてツルのねぐらを一斉整備、会員10名参加	10
山口	下関	2023.03.25	火の山公園清掃活動	みもすそ川町火の山公園山頂にて、会員11名参加	11
山口	下関	2022.08.14	関門海峡花火大会翌朝清掃ボランティア	海峡花火大会事務局「下関21世紀協会」主催、大会会場一帯の清掃、6名参加	6
山口	山口	2022.09.25	県美の森づくり	美術館に彩り豊かな森をつくる実行委員会主催、山口県立美術館中庭にて、9名参加	9
愛媛		2022.10.23	石手川ダム上流域の河川等清掃ボランティア	石手川ダム上流域にて、10名参加	10
高知		2022.04.03	相生町公園清掃活動	代協会員7名、その他55名参加	55
福岡		2022.06.12	ラブアース2022	福岡市百道浜での清掃活動、35名参加	35
福岡	久留米	2023.03.11	筑後川を美しくする清掃活動	筑後川クリーンアップ活動、50名参加	50
福岡	久留米	2022.09.10	筑後川を美しくする活動	筑後川クリーンアップ活動、36名参加	36
宮崎	県北	2022.12.10	清掃ボランティア	JR日向市周辺にて、19名参加	19
宮崎		2022.11.05	第14回宮崎市海岸清掃活動	一ツ葉海岸サンビーチにて、205名参加	205
熊本	八代	2022.10.16	八代全国花火競技大会後の清掃活動	球磨川河川敷の清掃、27名参加	27
沖縄		2023.03.19	ビーチクリーン活動in瀬長島	瀬長島ビーチにて、損保協会タイアップ、200名参加	200

地域社会貢献活動

主催		開催年月日	タイトル	内容
北海道	札幌	2023.01.13	タオルボランティア	支部会員、保険会社、提携業者からのタオル571枚を3施設（（株）ソーシャルサポートダイアナ、社会福祉法人岩見沢福祉会、他）へ寄贈
北海道	室蘭	2023.01.25	タオルボランティア	室蘭市社会福祉協議会への新品フェースタオル1200枚を寄贈
北海道	旭川	2023.03.15	タオルボランティア	支部会員21社、保険会社3社から300本を昨年度回収したタオル200本（コロナにより寄贈保留）と合わせて4月に2施設へ寄贈予定
北海道	旭川	2023.02.17	チャリティーボウリング大会	募金(10万円超)を4月後半に旭川市子ども基金へ寄付予定、会員28名、保険会社16名参加
北海道	旭川	2022.10.15	チャリティーパークゴルフ大会	チャリティーパークゴルフでの募金額22,000円を旭川市子ども基金へ寄付、37名（支部会員26名、損保会社11名）参加
北海道	旭川	2022.09.02	無保険車追放キャンペーン	北見市駅にてリーフレット/をティッシュ配布、会員12名、北見市陸運支局職員1名参加
北海道	旭川	2022.05.24	自賠責無保険車追放キャンペーン	旭川市貴物公園通りにて、自賠責保険推進チラシとティッシュを配布、会員4名、旭川運輸局2名参加
北海道	苫小牧	2022.11.09	無保険車追放キャンペーン&地震保険啓発・普及キャンペーン	苫小牧グランドホテルニュー王子前にて、8名参加
北海道	苫小牧	2022.10.03	チャリティーボウリング大会	苫小牧ボウルにて、募金総額58,969円を社会福祉法人室蘭言泉学園わかず学園へ寄贈、31名（会員14名 保険会社17名）参加
北海道	千歳	2022.08.02	タオルボランティア	千歳社会福祉協議会と恵庭社会福祉協議会へ各200枚寄贈
北海道	函館	2023.02.17	チャリティーオークション	ベルクラシック函館にて、函館支部新年交礼会余興として開催、寄贈額 232,921円、参加人数 49名（会員32名 非会員3名 保険会社14名）
北海道	函館	2023.02.06	タオルボランティア	支部会員、損保会、提携業者からのタオルを5施設（特定非営利法人日本障害者高齢者生活支援機構、(有)エイチ・エヌ・ケアサービス、医療法人聖仁会ジョイウェルス桔梗、社会福祉法人雄心会養護老人保健施設ひのき、社会福祉法人心侑会グループホームあい戸倉）へ各200本寄贈
北海道	函館	2022.10.11	地震保険普及キャンペーン	M E G A ドン・キホーテ函館店前にてドライバーの皆さまへ呼びかけ、会員13名、提携先1名、損保会社6名参加
北海道	函館	2022.07.28	チャリティーボウリング大会	ボウルサンシャイン函館にて、募金30,600円を函館市へ寄付、35名参加（内会員24名、保険会社11名）
北海道	函館	2022.05.20	無保険車追放キャンペーン	MEGAドン・キホーテ函館店前にて自賠責保険推進チラシを配布、会員19名、運輸局1名、提携先7名参加
北海道	釧路	2023.01.15	地震保険啓発普及キャンペーン	釧路市観光国際交流センター「防災ワンデー釧路防災講演会2023」にてティッシュ配布、8名参加
北海道	釧路	2022.09.23	地震保険啓発普及キャンペーン	イオン昭和釧路店「ひがし北海道防災スクール2022in釧路」にてティッシュ配布、8名参加
北海道	釧路	2022.07.01	交通安全啓発活動（旗の波）	国道44号線、イオン釧路店前にて、代協会員21名、保険会社16名にて実施
北海道	釧路	2022.07.01	無保険車追放キャンペーン	イオン釧路店入口前にて、11名参加
北海道	釧路	2022.05.10	タオルボランティア運動	会員、保険会社から寄付のタオルを3施設（リハビリサポートまこと、わたぼうしの家、絆）へ各130枚寄贈
青森	八戸	2022.05.26	八戸支部創立40周年記念 寄付	八戸公園こどもの国の交通安全ふれあい広場の整備のため、八戸市へ20万円寄付
岩手		2023.03.14	寄付金・使用済切手・書き損じはがき贈呈	総会時に募った募金20,128円と会員・保険会社より募った使用済切手10,450枚、書き損じはがき200枚を岩手県社会福祉協議会へ贈呈
岩手		2022.11.01	献血運動	岩手県内各献血場所にて（2022.11.1～11.15）、会員・保険会社社員11名参加
岩手		2022.11.01	高校出前授業[車社会に出る高校生の君たちへ]	水沢農業高等学校にて、生徒・職員54名参加
岩手	盛岡	2022.12.02	飲酒運転撲滅街頭キャンペーン	盛岡市大交通差点にて、飲酒運転撲滅リーフレット200部及び無保険車追放キャンペーンリーフレット配布、盛岡東警察署員・盛岡支部会員・保険会社社員計33名参加
岩手	盛岡	2022.10.25	地震保険啓発・普及キャンペーン	盛岡駅構内にてリーフレット600部配布、会員・保険会社社員23名参加
岩手	盛岡	2022.10.18	普通救命・A E D講習会	ビックルーフ滝沢にて、講師、指導 滝沢消防署2名、盛岡支部会員13名参加
岩手	盛岡	2022.09.28	無保険車追放キャンペーン	国交省岩手運輸支局にリーフレット100部設置依頼、残り500部は盛岡地区役員で分配し顧客情宣に活用
秋田	中央	2022.12.14	チャリティーパーティー	イタカチャリティーパーティーの募金56,440円を災害遭児愛護基金事業へ寄付
宮城	仙台北/仙台東	2022.11.02	救命救急講習	宮城野体育館にて、16名参加
宮城	仙台北	2022.05.14	七北田川清掃	泉区松森ふるさと村近辺、8名参加
宮城	仙南	2022.11.05	交通安全啓発活動	自賠責保険推奨ティッシュ配りや交通安全の呼びかけ
宮城	仙南	2022.11.05	自賠責無保険車追放キャンペーン	ティッシュ配りと交通安全の呼びかけ、道の駅かくだにて、8名参加
福島	郡山	2022.11.29	献血活動	フェスタ郡山店にて、29名採血
福島	福島	2022.11.05	無保険車追放キャンペーン	福島駅前広場にて、9名参加
福島	福島	2022.11.05	献血活動	福島駅前広場にて、54名採血
福島	白河	2022.11.03	地震保険普及キャンペーン	メガステージ白河にて、支部会員13名・保険会社社員8名参加
福島	白河	2022.11.03	献血活動	メガステージ白河にて、70名採血

主催		開催年月日	タイトル	内容
新潟		2022.10.23	地震保険普及キャンペーン	新潟支部 会員店舗に設置 長岡支部・三条支部・上越支部 会員へ配布
新潟		2022.09.23	「安全運転チャレンジ100」協賛	新潟県交通安全対策連絡協議会「安全運転チャレンジ100」に協賛
新潟		2022.09.23	無保険車追放キャンペーン	大学・専門学校合計4校にティッシュを設置
長野	北信	2023.01.31	献血活動	長野献血ルームにて、(2022.4～2023.1) 24名参加
長野	中信	2022.12.26	自賠責無保険車追放キャンペーン	コロナの関係で手渡せず信州大学、松本大学にキャンペーンティッシュ設置配布
長野	諏訪	2022.11.24	秋季献血活動	長野県赤十字献血センター諏訪出張所敷地内にて、9名参加
長野	諏訪	2022.07.14	夏季献血活動	長野県赤十字献血センター諏訪出張所敷地内にて、31名参加
長野	伊那	2023.02.11	献血活動	ベルシャイン伊那店にて、3名参加
群馬		2023.03.15	佐藤交通遺児福祉基金に寄付	セミナー・献血・ゴルフコンペ等開催時に行った募金141,000円を寄付
群馬	前橋北毛/伊	2023.02.03	愛の献血活動 前橋会場	東京海上日動火災保険(株)群馬支店にて、総来場者97名
群馬	高崎	2023.02.04	愛の献血活動 高崎会場	高崎駅隣接の献血ルームにて、総来場者44名
群馬	桐生/東毛	2023.03.03	愛の献血活動 太田会場	太田東京海上日動ビルにて、総受付人数98名
栃木		2022.10.30	地震保険キャンペーン	宇都宮市ばんば広場にて、7名参
栃木	両毛	2023.02.15	献血活動	栃木県足利市にて、受付者36名、献血者数34名
栃木	宇都宮	2022.11.01	献血活動	11月1日から1か月間を献血強化月間とし活動、期間合計献血者数18名
栃木	宇都宮	2022.10.28	みんなで落語を楽しむ会	栃木福祉プラザにて3年ぶりとなる落語会、50名参加
茨城		2022.12.17	第1回茨城県代協チャリティゴルフコンペ	保険社を交えたチャリティゴルフコンペ、チャリティ金を茨城新聞社へ寄付
埼玉		2023.02.09	交通遺児への寄付	チャリティーゴルフコンペ・県代協の行事の際にお預かりした募金額100,000円を埼玉県交通安全対策協議会へ寄附
埼玉		2022.11.01	献血キャンペーン	川口献血センターにて(2022.11.01～11.30)、23名参加
埼玉		2022.09.05	ぼうさい探検隊マップ制作活動	5組12名参加
千葉	木更津	2023.01.22	献血活動	木更津ライオンズクラブと合同で請西イオンタウンにて実施、献血受付83名(献血73名)
千葉	木更津	2023.01.20	献血活動	日本赤十字社より協力依頼により請西小学校内(1階図工室)で実施、50名以上参加(献血30名)
千葉	茂原	2022.12.01	特別支援学校の清掃及びメンテナンス	千葉県立長生特別支援学校にて、車いす、歩行器の清掃及びメンテナンス作業実施、7名参加
千葉	茂原	2022.11.23	献血活動	カインズ茂原店駐車場にて、8名参加(献血57名)
千葉	安房	2023.03.12	献血活動	イオンタウン館山駐車場にて、会員6名参加、献血受付52名(400m 献血45名)
神奈川		2022.09.15	献血活動	損保ジャパン藤沢ビルにて、65名
神奈川		2022.05.26	献血活動	横須賀商工会議所にて、46名参加
神奈川	みなと	2022.11.16	献血活動	横須賀商工会議所にて、採血者57名 支部会員27名
神奈川	横浜中	2023.02.16	献血活動	横浜Lea献血ルームにて、26名参加
神奈川	横浜中	2022.10.03	世界の子どもにフクチンを！(ペットボトルキャップ収集)	回収したペットボトルキャップ18,877個(フクチン21.95人分)を「NPO法人ともにあゆむ」を通じて「NPO法人世界の子供にフクチンを日本委員会(JCV)」に寄付、これまでの累計数ペットボトルキャップ51,127個(フクチン59.45人分)
山梨		2023.02.06	専門学校出前講座「車社会に出る君たちへ」	山梨県立峡南高等技術専門学校にて、32名参加
山梨		2023.01.23	高校出前講座「車社会に出る高校生の君たちへ」	山梨県立青洲高等学校にて、3年生約260名参加
山梨		2023.01.10	冬の献血キャンペーン	甲府献血ルーム「グレーブ」にて、実施期間 2023年1月10日～2月20日、受付者数 86名、献血者数 75名
山梨		2022.09.27	大学出前講座「自動車保険の基礎知識」	山梨大学にて、16名参加
山梨	郡内	2022.09.14	秋の献血推進事業	富士吉田市民会館にて、受付数65名、採血数58名
東京		2023.03.31	「使用済み切手」「ベルマーク」の収集活動	使用済み切手・ベルマーク収集
東京	城東	2023.02.04	社会貢献委員会「愛の献血」運動	日本赤十字社と共催、献血者77名(受付96名)
静岡	大井川	2022.09.20	献血活動	藤枝役所にて献血協力、14名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
愛知		2022.11.19	自転車交通安全教室出前授業	自転車交通安全教室「交通弱者を交通事故から守るために」、豊明市中島地区小・中学生31名参加
愛知		2022.05.06	交通安全出前授業	自転車の安全な運行と自転車事故の損害賠償についての講習、名古屋高等学校にて、330名参加
愛知		2022.04.27	交通安全出前授業	自転車の安全な運行と自転車事故の損害賠償についての講習、名古屋中学校にて、生徒711名参加
愛知		2022.04.08	交通安全出前授業	自転車から学ぶ交通安全「自動車事故とその現実」、大同高等学校にて、530名参加
愛知		2022.07.11	自転車から学ぶ交通安全 自転車事故とその現実	高校二年生対象 参加者255名
三重		2023.03.23	交通安全出前授業	津市立一身田中学校にて、1・2年生 約300名「自転車から学ぶ交通安全 ～自転車事故とその現実～」
三重		2023.03.20	交通安全出前授業	津市立朝陽中学校にて、2年生 約160名「自転車から学ぶ交通安全 ～自転車事故とその現実～」
三重		2023.03.20	交通安全出前授業	津市立橋南中学校にて、2年生 約150名「自転車から学ぶ交通安全～自転車事故とその現実～」
三重		2022.10.27	地震保険啓発・普及キャンペーン	津駅前にてティッシュ入りPRチラシ配布、参加者19名
三重	四日市/鈴亀/津/伊勢志摩	2022.12.01	献血キャンペーン	12/1～3/31 四日市・津・伊勢の献血ルームにて、101名参加
三重	四日市/津	2022.09.22	無保険車追放キャンペーン	ティッシュ入りPRチラシ配布、津駅前 参加者26名（会員18名、保険会社7名、国土交通省1名）、近鉄四日市駅前 参加者32名（会員26名、保険会社4名、国土交通省2名）
三重	四日市/津/伊勢志摩	2022.07.01	夏秋の献血キャンペーン	四日市・津・伊勢の献血ルームにて 7/1～10/31、39名参加
三重	津	2023.02.14	はじめよう献血！バレンタイン献血キャンペーン	久居ライオンズクラブとの献血推進連携による共同開催キャンペーン、68名参加
富山		2023.02.24	高校生出前講座	富山県立小矢部園芸高等学校にて、3学年15名
富山		2023.02.16	高校生出前講座	富山県立伏木高校3学年、107名
富山		2023.02.15	高校生出前講座	富山県立富山商業高校3学年、272名
富山		2023.02.09	高校生出前講座	富山県立高岡商業高等学校にて、197名参加
富山		2022.12.14	高校生出前講座	高岡第一高等学校にて、3学年180名参加
富山		2022.11.15	高校生出前講座	富山県立上市高校にて、3学年150名参加
富山		2022.10.30	献血活動	ファボーレ富山にて、献血実施人数77名（代協関係者7名、一般の方70名）
富山		2022.09.14	無保険車追放キャンペーン	富山駅南北自由通路にて
石川		2023.02.09	高校出前講座	寺井高等学校にて、生徒約120名参加
石川		2023.01.26	高校出前講座	輪島高等学校にて、生徒約70名参加
石川		2023.01.24	石川県へ防災対策のための寄付	石川県庁にて、防災対策のための寄付金10万円を贈呈
石川		2023.01.23	防災分野における連携協定締結	石川県と損保協会北陸支部と石川県代協の連携による防災分野における連携協定を締結
石川		2023.01.19	高校出前講座	北陸学院高等学校にて、生徒約350人参加
石川		2022.12.13	高校出前講座	金沢高等学校にて、生徒約100名参加
石川		2022.11.21	高校出前講座	日本航空高等学校石川にて、生徒約160名参加
石川		2022.11.10	高校出前講座	加賀聖城高校にて、生徒約22名参加
福井		2023.03.21	中島康晴の自転車塾 ～自転車ヘルメット100%への道～	越前市主催「ヘルメット着用推進イベント」にて、自転車保険コーナーを担当
福井		2022.12.26	寄付（福井県児童福祉事業基金）	チャリティーゴルフコンペでの募金を含め、10万円を福井県児童福祉事業基金に寄付
福井		2022.12.09	交通安全出前講座	北陸高校（生徒数630名）車社会に出る君たちへ
福井		2022.11.17	街頭献血活動	福井県敦賀合同庁舎にて、受付者数43名（会員、保険会社、一般の方）
福井		2022.11.15	街頭献血活動	損保ジャパン福井支店にて、受付者数114名（会員、保険会社、一般の方）
福井		2022.10.05	自転車安全教室	鯖江高校（生徒数250名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.07.15	自転車安全教室	盲学校（生徒数4名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.07.14	自転車安全教室	福井高校（生徒数150名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.07.13	自転車安全教室	敦賀高校（定時制 38名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について

主催		開催年月日	タイトル	内容
福井		2022.07.13	自転車安全教室	武生高校（全日制 生徒数360名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.07.12	自転車安全教室	敦賀工業高校（生徒数202名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.07.07	自転車安全教室	ろう学校（生徒数10名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.06.23	自転車安全教室	社北公民館（地域住民の方60名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.06.22	自転車安全教室	灯明寺中学校（生徒数612名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.06.15	自転車安全教室	嶺南東特別支援学校（生徒数130名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.06.14	自転車安全教室	武生高校（定時制 50名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.06.10	自転車安全教室	社中学校（生徒数430名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.05.19	自転車安全教室	敦賀高校（全日制 生徒数221名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.05.19	自転車安全教室	科学技術高校（生徒数180名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.05.18	自転車安全教室	藤島高校（生徒数340名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.05.18	自転車安全教室	鯖江高校（定時制 80名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.05.06	自転車安全教室	美方高校（生徒数130名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.27	自転車安全教室	金津高校（生徒数630名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.21	自転車安全教室	鯖江中学校（生徒数280名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.19	自転車安全教室	丸岡高校（全日制 生徒数120名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.18	自転車安全教室	丸岡高校（定時制 生徒数80名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.15	自転車安全教室	南越特別支援学校（生徒数60名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.14	自転車安全教室	中央中学校（生徒数 320名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
福井		2022.04.14	自転車安全教室	足羽高校（生徒数140名）自転車保険（個人賠償責任保険）の重要性について
京都		2023.02.19	京都マラソンボランティア	嵯峨嵐山付近にて、47名参加
京都		2022.12.21	献血キャンペーン	あいおいニッセイ同和 献血希望者 16 名 採血 11 名、三井住友海上 23 名 採血 21 名、10名でボランティア活動を行った
京都		2022.11.18	地震保険啓発キャンペーン	四条烏丸付近・大丸付近・高島屋付近にて、知事、京都市、京都府、保険会社、会員 全 50名
京都		2022.09.20	令和4年秋の全国交通安全運動スタート式	梅小路公園にて、出席者3名
京都		2022.09.20	自賠責保険キャンペーン	京都産業大学にて自賠責が切れている又は切れかかっているバイクがないかチェック、警告シールをはる活動
				産業大学の学生15名、ボランティア6名、国土交通省2名
京都		2022.06.09	地震保険啓発キャンペーン	参加人数60名
京都		2022.04.05	令和4年春の全国交通安全運動スタート式	参加人数2名
奈良		2022.10.21	地震保険普及キャンペーン	近鉄奈良駅前 保険会社14名 会員11名、大和八木駅前 保険会社14名 会員8名 参加
奈良		2022.09.22	無保険バイク追放キャンペーン	大和西大寺北口歩道付近にて、正会員14名・保険会社社員18名・近畿運輸局・奈良運輸支局3名参加
大阪		2023.02.26	「大阪マラソン2023」ボランティア	マラソンコース沿道整理ボランティア、13名参加
大阪	東	2022.10.04	無保険車追放キャンペーン	大阪工業大学 情報科学部事務室へグッズ100部を持参、キャンペーン主旨を説明のうえ、バイク通学者への手渡し、もしくは掲示にて配布を依頼済
大阪	南	2022.10.06	無保険車追放キャンペーン	大成学院大学 学生課へグッズ200部を持参、キャンペーン主旨を説明のうえ、バイク通学者への手渡し、もしくは掲示にて配布を依頼済
大阪	南	2022.10.06	無保険車追放キャンペーン	大阪芸術大学 学生課へグッズ200部を持参、キャンペーン主旨を説明のうえ、バイク通学者への手渡し、もしくは掲示にて配布を依頼済
大阪	京阪	2022.11.17	無保険車追放キャンペーン	関西外国語大学にて、駐車中の学生バイク118台の自賠責シールを確認（期限切れ3台有）確認結果を学生部に報告しキャンペーングッズの配布を依頼
大阪	船場	2022.10.05	無保険車追放キャンペーン	大阪経済大学 学生部へグッズ150部を持参、キャンペーン主旨を説明のうえ、バイク通学者への手渡し、もしくは掲示にて配布を依頼済
大阪	船場	2022.10.05	無保険車追放キャンペーン	近畿大学 学生部学生課へグッズ200部を持参、キャンペーン主旨を説明のうえ、バイク通学者への手渡し、もしくは掲示にて配布を依頼済
大阪	堺	2022.11.11	無保険車追放キャンペーン	帝塚山大学 学生課へキャンペーングッズ150部を持参、バイク通学学生へ配布依頼
大阪	堺	2022.10.04	無保険車追放キャンペーン	桃山学院大学 大学統括部学生支援課へグッズ150部を持参、バイク通学学生へ配布依頼
大阪	和泉	2022.09.20	無保険車追放キャンペーン	大阪体育大学 学長へ活動主旨説明のうえ、キャンペーングッズ100部を学生へ配布依頼

主催		開催年月日	タイトル	内容
兵庫		2022.11.20	第10回神戸マラソンボランティア活動	長田ブロックにて沿道警備、ボランティアスタッフ20名参加
兵庫		2022.10.22	ぼうさい国体2022 in HYOGO	第7回防災推進国民大会2022 in 兵庫（10月22日～23日）にて、「ぼうさい探検隊」アピール、入賞作品等展示、来場者 約200人 運営スタッフ延べ42人
兵庫		2022.09.01	献血月間推進運動	ミント神戸15献血ルームに役員常駐（2022.9.1～9.30、献血DAY9月28日（水））献血者数18名
岡山		2023.02.01	献血月間	受付数61名、採血数51名
岡山		2022.12.03	AEDと普通救命講習会	岡山市消防局 岡山中消防署にて、13名参加
岡山		2022.10.13	車椅子贈呈	介護施設 阿知の里へ車椅子1台贈呈（岡山東支部）、社会福祉法人 天神会へ車椅子1台贈呈（倉敷北支部）
岡山		2022.08.01	献血月間	受付数71名、採血数56名
鳥取		2022.10.17	一般財団法人鳥取県交通安全協会へチャイルドシート寄贈	一般財団法人鳥取県交通安全協会にて贈呈式、チャイルドシート3台を県下3箇所（鳥取・倉吉・米子）の交通安全協会へ寄贈
鳥取	米子	2022.07.20	献血活動	イオン日吉津内献血ルームひえびにて、会員9名参加
島根		2022.10.17	無保険車追放キャンペーン	コロナのため、通常の配布活動を中止し各支部長が手分けして各々の顧客および企業、団体へチラシを配布
島根		2022.09.27	地震保険普及キャンペーン	コロナのため、通常の配布活動を中止し各支部長が手分けして各々の顧客および企業、団体へチラシを配布
広島		2022.12.31	第8回献血キャンペーン	8月1日～12月31日 期間中に各献血ステーションを利用し各会員による献血の実施（参加者19名）
広島	広島中央/広島北/呉/福山	2022.09.15	地震保険啓発・普及キャンペーン	感染症対策のため、各会員より地域団体・企業・個人に啓発、普及を勧めてチラシ配布
広島	広島西	2022.10.26	自賠責保険 無保険車追放キャンペーン	広島市J R五日市駅自由通路にて、自賠責保険推進チラシとティッシュを配布、会員13名参加
山口	下関	2023.01.21	献血活動	下関市内ゆめシティにて、採血69名、会員4名参加
山口	下関/岩国	2022.07.04	無事故無違反コンテスト150	交通安全山口県対策協議会主催、交通安全に留意し運転し150日間「無事故・無違反」達成、岩国5名、下関5名参加
山口	山口	2022.12.03	献血サポート活動	山口赤十字血液センター主催、ゆめタウン山口にて、採血45名、会員9名参加
山口	山口	2022.10.30	山口市公共交通ふれあいフェスタ	山口市公共交通委員会主催、山口市中央公園にて、10名参加
山口	山口	2022.09.28	「小学生によるぼうさい探検隊」マップ作り	山口市湯田温泉メイン通り 会員2名、非会員6名(大人2名、子ども4名)合計8名
山口	山口	2022.08.07	「小学生によるぼうさい探検隊」マップ作り	山口市錦町にて、会員1名・非会員3名(大人1名、子ども2名)合計4名
山口	周南	2022.11.27	冬の献血運動	サンリブ下松にて、受付100名、献血89名、会員6名参加
山口	周南	2022.07.21	夏の献血	周南市本町大同生命ビルにて、採血23名
山口	柳井	2023.02.19	献血活動	ゆめタウン柳井にて、受付数70名以上、5名参加
山口	柳井	2022.12.19	年末交通安全キャンペーン	ゆめタウン柳井にて、マスコット配布等、7名参加
山口	柳井	2022.07.13	夏の交通安全キャンペーン	柳井交通安全協会・柳井市主催 チラシ、グッズ配り 会員4名参加
山口	柳井	2022.04.12	春の全国交通安全キャンペーン	田布施町主催、マックスバリュ田布施店にてチラシ・マスコットの配布、会員5名参加
山口	柳井	2022.04.06	春の全国交通安全キャンペーン	柳井市主催、ゆめタウン柳井にてチラシ・マスコットの配布、会員7名参加
山口	岩国	2023.03.25	献血活動	ゆめタウン南岩国にて、献血63名、会員3名、非会員1名参加
山口	岩国	2022.08.19	「小学生によるぼうさい探検隊」マップ作り	岩国市立灘小学校周辺、会員1名・非会員2名 合計3名
香川		2023.02.11	防災フェスin丸亀2023 ～冬の防災を考えるのは今だ～	防災教育研究会かがわ、損保協会四国支部主催の防災イベントに5名参加、防災クイズの回答を約80名から回収
愛媛		2022.11.22	地震保険普及キャンペーン	街頭配布が出来ないため、全会員にノベルティを配布して地震保険普及を依頼
愛媛		2022.11.02	無保険車追放キャンペーン	松山市内の自動車教習所1校にノベルティの配布を依頼
福岡		2023.03.24	使用済み切手の寄贈	福岡市社会福祉協議会・ボランティアセンターへ寄贈
福岡		2022.09.09	使用済み切手の寄贈	福岡市社会福祉協議会・ボランティアセンターに寄贈
福岡	北九州東	2022.08.02	ひまわり絵画展・設営および撤収	ひまわり絵画展に関するボランティア活動、12名参加
大分		2022.12.08	防災出前講座	山香児童館にて「災害から自分や家族を守ろう」と題し講習、小学生40名参加
大分		2022.10.29	交通安全出前講座	とよおか児童クラブにて「交通事故からみんなを守ろう」と題し、講習、小学生38名参加
大分		2022.10.08	防災出前講座	碩田学園児童育成クラブにて「ぼうさい探検隊マップ作成」について講習、小学生6名参加
大分		2022.09.26	無保険車追放キャンペーン	運輸支局職員2名と大分県運転免許センターへノベルティ200個持参
大分		2022.08.09	防災出前講座	ボラリス児童クラブにて「災害から自分や家族を守ろう」と題し講習、小学生46名参加
大分		2022.07.28	防災出前講座	吉野児童育成クラブにて「災害から自分や家族を守ろう」と題し講習、小学生22名参加

主催		開催年月日	タイトル	内容
佐賀		2022.10.12	無保険車追放キャンペーン	佐賀県運転免許センターへキャンペーンノベルティ150個持参、配布依頼
佐賀	佐賀東	2022.08.21	献血活動	ゆめタウン佐賀にて、16名参加
佐賀	唐津	2022.08.09	献血活動	イオン唐津店駐車場にて、22名参加
長崎		2022.04.22	ワンコインキャンペーン	キャンペーンの拠出金で長崎県県民生活環境部交通・地域安全課へ両面反射リフレクター(交通安全啓発品)3500個を寄贈
宮崎		2022.12.12	諸塚村に災害義援金	台風14号(9月18日)で甚大な被害を被った諸塚村へ災害義援金謹呈
宮崎		2022.11.14	無保険車追放キャンペーン	宮崎大学キャンパスにて、学生を対象に無保険車の調査とノベルティ配布、CSR委員6名参加
宮崎	西都児湯	2022.11.11	普通救命講習	東児湯消防組合にて、9名参加
宮崎	西都児湯/宮崎北/宮崎中央/宮崎南	2022.09.28	無保険車追放キャンペーン	宮崎駅西口にてノベルティ配布、15名参加
宮崎	宮崎北	2022.12.10	こども食堂	宮崎市社会福祉協議会の協力でタンポポハウス本郷と合同でこども食堂を開催、水と非常食を50個、子供用お菓子詰め合わせ70個用意
宮崎	宮崎中央	2023.01.25	救命入門コース	MS九州宮崎4F会議室にて、9名参加
熊本		2023.03.22	交通遺児募金あしなが育英会募金贈呈式	交通遺児募金 132,562円(於;熊本県庁)累計(23回)6,068,865円、あしなが育英会募金 150,000円(Zoom)
熊本		2022.11.02	交通安全祈願	保険の月イベントとして藤崎宮にて交通安全祈願、12名参加
熊本		2022.09.22	無保険車追放キャンペーン	熊本学園大学構内でノベルティ配布と無保険車の確認、20名参加
鹿児島		2023.02.14	バレンタイン献血キャンペーン	鹿児島県赤十字血液センターにて、52名受付中、48名採血
鹿児島		2022.08.04	救急救命AED講習会	鹿児島市中央公民館にて、22名参加

消費者団体との懇談会

消費者の声に耳を傾け、消費者の立場に立ったよりよい保険商品の提供や代理店の役割と存在意義を知っていただくために、全国各地の消費生活センターなどの消費者団体と定期的に懇談会を行っています。

主催	開催年月日	タイトル	会場・参加者等	参加者数	
				消費者団体	代協
北海道 札幌	2022.12.16	消費者協会との懇談会	札幌エルプラザ特別会議室にて、10名参加（公益財団法人札幌消費者協会2名、一般社団法人北海道消費者協会1名、特定非営利活動法人消費者支援ネット北海道2名、北海道代協5名）	5	5
東京	2022.11.25	第28回消費生活相談員との懇談会	全相協・相談員19名、代協17名参加	19	17
愛知	2023.02.10	消費者団体との意見交換会	現状の報告（消費者センター）Q&A、出席者：消費者センター側（愛知県県民文化県民生活課・名古屋市消費生活課）2名、愛知県代協理事 7名	2	7
岐阜	2022.11.17	消費者団体との情報交換会	岐阜県および岐阜市の消費者団体（消費者相談センター）との情報交換会	4	7
石川	2022.12.02	消費者団体との懇談会	演題「防災・減災セミナー、講師 一般社団法人石川県損害保険代理業協会 常務理事 林忠宣 氏、石川県婦人団体協議会（21名）	21	5
福岡	2023.01.28	九州支部交流会（オンラインZoom参加）	相談員との意見交換会、基調講演 経済産業省サービスグループ 参事官 消費者政策分析官 谷みどり 氏、全体約50名、代協2名参加	48	2

倫 理 綱 領

損害保険代理業は、損害保険業の発展を通じ、社会の安全を守り、福祉の向上に貢献する公益性の高い職業である。

一般社団法人日本損害保険代理業協会の正会員に加盟するすべての損害保険代理店並びにその募集人は、社会が損害保険代理業に課する使命、責任、義務に深い自覚を持ち、社会の信頼にこたえ、その繁栄に資するため、常に研鑽につとめる。

よって、ここに倫理綱領を定め、その遵守と実践を宣言する。

1. われわれ損害保険代理業者は、損害保険ならびに代理店制度が社会の安定と福祉の向上を図るため、最善の制度であることを確認し、損害保険の普及につとめるとともに、尊い職責を完全に果たし、消費者の信頼を高めるよう努力する。
2. われわれ損害保険代理業者は、直接消費者に接する者として、常に知性、知識の研磨につとめ、資質を向上させ、消費者の需要に的確に対応し、損害保険代理業者としての機能を高度に発揮することを誓う。
3. われわれ損害保険代理業者は、名誉を重んじ、秩序を守り、公正な募集活動を推進し、同業者相互間においては、常に友好的関係を保持し、損害保険代理業の地位の向上につとめる。
4. われわれ損害保険代理業者は、損害保険会社及びその団体と友誼的関係を維持するとともに、英知を結集し、損害保険業の発展に寄与する。
5. われわれ損害保険代理業者は、損害保険業に対する公共の信頼を維持し、業務の適切性および健全性を確保するため、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に向けて断固たる対応を行う。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

募 集 規 範

■ 目 的

全ての損害保険の募集に従事する者は、消費者の 4 つの権利（安全を求める権利、知らされる権利、選ぶ権利、意見を述べる権利）を尊重し、以下に定める事項を遵守することによって、一般消費者の利益に貢献することを目的とする。

■ 倫理規範

（１） 社会性・公共性の自覚

損害保険業は、社会・公共の利益に貢献する使命を持つことを自覚しなければならない。

（２） 自己研鑽

常に自己研鑽に励み、顧客サービスの質を高めるよう努力しなければならない。

（３） 信義・誠実性

一般消費者に対し、常に公平、公正で、信義を守り、誠実でなければならない。

（４） 信用の維持

常に自らの信用維持に努めなければならない。

（５） 反社会的勢力との関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係を含めて一切の関係を持たないようにしなければならない。

■ 行動規範

（１） 商品説明

商品内容を説明する場合は、重要事項説明書などにより、一般消費者が商品内容を理解し、自主的な商品選択ができるよう、契約条項のうち重要な事項は必ず説明する。

（２） 最適アドバイス

一般消費者のニーズに対し、適切な商品をアドバイスする。

（３） アフターサービス・アフターフォロー

契約後、適切なアフターサービス・アフターフォローを提供する。

（４） 顧客情報の守秘

保険の募集に関し、秘密とすべき顧客情報は守秘する。

（５） 法令等の遵守

保険業法およびその他の法令等を遵守する。

一般社団法人 日本損害保険代理業協会

反社会的勢力への対応に関する基本方針

一般社団法人 日本損害保険代理業協会およびその正会員である全国各都道府県損害保険代理業協会は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係遮断に努め、公共の信頼を維持し、適切かつ健全な業務の遂行を確保するために、以下の基本方針を定めます。

1. 組織としての対応

反社会的勢力による不当要求等に対しては、役職員等の安全を確保するとともに、担当者任せにすることなく、組織全体として対応します。

2. 外部専門機関との連携

反社会的勢力による不当要求等に備えて、平素から、警察、暴力追放運動推進センター、弁護士等の外部専門機関と緊密な連携関係を構築します。

3. 取引を含めた一切の関係遮断

反社会的勢力とは、取引関係も含めて、一切の関係を持ちません。

また、反社会的勢力による不当要求等は断固拒絶します。

4. 有事における民事と刑事の法的対応

反社会的勢力による不当要求等に対しては、民事と刑事の両面から法的対応を行います。

5. 資金提供・裏取引の禁止

いかなる形態であっても、反社会的勢力に対する資金提供や事案を隠ぺいするための裏取引は絶対に行ないません。

以上

